SharpShooter Reports ユーザーガイド

Last modified on: November 14, 2012

※本ドキュメント内のスクリーンショットは英語表記ですが SharpShooter Reports JP(日本語版)では日本語で表示されます。

目次

| はじめに4 |
|------------------------|
| テンプレートのオブジェクト5 |
| 分類 |
| バンド5 |
| ビジュアル オブジェクト7 |
| ユーザーガイド |
| テンプレート9 |
| ページ |
| オブジェクトの操作17 |
| オブジェクトのプロパティ |
| テキスト出力 |
| リスト |
| グループ化55 |
| 水平方向のリストと表 |
| SideBySide バンド61 |
| ピボットテーブル |
| イメージ |
| シェープの使用 |
| バーコード |
| Parameters |
| ハイパーリンクとレポートのナビゲーション79 |
| サブレポートの使用 |
| Zip コード |
| マスターレポート |
| ウィザードを使ったレポートの作成 |
| インターフェイス105 |
| タブ105 |
| |

| 1ンテキスト タブ113 |
|----------------------|
| ^プリケーション メニュー |
| バインド バー |
| 'イック アクセス ツールバー126 |
| 1ンテキスト メニュー128 |
| [、] ッキング134 |
| -ディタ137 |
| 7ィザード152 |
| メテータス バー159 |
| <i>、</i> ットキー160 |



はじめに

このユーザーガイドでは、SharpShooter Reports を使用したさまざまなレポートテンプレートの作成/デザイン方法について詳しく説明しています。また、レポートのオブジェクトやそのプロパティ、使用法に関する 情報だけでなく、レポートデザイナ インターフェイスについての説明もございます。

テンプレートのオブジェクト

分類

レポート要素はすべて2つに分類できます。

バンド: DataBand、PageHeader、PageFooter、Header、Footer、GroupBand、PageOverlay、CrossBand、BandContainer、SideBySide、SubReport、Content、PivotTable

ビジュアルオブジェクト: TextBox、AdvancedText、Picture、Shape、ZipCode、BarCode、RichText、 WinFormsControl

バンド

バンドは、他のオブジェクトのコンテナです。レポートには表示されず、バンドに格納されたオブジェクトの 出力方法を定義します。バンドは他のバンドのコンテナとしても使われます。この場合、格納されたオブジェ クトの出力方法はそのオブジェクトのコンテナバンドにすべて依存します。バンドの幅は変わらず、常にペー ジ幅と同じになります。ページ上のオブジェクトの位置は、レポート生成時に定義され、レポートのバンド順、 バンドの内容、Render グループのプロパティに依存します。

(参照:<u>オブジェクトのプロパティ</u>)

DataBand

格納されたオブジェクトを複数出力します。行はそれぞれデータソースの1レコードと一致します。データバンドのデータソースは DataSource プロパティで指定します。データソースが指定されていない場合は、 InstanceCount プロパティに出力回数を設定します。

DataBand のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

(DataBand を使ったリストの作成方法: データソースのリストを参照)

Detail

コンテナバンドのデータソースのデータにアクセスしたり、様々なバンドでビジュアルオブジェクトを出力したりするために使用します。Detail バンドの高さは、格納されたオブジェクトが表示されるように設定します。

Detail のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

(Detail を使ったリストの作成方法: シンプルリストを参照)

PageHeader & PageFooter

ページの上部と下部に見出しを付けます。PageHeader/PageFooter はコンテナであり、最終レポートに組み 込まれたオブジェクトの前後の間隔は、PageHeader/PageFooter からテンプレート内のバンドの上枠/下枠 までの間隔で指定されます。PageHeader/PageFooter の位置は、最終レポートのオブジェクトの位置には影 響を及ぼしません。

PageHeader と PageFooter のコンテナとして使えるのは Page だけです。

(見出しを使ったページのデザイン方法:ページの見出しを参照)

Header & Footer

DataBand や GroupBand によって出力されるリストのページにヘッダーとフッターを作成します。Header の内容は、GroupBand によって出力されるリストの先頭または各グループの見出しに表示されます。Footer の内容は、リストまたはグループの末尾に表示されます。

Header と Footers のコンテナとして DataBand と GroupBand を使用できます。

(リストにヘッダーやフッターを表示する方法:<u>リストのヘッダーとグループヘッダー</u>を参照)

GroupBand

レポート生成時に計算される式に応じて、データをグループ化します。

DataBand や GroupBand は、GroupBand のコンテナとして使用できます。

(参照:<u>グループ化</u>)

PageOverlay

ページの下層レイヤーを作成します。最終ドキュメントのページの先頭から格納されたオブジェクトまでの距離は、テンプレートの PageOverlay の上枠からのインデントにより設定されます。PageOverlay は、互い に重なり合うことが可能な他のオブジェクトの位置付けには何の影響も及ぼしません。

PageOverlay のコンテナとして使用できるのは Page だけです。

(PageOverlay を使ったページのデザイン方法:ページの重ね合わせを参照)

CrossBand

格納されたオブジェクトを左から右方向の行として出力します。反復回数は InstanceCount プロパティか、 データソースのレコード数で指定します。クロスバンドは表の作成に使用できます。

CrossBand のコンテナとして使用可能なバンド: Header、Footer、Detail

(参照:<u>水平方向のリストと表</u>)

BandContainer

コンテンツを一度に出力します。様々な可変バンドを結合するために、複数のバンドを1つの結合された SideBySide にまとめるために使用します。

BandContainer のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

SideBySide

さまざまなバンドのオブジェクトを並列出力にするために使用します。

SideBySide のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

(参照: SideBySide バンド)

SubReport

ー緒に生成する、埋め込まれたレポートを追加できます。サブレポートとして使用するテンプレートから、バンド(例: DataBand、Detail など)だけが追加されます。

SubReport のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

(参照 : <u>サブレポートの使用</u>)

Content

親レポートで使用します。このバンドは最終レポートのコンテンツを置く位置を指定します。 Content のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide (参照: マスターレポート)

PivotTable

静的なデータを基にしたクロスレポートや集計表の作成にも使用されます。PivotTableの使用結果は、上述の CrossBandのビジュアル表現を含んでいるレポート部分です。

クロス集計の特別なエディタを使用して、計算に使用するデータを指定できます。スクリプトを使用して、計算命令を作成できます。これは、データソースから複数のフィールドを合計することから、必要とするレポートにさまざまなグループ化を行うことまで、表の設定機能を提供します。

PivotTable のコンテナとして使用可能なバンド: Page、DataBand、BandContainer、GroupBand、 SideBySide

(参照: ピボットテーブル)

ビジュアル オブジェクト

レポートでビジュアル表現を持ったオブジェクト。バンドに格納することにより位置を指定します。ビジュア ルオブジェクトのサイズや表示/非表示はプロパティで指定します。

(参照:<u>オブジェクトのプロパティ</u>)

TextBox

テキスト情報を出力します。テキスト情報は、静的またはレポートの生成時に作成されます。

(参照:<u>テキスト出力</u>)

AdvancedText

データを書式付きのテキストとして出力します。段落やテキストスタイルを設定したり、記述したテキストに 直接式を使用するオプションがあります。書式付きのテキストは、HTMLのようなマークアップ言語や RTF 形式のサブセットを使用して設定できます。そのために書式付きテキストエディタを使用します。静的な RTF テキストを読み込めます。AdvancedText は、一部の RTF のサブセットのみサポートします。

(参照:書式付きテキスト)

Picture

イメージを出力します。ハードドライバまたはデータソースからイメージを読み込むことができます。

(参照:<u>イメージ</u>)

Shape

様々な幾何学的図形を出力します。

(参照:<u>シェープの使用</u>)

ZipCode 郵便番号を出力します。

(参照:<u>Zip コード</u>)

BarCode

様々なバーコード型を出力します。使用するバーコード型に応じて、設定がいくつかあります。

(参照:<u>バーコード</u>)

RichText

テキストを RTF 形式で出力します。エディタで RTF ファイルを選択できます。

(参照:<u>RTF形式のテキスト</u>)

WinFormsControl

レポートに WinFormsControl コンポーネントを格納します。コントロールのイメージだけがレポートに格納 されます(この機能は使用できません)。

ユーザーガイド

テンプレート

レポートテンプレートは、バンドやオブジェクトを含んでいる複数のページです。

テンプレートの制御

テンプレートの作成

メインメニューの [ファイル] -> [新規] を選択するか、ツールバーの「新規ドキュメント」ボタンを押すと、 新しいテンプレートを作成するための<u>ウィザードギャラリ</u>が表示され、そこでテンプレートの作成方法を選択 できます。

| 🥪 Wizards Gallery | × | |
|---------------------------------|--------------------------|--|
| New Saved | | |
| Blank Report Standard Report | | |
| Pivot table Report | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | Load from file OK Cancel | |

| レポート | 説明 |
|----------|--|
| 白紙のレポート | 白紙のテンプレートを作成します |
| 標準のレポート | <u>標準のテンプレート(リストまたはデータカード)を作成</u> するために <u>スタンダ</u> |
| | <u>ードウィザード</u> を開きます |
| ピボットテーブル | <u>ピボットテーブルレポートを作成</u> するために <u>ピボットテーブルウィザード</u> を開 |
| レポート | きます |

テンプレートを開く

ダイアログ ウィンドウを開くには、メインメニューの [ファイル] -> [開く] を選択するか、ツールバーの 「テンプレートを開く」ボタンを押してください。このウィンドウで、開きたいレポートを選択できます。ま た、Report Design アプリケーションに関連付けられている .rst テンプレートファイルをダブルクリックす ることもできます。

テンプレートの保存

テンプレートを保存するには、メインメニューの [ファイル] -> [保存] を選択するか、ツールバーの「テンプ レートの保存」ボタンを押してください。既にドキュメントが保存されている場合は同じファイルが変更され ます。新しいテンプレートを編集する場合、テンプレートのフォルダとファイル名を選択する「テンプレート の保存」ダイアログウィンドウが表示されます。[ファイル] -> [名前を付けて保存] は常に「テンプレートの 保存」ダイアログを開きます。

テンプレートの生成

テンプレートを生成するには、メインメニューの [レポート] -> [プレビュー] を選択するか、ツールバーの 「プレビュー」ボタンを押してください。

テンプレートのプロパティ

プロパティグリッドでテンプレートのプロパティを設定できます。プロパティグリッドにテンプレートのプロ パティを表示するには、オブジェクト一覧から Document を選択するか、クイックアクセスツールバーの 「ドキュメントのプロパティ」を押してください。

イメージ設定

GraphicsSettings のグループには次のプロパティがあります。

| プロパティ | 説明 |
|--------------------|----------------------|
| CompositingQuality | 合成処理で使用する品質レベルを設定します |
| InterpolationMode | 補間モードを設定します |
| SmoothingMode | スムージングモードを設定します |
| TextRenderingHint | テキストの表示モードを設定します |

オブジェクトの表示とグリッド

ShowObjectBounds プロパティは、テンプレートにオブジェクトの境界を表示するかを設定できます。

| プ | ロパティ | | レポートテンプレート |
|---|------------------|-------------------------------|------------|
| Ξ | Appearance | | |
| ŧ | GraphicsSettings | PerpetuumSoft.Reporting.DOM.G | text 🚽 🚽 🚺 |
| | MasterReport | | |
| | ShowObjectBounds | True 💌 | |
| Ξ | Appearance | | |
| Ŧ | GraphicsSettings | PerpetuumSoft.Reporting.DOM.G | text 😽 🔁 🛄 |
| | MasterReport | | 123456 |
| | ShowObjectBounds | False 💌 | |

ShowGrid プロパティは、グリッドを表示するかを定義し、GridStep プロパティはグリッド間隔を設定します。

| プ | ロパティ | | レポートテンプレート |
|---|---------------|---------|------------|
| Ξ | Grid Settings | | |
| | GridStep | 0,25 cm | text 🥣 🔽 🛄 |
| | ShowGrid | False 💌 | |
| | SnapToGrid | True | |
| | Grid Settings | | |
| | GridStep | 0,25 cm | text |
| | ShowGrid | True 💌 | 123456 |
| | SnapToGrid | True | |
| Ξ | Grid Settings | | |
| | GridStep | 0,5 cm | text |
| | ShowGrid | True | 123456 |
| | SnapToGrid | True | |

SnapToGrid プロパティは、オブジェクトの作成時やオブジェクトのサイズ/位置変更時にオブジェクトをグリッドに合わせるために使用します。

ツールバーのボタンを使用して、これらのプロパティを編集できます。

計測単位

MetricUnit プロパティは、テンプレート全体の計測単位の設定に使用します。

_ ...

| | - Misc | | | | |
|---|-----------------|----------------|--|--|--|
| | DataSources | (Collection) | | | |
| | Description | | | | |
| | MetricUnit | Centimeter 🛛 🔽 | | | |
| | Parameters | Inch | | | |
| | Title | Millimeter | | | |
| Ξ | Render | Centimeter | | | |
| | StyleSheet | Pixel | | | |
| Ξ | Script | Point | | | |
| | CommonScript | Twip | | | |
| | CompilerVersion | | | | |

テンプレートのデータソース

アプリケーションはデータソースになり得ますが、レポートデザイナの Document.DataSources プロパティ (内蔵されたデータソースのコレクション)を使用して、現在のテンプレートのデータソースを設定できます。 このプロパティを設定するには、<u>ドキュメントのデータソース</u>エディタを使用します。

テンプレートのパラメータ

Parameters コレクションを使用して、レポート パラメータを設定できます。

ページ

レポートテンプレートはページのセットです。各ページには、データを表示するオブジェクトが含まれていま す。規定の何も入っていないレポートにはページが1ページ含まれています。

ページのプロパティ

プロパティグリッドでページのプロパティを設定できます。プロパティグリッドにページのプロパティを表示 するには、オブジェクト一覧で Page を選択してください。

ページサイズ

ページサイズを設定するには、PaperKind プロパティを使用します。このプロパティを使用して一般的な用紙 サイズ(例:A4(デフォルト)、B5、レターなど)を選択できます。ページの向きを縦または横に設定でき ます。この場合、Size や TemplateSize プロパティは選択した用紙のサイズ設定を取得できます。尚、変更 することはできません。

| Ξ | Page Settings | |
|---|---------------|-------------------|
| Ð | CustomSize | 0; 0 cm |
| Ð | Margins | 1; 1,2; 1,5; 1 cm |
| | Orientation | Portrait |
| | PaperKind | B4 |
| Ŧ | TemplateSize | 25; 35,3 cm |

ユーザー定義の用紙サイズを作成したい場合は、PaperKind プロパティの値を「Custom」にし、 CustomSize プロパティの用紙サイズのパラメータを設定してください。

| Ξ | Page Settings | | | |
|---|--------------------|-------------------|--|--|
| Ξ | CustomSize 5; 5 cm | | | |
| | Х | 5 cm | | |
| | Y | 5 cm | | |
| ŧ | Margins | 1; 1,2; 1,5; 1 cm | | |
| | Orientation | Portrait | | |
| | PaperKind | Custom | | |
| Ŧ | TemplateSize | 5; 5 cm | | |

ページの余白

ページの Margins プロパティは、ページの境界からバンド(コンテナ)に貼り付けたオブジェクトまでのイ ンデントを設定します。Margins プロパティはページの余白を設定します。テンプレートでは、余白は赤線で 表示されます。

ページの Margins プロパティの使用例:

レポートテンプレート:

| deta | ail1:0 | Cro | ssB | and | | |
|------|---------|-----|-----|-----|--|--|
| | CrossBa | 1 | tex | t | | |
| | Z | | | | | |

crossBand1.InstanceCount = 2

| プロパティ | | レポート |
|-----------------|----------------|-----------|
| 🗆 Page Settings | | |
| | 0; 0 cm | |
| Margins | 0,5;0,5;1;1 cm | text |
| Bottom | 0,5 cm | |
| Left | 1 cm | |
| Right | 1 cm | |
| Тор | 0,5 cm | |
| Orientation | Portrait | |
| | | |
| 🗆 Page Settings | | |
| | 0; 0 cm | text |
| Margins | 0;0;1;1 cm | |
| Bottom | 0 cm | |
| Left | 1 cm | |
| Right | 1 cm | |
| Тор | 0 cm | |
| Orientation | Portrait | text |
| | | |
| Page Settings | | tout tout |
| EustomSize | 0; 0 cm | Lext Lext |
| Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| Bottom | 0 cm | |
| Left | 0 cm | |
| Right | 0 cm | |
| Тор | 0 cm | |
| Orientation | Portrait | |

ルーラを使用してページの Margins を変更できます。



ページスタイル

StyleName プロパティは、ページの全オブジェクトに統一したスタイルを設定できます。スタイルシートエ ディタでスタイルを作成し、そのスタイルを StyleName プロパティにパラメータとして選択すると、ページ に追加されたすべてのオブジェクトやバンドに規定値としてそのスタイルが設定されます。編集する時に個別 にスタイルを変えなければ、ページの全オブジェクトにそのスタイルが適用されます。

(参照:<u>StyleName(表示)</u>)

マルチページレポート

レポートに必要な分のページを追加できます(例:表紙付きのレポート)。用意されたレポートは、ページの テンプレートに従って作成されたレポートの組み合わせです。レポート部分はテンプレートのページ順に表示 されます。

レポートにページを追加するには、[挿入] タブの「新規ページ」ボタンをクリックしてください。ページを削除すると、そのページに含まれているオブジェクトもすべて削除されます。レポートデザイナの左下端のタブでページ間を移動できます。



ページの見出し

PageHeader と PageFooter は、それぞれヘッダー/フッターを設定するために使用します。バンド内容は、 ページのバンドの位置に関係なくページの上部/下部に表示されます。Mode プロパティは見出しの生成モード (全ページ、偶数/奇数ページ)を設定します。

ページの見出しの使用例:

レポートテンプレート:

| pageHeader1:PageHeader = | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| <"Page " + Pa | | | | | | | |
| text | | | | | | | |
| | | | | | | | |

textBoxPageHeader.Value = "Page " + PageNumber

| Μ | ode プロパティ | | レポート |
|---|-----------|------------|----------------|
| Ξ | Render | | |
| | CanGrow | False | Page 1 |
| | CanShrink | False | taut |
| | Mode | AllPages 💌 | LEXL |
| | Visible | True | |
| | | | Page 2 text |
| Ξ | Render | | Dage 1 |
| | CanGrow | False | Page 1 |
| | CanShrink | False | text |
| | Mode | OddPages 💌 | |
| | Visible | True | |
| | | | text |



| Ξ | Render | | | ſ | |
|---|-----------|-----------|----------|---|----------------|
| | CanGrow | False | | | text |
| | CanShrink | False | | | |
| | Mode | EvenPages | ~ | | |
| | Visible | True | | ķ | |
| | | | | | Page 2 text |

ページ番号

PageNumber プロパティは、ページ番号を取得するために使用します。PageCount プロパティはレポートの ページ総数を格納します。最初のパス時はページ総数はわからないので、PageCount プロパティは PageNumber プロパティと同じになります。PageCount プロパティがページ総数を取得するには、 Document オブジェクトの DoublePass プロパティを "True" に設定してください。

ヘッダーにページ番号を表示する例:

dataBand1.InstanceCount = 3;

textBoxHeader.Value = "Page " + PageNumber.ToString() + " of " + PageCount.ToString();

textBoxDetail.Value = "Line Number " + dataBand1.LineNumber().ToString();

| レポートテンプレート | レポート |
|-------------------|---------------|
| pageHeader1:Page | Page 1 of 2 |
| <"Page" + Pag | Line Number 1 |
| dataBand1:DataBan | Line Number 2 |
| detail1:Detail | |
| <"Line Number " | Page 2 of 2 |
| end of dataBand1 | Line Number 3 |
| | |
| | |

ページの重ね合わせ

PageOverlay は、背景にデータを表示しなければならない場合に使用します。オブジェクトの位置は、ページの PageOverlay の位置に関係なく、バンドの位置に従って計算されます。このバンドは他のバンドの位置に は影響を及ぼしません。PageOverlay オブジェクトの上に他のバンドの内容が表示されます。



Mode プロパティは、重ね合わせモード(全ページ、奇数/偶数ページ)を設定します。

オブジェクトの操作

オブジェクトの追加

オブジェクトを追加するには「挿入」タブを使用します。次に、マウスポインタをページに移動させ左クリッ クしてオブジェクトを追加します。あるバンドをクリックすると、プログラムはそのバンドにオブジェクトを 挿入できるか確認します(詳細は利用可能なバンドコンテナを参照してください)。バンドにオブジェクトを 挿入できる場合はテンプレートのバンドに追加されます。そうでなければエラーメッセージが表示されます。

出力したい項目をツールウィンドウの<u>データソース</u>タブのデータツリーからテンプレートにドラッグアンドド ロップすることにより、**TextBox**オブジェクトにデータソースのデータを出力できます。その場合、 **TextBox.Value** プロパティは自動的に設定されます。

オブジェクトの削除

オブジェクトを削除する方法はいくつかあります。オブジェクトを左クリック(またはオブジェクト一覧また はツールウィンドウのドキュメントツリーからオブジェクトを選択)してキーボードの「Delete」ボタンを押 します。バンドを削除すると、その中に格納されているオブジェクトもすべて削除されます。

オブジェクトのプロパティ

オブジェクトのプロパティは、プロパティグリッドを使用して設定できます。プロパティグリッドにプロパティを表示するには、テンプレートのオブジェクトを選択します。複数のオブジェクトを選択すると、プロパティグリッドに共通のプロパティが表示されます。

(参照:オブジェクトのプロパティ)

ドキュメントツリー

ドキュメントツリーには、ドキュメントの全オブジェクト一覧が含まれており、その構造を表します。<u>ドキュ</u> メント ツリー を使用して、オブジェクトを選択/削除したり、(オブジェクトを別のバンドにドラッグして) 階層を変更したり、オブジェクトの順番を変更することができます。

オブジェクトの位置

テンプレートのオブジェクトの位置は Size プロパティで設定されます。2 つのオブジェクトが重なっている 場合は前面のオブジェクトが表示されます。[編集/配列] メニューをクリックするか、ツールバーのボタンを 使用してオブジェクトの順番を変更します。複数のオブジェクトをまとめて揃えるには、<u>整列エディタ</u>を使用 します。

同じコンテナに含まれている複数のオブジェクトを Shift キーを押しながらマウスポインタで選択することに より一斉に位置を変更することができます。



キーボードのナビゲーションボタン(↑ ← ↓ →)を使って、オブジェクトの位置を変更できます。Ctrl キーを 押したままナビゲーションボタンを使用すると、グリッドから外れた位置にオブジェクトを移動できます。

オブジェクトのプロパティ

オブジェクトのプロパティは、レポート生成時のオブジェクトの見た目や動作を定義します。オブジェクトの プロパティはプロパティグリッドで設定できます。プロパティグリッドにオブジェクトのプロパティを表示す るには、テンプレート内のオブジェクトを左マウスボタンで選択するか、オブジェクト一覧から選択する必要 があります。プロパティの規定値は普通のフォントで表示され、編集したプロパティ値は太字で表示されます。 複数のオブジェクトを選択するには Shift ボタンを押しながら選択します。その場合、プロパティグリッドに は選択したオブジェクトの共通のプロパティが表示されます。オブジェクトのプロパティはすべて次のような グループに分けられます。

| グループ | 説明 |
|-------------|---------------------------------|
| 表示 | オブジェクトの表示や見た目を定義するプロパティ |
| データ | データ処理を定義するプロパティ |
| デザイン | レポートデザイナでテンプレートを編集する時に、オブジェクトの |
| | 表示を定義するプロパティ |
| レイアウト | オブジェクトの位置やサイズを定義するプロパティ |
| その他 | レポートで作成されたオブジェクトのプロパティ |
| Navigation | レポートの <u>ナビゲーションを作成する</u> プロパティ |
| (ナビゲーション) | |
| PageSetting | ページのプロパティ |
| (ページ設定) | |
| Render | レポート生成時のオブジェクトの動作命令を定義するプロパティ |
| (生成) | |
| Script | スクリプト - オブジェクトの処理 |
| (スクリプト) | |

Angle プロパティ(表示)

その領域に格納されているオブジェクトの回転角度を設定するために使用します。設定可能な値は 0、90、 180、270 度です。Picture と TextBox オブジェクトに回転角度を設定した例:

| プ | ロパティ | | レポート | |
|---|------------|---------------|-----------|----------|
| | Appearance | | TOT | |
| | Angle | 0 | REPORT | |
| | Border | Border | 1-11-1 | text |
| | Fill | [None] | J. Contra | |
| ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | | |
| | StyleName | | | |
| | ToolTip | | | |
| Ξ | Appearance | | 20 | |
| | Angle | 90 | B | _ |
| | Border | Border | S = 3 | ex 🛛 |
| | Fill | [None] | | |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | | |
| | StyleName | | | |
| | ToolTip | | | |
| Ξ | Appearance | | | |
| | Angle | 180 | | |
| | Border | Border | 1-11-11-1 | tx91 |
| | Fill | [None] | BEPOKI | |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | 18002 | |
| | StyleName | | | |
| | ToolTip | | | |

Border プロパティ(表示)

オブジェクトの枠の表示と線の描画スタイル(枠エディタ) - 線種、幅、色を設定します。

TextBox オブジェクトの枠の例:



Fill プロパティ (表示)

オブジェクトの領域を塗りつぶす色やスタイルを設定します。このプロパティを変更するには、塗りつぶしエ ディタを使用して塗りつぶし型、色、透明度やその他のパラメータを設定できます。



TextBox オブジェクトの塗りつぶしの使用例:



Font プロパティ (表示)

オブジェクトのフォント型を設定できます。プロパティを変更するためのフォントエディタがあります。それ を使用して、フォント、フォントスタイル、サイズを設定できます。

| Font | | | | | × |
|--|---|-----------------------------------|--|---|--------|
| <u>F</u> ont: Arial | | Font st <u>v</u> le: Regular | <u>S</u> ize: | | ОК |
| Arial Calibri Cambria Cambria Math Candara | + | RegularItalicBoldBold ItalicBlack | 12 14 16 18 20 22 24 | • | Cancel |
| Effects Stri <u>k</u> eout Underline | | Sample AaBbYy | Zz | | |
| | | Script: Western | | • | |

TextBox オブジェクトのフォントの使用例:

| <u>text</u> | text |
|-------------|------|
| text | text |

注意:テキストを AdvancedText で出力し、フォントを書式付きテキストエディタで設定した場合、Font プロパティは無視されます。

Margins プロパティ (表示)

オブジェクトの余白を設定します。

Picture オブジェクトの余白の変更例:

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|------------|-------------------------|---------|
| Ξ | Appearance | | TROBT |
| | Angle | 0 | REPORT |
| | Border | | |
| | Fill | [None] | H COL |
| Ŧ | Image | 🔛 System.Drawing.Bitmap | |
| | ImageAlign | TopLeft | |
| Ξ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | Bottom | 0 cm | |
| | Left | 0 cm | |
| | Right | 0 cm | |
| | Тор | 0 cm | |
| Ξ | Appearance | | |
| | Angle | 0 | REPORT |
| | Border | | Fait H. |
| | Fill | [None] | H GD |
| Ŧ | Image | 🔛 System.Drawing.Bitmap | |
| | ImageAlign | TopLeft | |
| Ξ | Margins | 0,2; 0,2; 0,2; 0,2 cm | |
| | Bottom | 0,2 cm | |
| | Left | 0,2 cm | |
| | Right | 0,2 cm | |
| | Тор | 0,2 cm | |

StyleName プロパティ(表示)

1 つまたは複数のオブジェクトに既存のスタイルを適用して、オブジェクトのスタイルをすばやく編集します。 「ホーム」タブの「スタイルの編集」ボタンでスタイル シート エディタを開きます。

| 🕎 Style Sheet Editor | | | 23 |
|----------------------|----------|---|--|
| Styles | | _ | Properties |
| AaBbCcDdEe | ^ | | |
| Caption | | | Border |
| AaBbCcDdEe | Ш | X | Fill LinearGradient Fill E Font Calibri: 14.25pt; Bold= |
| GroupCaption | | 1 | Name Caption TextAlign MiddleLeft |
| AaBbCcDdEe | - | 4 | TextFill SolidFill |
| Header | | | |
| AaBhCcDdEa | Ŧ | | |
| Title | | | |
| Description | | | |
| | | | Border Determines the border defined by the style. |
| | | | |
| | | | OK Cancel |

スタイルを開いたり保存するには、「開く」や「保存」ボタンを使用します。ファイルは XML 形式で、ファ イル名の拡張子は .rss になります。「スタイルの追加」や「スタイルの削除」ボタンは、スタイルを追加した り削除します。

スタイルの次のプロパティを使用できます。

| プロパティ | 説明 |
|-----------|-------------------|
| Border | オブジェクトの枠 |
| Font | オブジェクトのテキストスタイル |
| Name | スタイル名 |
| TextAlign | オブジェクトのテキストの位置合わせ |
| TextFill | オブジェクトのテキストの塗りつぶし |

オブジェクトにこのスタイルを適用するには、必要とするスタイル名を StyleName プロパティのパラメータ として設定してください。

TextBox や Shape オブジェクトの StyleName プロパティの使用例:

| レポートテンプレート | プレート 作成したスタイル | | | シレ |
|------------|--------------------|----|-----------------------|-----------------------|
| | | Ξ | Appearance | |
| • • • • • | → • | | Border | Border |
| o text oq | 9 | Ŧ | Fill | LinearGradientFill |
| 0 0 00 V | | Ŧ | Font | Calibri; 20,25pt; Bol |
| | | | Name | New Style |
| | | | TextAlign | MiddleCenter |
| | | Ŧ | TextFill | LinearGradientFill |
| プロパティ | | | | |
| Appearance | | Ш | | |
| Fill | [None] | | b - , b | |
| StyleName | × | н. | text | |
| ToolTip | | | | |
| - | | ┢╞ | | |
| Appearance | | н. | | |
| | LinearGradientFill | | tout | |
| StyleName | New Style 🛛 💌 | | text | |
| ToolTip | | | | |

注意 1: スタイルをコンテナに適用すると、含まれているオブジェクトすべてに適用されます。オブジェクトのプロパティ値が規定値(つまり、手動で変更していない場合)の場合のみ、そのスタイルが持っているのと同じ値を取得します。規定値ではない値は太字で表示されます。

注意 2: AdvancedText で出力されるテキストとフォントが書式付きテキストエディタで設定された場合、 Font プロパティは無効となります。

TextAlign プロパティ (表示)

オブジェクトの領域に応じてテキストを配置します。

TextBox オブジェクトの配置例:

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|------------|------------------|-------|
| | StyleName | | text |
| | Text | text | 20742 |
| | TextAlign | TopLeft 💌 | |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | | |
| | ToolTip | | |
| | StyleName | | |
| | Text | text | text |
| | TextAlign | MiddleCenter 🛛 💌 | |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | | |
| | ToolTip | | |
| | StyleName | | |
| | Text | text | tost |
| | TextAlign | BottomRight | lext |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | | |
| | ToolTip | | |

TextFill プロパティ(表示)

テキストの塗りつぶしを設定します。

塗りつぶしエディタで塗りつぶしのプロパティを設定します。塗りつぶし型、色、透明度、その他のパラメー タを取得できます。



TextBox オブジェクトのテキストの塗りつぶし例:



注意:AdvancedText に出力するテキストやフォントが書式付きテキストエディタで設定された場合、Font プロパティは無視されます。

TextFormat プロパティ(表示)

テキストを設定した形式(数値、通貨、日付、時刻、パーセント)に変更します。ユーザー定義の形式も作成 できます。

| 🤯 Format | | × |
|--|--|------|
| Formats General Number Currency Date Time Percentage Custom | Sample Properties Format mask #### ### ##0.00 g G +0 (000) 000-00-00 t T hh:mm H:mm d D f F dd/MM/yy dd/MM/yyy | |
| | OK Car | ncel |

フォーマットエディタのテキスト形式をユーザー定義に設定:

Textbox オブジェクトに使用したテキスト形式の例:

| プ | ゚ロパティ | | レポート |
|---|------------|--------------|---------------------|
| | StyleName | | |
| | Text | 34.5 | £34.50 |
| | TextAlign | MiddleCenter | |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | Currency | |
| | ToolTip | | |
| | StyleName | | |
| | Text | 02.17.2010 | 17 February 2010 |
| | TextAlign | MiddleCenter | 2010 |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | Date | |
| | ToolTip | | |
| | StyleName | | |
| | Text | 123456 | 123,456.00 |
| | TextAlign | MiddleCenter | |
| | TextFill | [None] | |
| | TextFormat | Number | |
| | ToolTip | | |

ToolTip プロパティ(表示)

オブジェクトにマウスポインタを置いた時に表示されるヒントを作成します。

Shape オブジェクトでのツールチップの使用例:

| プ | ロパティ | | レポート |
|-----------|------------|---------------|-----------|
| \square | Appearance | | |
| Ŧ | Fill | ConicalFill | |
| Ŧ | Line | O Solid Black | |
| Ŧ | Shadow | Shadow | |
| Ŧ | ShapeStyle | StarShape | Starsnape |
| | StyleName | | |
| | ToolTip | StarShape 🛄 | |

Tag プロパティ(データ)

ユーザーが作成したオブジェクトに追加情報を持たせることができます。

タグの使用例:

| Ξ | Data | |
|---|------|------------------------|
| | Tag | additional information |

Name プロパティ(デザイン)

オブジェクトの名前を設定します。すべてのオブジェクト名は一意でなければなりません。

BandContainer に名前を設定:

| Pro | - 4 × | |
|-----|---------------------|---------|
| new | vName BandContainer | • |
| |]2↓ 📰 ▫² 📼 | |
| ۵ | Appearance | |
| | StyleName | Normal |
| | ToolTip | |
| ⊿ | Data | |
| | Tag | |
| ⊿ | Design | |
| | Name | newName |
| | ShowCaption | True |

ShowBottom プロパティ(デザイン)

デザイナでバンド下部の境界線を表示/非表示に設定できます。

DataBand の ShowBottom プロパティの使用例:

| プロパティ | | 1 | /ポート |
|-------------|-------------|----------|-------------------------------|
| 🗆 Design | | | dataBand2:DataBagd – |
| Name | dataB and2 | | ,0 |
| ShowBottom | True | ~ | |
| ShowCaption | True | • | • • |
| | | | and of dataBand? |
| | | Ó | |
| 🗆 Design | | | dataBand2:DataBa <u>n</u> d 🚽 |
| Name | dataB and 2 | | ······ |
| ShowBottom | False | × | |
| ShowCaption | True | |) |
| | | | |
| | | | |

ShowCaption \mathcal{T} \square \mathcal{T} \square \mathcal{T} \mathcal

デザイナモードでのバンドのヘッダー部分の表示/非表示を設定します。

DataBand の ShowCaption プロパティの使用例:

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|-------------|-----------|----------------------|
| | Design | | dataBand2:DataBagd 🚽 |
| | Name | dataBand2 | |
| | ShowBottom | True | |
| | ShowCaption | True 💌 | 0 0 |
| | | | and of dataBand? |
| | | | |
| Ξ | Design | | • |
| | Name | dataBand2 | |
| | ShowBottom | False 💌 | 0 0 |
| | ShowCaption | True | |
| | | | end of dataBand2 |

Location プロパティ (レイアウト)

コンテナに対するオブジェクトの左上端の位置を設定します。

オブジェクトの位置は、マウスポインタまたはプロパティグリッドで変更できます。

Shape オブジェクトの位置変更例:

| プロパティ | | レポート |
|----------|---------|-----------|
| 🗆 Layout | | 99 |
| Location | 0; 0 cm | |
| × | 0 cm | |
| Y | 0 cm | |
| ⊞ Size | 2; 2 cm | |
| 🗆 Layout | | |
| Location | 1;1 cm | |
| × | 1 cm | • • • |
| Y | 1 cm | |
| 🕀 Size | 2; 2 cm | |
| | | |

注意1:X座標は0と等しいので変更できません。

注意 **2**:「グリッドに合わせる」オプションは、マウスポインタで位置を変更する時にオブジェクトをグリッドに合わせるかどうかを定義します。ツールバーの下図のボタンをクリックしてこのオプションを切り替えてください。



Size プロパティ (レイアウト)

オブジェクトのサイズを設定します。

このプロパティは、オブジェクトの枠をマウスポインタまたはプロパティグリッドから移動する時にサイズを 変更します。

Shape オブジェクトのサイズ変更例:



注意1:バンドのX座標が0と等しいので、変わりません。

注意2:「グリッドに合わせる」は、オブジェクトの位置を変更する時にグリッドに合わせるか定義します。 このオプションの切り替えには「グリッドに合わせる」ボタンを使用してください。

CanBreak プロパティ(Render)

オブジェクトがページサイズを超えた場合にオブジェクトの内容をページ分割します。

Detail と AdvancedText オブジェクトの CanBreak プロパティの例:

| プ | ゚ロパティ | | レポート |
|---|--------------|---------|--|
| | Render | | dolor sit amet consectetuer |
| | CanBreak | False 💌 | adipiscing elit, sed diam |
| | CanGrow | True | nonummy nibh euismod tincidunt |
| | CanShrink | False | ut laoreet dolore magna aliquam |
| | GrowToBottom | False | erat volutpat. Ut wisi enim ad |
| | Visible | True | |
| | Render | | dolor sit amet, consectetuer |
| | CanBreak | True 💌 | adipiscing elit, sed diam |
| | CanGrow | True | nonummy nibh euismod tincidunt |
| | CanShrink | False | ut laoreet dolore magna aliquam |
| | GrowToBottom | False | erat volutpat. Ut wisi enim ad |
| | Visible | True | minim veniam, quis nostrud |
| | | | lobortis nisl ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis autem vel eum iriure dolor in |

注意:別のセクションに貼り付けたオブジェクトの CanBreak プロパティを設定する場合、その内容をページ 分割するには、コンテナバンドに CanBreak プロパティを設定しなければなりません。

CanGrow プロパティ(Render)

コンテンツがテンプレートのオブジェクトに指定したサイズに収まりきらない場合にオブジェクトの高さを大 きくします。

TextBox オブジェクトの CanGrow プロパティの使用例

レポートテンプレート:



| プ | ロパティ | | | レポート |
|---|--------------|-------|----------------------------|---|
| | Render | | | Education includes a DA in |
| | CanGrow | False | ~ | Education includes a BA m nevelology from Colorado State Uni |
| | CanShrink | False | | psychology from Colorado State On |
| | GrowToBottom | False | | |
| | Visible | True | | |
| Ξ | Render | | Education includes a BA in | |
| | CanGrow | True | ~ | psychology from Colorado State |
| | CanShrink | False | | University in 1970. She also |
| | GrowToBottom | False | | completed The Art of the Cold Call. |
| | Visible | True | | Nancy is a member of Toastmasters International. |

注意:別のバンド内のオブジェクトの CanGrow プロパティを設定し、そのオブジェクトの高さに応じてコン テナバンドの高さを変えるには、コンテナバンドの CanGrow プロパティも設定しなければなりません。

CanShrink プロパティ(Render)

レポート生成時に挿入されたコンテンツがコンテナのサイズよりも小さい場合にオブジェクトの高さを小さく します。

TextBox オブジェクトの CanShrink プロパティの使用例

レポートテンプレート:



| プロパティ | | レポート | |
|--------------|---------|---|---|
| Render | | | 1 |
| CanGrow | False | | |
| CanShrink | False 🔹 | A A | |
| GrowToBottom | False | Nancy | |
| Visible | True | Davolio | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| Render | | Nandy | 1 |
| CanGrow | False | Davolio | |
| CanShrink | True 💌 | Darono | 1 |
| GrowToBottom | False | | |
| Visible | True | | |

注意:別のバンド内のオブジェクトの CanShrink プロパティを設定し、そのオブジェクトの高さに応じてコ ンテナの高さを変更するには、コンテナバンドの CanShrink プロパティも設定しなければなりません。

MinSpaceAfter プロパティ(Render)

バンドの下枠からページの下端領域までの最小間隔を設定します。

Detailの MinSpaceAfter を使用したリストの表示例:

レポートテンプレート:

dataBand1:DataBand DataSource = Em detail1:Detail <dataBand1 ("EmployeeName")> end of dataBand1

| CanShrink False MinSpaceAfter 0,75 cm NewColumnAfter False | プロパティ | | レポート |
|--|---|---------------------------|--|
| Anne Dodsworth Steven Buchana | プロパティ CanShrink MinSpaceAfter NewColumnAfter | False 0,75 cm False | レポート Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth Steven Buchana |

Mode プロパティ(Render)

見出しや重ね合わせに設定でき、オブジェクトを奇数、偶数、全ページに表示するかを定義できます。

ページヘッダーの Mode プロパティの使用例

| page | Header1:PageHeader | |
|------|---------------------------|-----|
| | 0 | - Y |
| 0 | <pagenumber></pagenumber> | 0 |
| | | |

| プ | ロパティ | | レポー | - ŀ | |
|---|-----------|---------------|-----|---------------------------------------|-----|
| | Render | | | | |
| | CanGrow | False | | 1 | - 1 |
| | CanShrink | False | | | - 1 |
| | Mode | AllPages 💉 | | | |
| | Visible | True | | 2 | |
| | | | | | |
| | | | | 0 | |
| | | | | 3 | |
| | Deedee | | | | - |
| | ConGroup | False | | 4 | - 1 |
| | Candiow | | | 1 | - 1 |
| | Mada | | | | 4 |
| | Visible | | | | - 1 |
| | VISIDIE | The | | | 1 |
| | | | | | 4 |
| | | | | 2 | |
| | | | | 5 | |
| Ξ | Render | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | = |
| | CanGrow | False | | | |
| | CanShrink | False | | | |
| | Mode | EvenPages 🛛 🗸 | | | - |
| | Visible | True | | 2 | |
| | | | | _ | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

GrowToBottom プロパティ(Render)

オブジェクトをコンテナバンドの下枠まで引き伸ばします。

TextBox.GrowToBottom プロパティの使用例



| プロパティ | | | レポート | | |
|-------------|----------|----------|------|------|--|
| Render | | | | | |
| CanGrow | False | | | text | |
| CanShrink | False | | | | |
| GrowToBotto | om False | × | | | |
| Visible | True | | | | |
| | | | | | |
| 🗆 Render | | | | | |
| CanGrow | False | | | | |
| CanShrink | False | | | tout | |
| GrowToBotto | m True | v | | Lext | |
| Visible | True | | | | |
| | | | | | |

NewColumnAfter プロパティ(Render)

バンド内容の後に新しい列を追加するかを設定します。

Detail の内容の後に新しい列を追加する例:

| dataBand3:DataBand | DataSource = En |
|--|-----------------|
| detail3:Detail | |
| <databand3< td=""><td></td></databand3<> | |
| ("EmployeeNa | |
| me")> | |
| end of dataBand3 | - |

| プ | ロパティ | | レポート | |
|---|--|-----------------------|-------------------|-------------------|
| Ξ | Render | | Nancy Davolio | Steven |
| | CanBreak | False | Andrew Fuller | Buchana |
| | CanGrow | True | Anne La | aura Callahan |
| | CanShrink | True | Dodsworth | Anne Yorke |
| | MinSpaceAfter | 0 cm | - | |
| | NewColumnAfter | 🔹 False 🛛 💌 | | |
| | NewColumnBefore | False | | |
| Ξ | Render | | Nancy Davolio A | ndrew Fuller |
| | CanBreak | False | | |
| | CanGrow | True | | |
| | CanShrink | True | | |
| | | | | |
| | MinSpaceAfter | 0 cm | Anne | Steven |
| | MinSpaceAfter NewColumnAfter | 0 cm True | Anne Dodsworth | Steven Buchana |
| | MinSpaceAfter NewColumnAfter NewColumnBefore | 0 cm True False | Anne Dodsworth | Steven Buchana |

NewColumnBefore プロパティ(Render)

バンドの内容の前に新しい列を追加するかを設定します。

Detail (detail4) の内容の前に新しい列を追加する例:

| dataBand3:DataBand | DataSource = En |
|--|-----------------|
| detail4:Detail | |
| <databand3("e< td=""><td></td></databand3("e<> | |
| detail3:Detail | |
| <databand3("h< td=""><td></td></databand3("h<> | |
| end of dataBand3 | |

| プ | ロパティ | |] | レポート | | |
|---|-----------------|---------|-----|----------------|-------------------|---|
| Ξ | Render | | | Nancy Davolio | (206) 555-9482 | |
| | CanBreak | True | | , | `´. | |
| | CanGrow | True | | (206)555-9857 | Anne Dodeworth | |
| | CanShrink | False | | Andrew Fuller | (71) 555-4444 | |
| | MinSpaceAfter | 0 cm | | | (11)000 1111 | |
| | NewColumnAfter | False | lli | Steven | (71) 555-4444 | |
| | NewColumnBefore | False 💌 | | Buchana | | |
| | | | | (71) 555-4444 | Anne Yorke | |
| | | | | Laura Callahan | (71) 555-4444 | |
| | | | | Eddra Calianan | | |
| Ξ | Render | | ľ | Nancy Davolio | Andrew Fuller | Ľ |
| | CanBreak | True | | | | |
| | CanGrow | True | | (206)555-9857 | (206) 555-9482 | |
| | CanShrink | False | | | | |
| | MinSpaceAfter | 0 cm | l | | | |
| | NewColumnAfter | False | I | Anne | Steven | |
| | NewColumnBefore | True 💌 | | Dodsworth | Buchana | |
| | | - • | | (71) 555-4444 | (71) 555-4444 | |
| 1 | | | 11 | | | |
| | | | | | | |

NewPageAfter プロパティ(Render)

バンド内容の後に新しいページを追加するかを設定します。

Detail の内容の後に新しいページを追加する例:

| datal | Band3:DataBand | DataSource = En |
|-------|----------------|-----------------|
| detai | l3:Detail | |
| < | dataBand3("E | mployeeNa |
| end (| of dataBand3 | |
| | | |

| プロパティ | | | レポート |
|-----------------|-------|---|----------------|
| MinSpaceAfter | 0 cm | | Nancy Davalia |
| NewColumnAfter | False | | Nancy Davono |
| NewColumnBefore | False | | Andrew Fuller |
| NewPageAfter | False | ~ | |
| NewPageBefore | False | | Anno Dodoworth |
| Visible | True | | Anne Dodsworth |
| | | | Steven Buchana |
| | | | |
| MinSpaceAfter | 0 cm | | Nancy Davolio |
| NewColumnAfter | False | | Hanoy Datono |
| NewColumnBefore | False | | |
| NewPageAfter | True | ~ | |
| NewPageBefore | False | | Andrew Euller |
| Visible | Taua | | |
| VISIDIE | True | | |
| VISIDIC | The | | |
NewPageBefore プロパティ(Render)

バンド内容の前に新しいページを追加するかどうかを設定します。

Detail (detail3) の内容の前に新しいページを追加する例:

レポートテンプレート:

| dataBand3:DataBand_DataSource = En |
|---|
| detail4:Detail |
| <databand3("employeename")></databand3("employeename")> |
| detail3:Detail |
| <databand3("homephone")></databand3("homephone")> |
| end of dataBand3 |

| プロパティ | | | レポート |
|-----------------|-------|---|-----------------|
| MinSpaceAfter | 0 cm | | Nancy Davolio |
| NewColumnAfter | False | | (206)555-9857 |
| NewColumnBefore | False | | (200)000-0001 |
| NewPageAfter | False | | Andrew Fuller |
| NewPageBefore | False | ~ | (206) 555-9482 |
| Visible | True | | Anne Dodsworth |
| | | | (71) 555-4444 |
| MinSpaceAfter | 0 cm | | Nancy Davolio |
| NewColumnAfter | False | | |
| NewColumnBefore | False | | |
| NewPageAfter | False | | |
| NewPageBefore | True | ~ | (206)555-9857 |
| Visible | True | | Apdress/ Fuller |
| | | | (206) 555-9482 |
| | | | Anne Dodsworth |

Visible プロパティ(Render)

レポートのオブジェクトの表示/非表示を設定します。

数字「2」のテキストボックスの Visible プロパティの例

レポートテンプレート:





注意:コンテナバンドが非表示の場合、そこに格納されているオブジェクトもすべて非表示になります。

テキスト出力

SharpShooter Reports では、以下のオブジェクトを使用してテキスト入力が行われます。

| オブジェクト | 説明 |
|--------------|-------------------------------|
| TextBox | 普通のテキスト情報を入力でき、テキスト表示を調整できます。 |
| AdvancedText | 書式付きテキストを出力します。 |
| RichText | RTF テキストを出力します。 |

静的なテキスト

Text プロパティは、**TextBox** オブジェクトに出力するテキストを入力するために使用します。このプロパティは<u>テキストエディタ</u>で定義されます。テキストエディタを開くには、テキストボックスをダブルクリックするか、プロパティグリッドの **Text** プロパティのボタンをクリックしてください。また、テキストセルに直接テキストを入力することもできます。

| Ξ | Appearance | |
|---|----------------|---------------|
| | Angle | 0 |
| | Border | |
| | Fill | [None] |
| ŧ | Font | Arial; 12pt |
| ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm |
| | RightToLeft | False |
| | StringTrimming | Character |
| | StyleName | |
| | Text | text |
| | TextAlign | MiddleCenter |
| | TextFill | [None] |
| | TextFormat | |
| | ToolTip | |

データソースのテキスト

データソースのテキストを入力するには、TextBox オブジェクトの Value プロパティ(選択したフィールドの値を取得します)を設定してください。GetData メソッドか DataBand のインデクサを使用できます。

(参照:データソースの一覧)

セル枠、セルのテキスト Border プロパティを使用して、オブジェクトの枠を定義します。テキストを表として入力する例:

| | Capti | on |
|----------|--------|--------|
| uwr | Cell#1 | Cell#2 |
| 0 Col | Cel | 11#3 |

テキストの出力方向

TextBox や AdvancedText オブジェクトのテキストの出力方向を変更できます。それには、RightToLeft プロパティを True に設定します。

Text プロパティ = "7 8 9 10 11"

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|----------------|-----------|-------------|
| | RightToLeft | False 💌 | |
| | StringTrimming | Character | / 8 9 10 11 |
| | StyleName | | |
| | Text | 7891011 | |
| | RightToLeft | True 💌 | |
| | StringTrimming | Character | 11 10 9 8 7 |
| | StyleName | | |
| | Text | 7891011 | |

テキストの切り取り

出力するテキストがオブジェクトの領域に収まらない場合は StringTrimming プロパティを使用してテキスト の切り取りを設定できます。

| プロパティ | | レポート |
|----------------|-----------------------|-------------|
| 表示可能な最後の文字の |)後のテキストは切り取られま | す |
| RightToLeft | False | one two t |
| StringTrimming | Character 💌 | |
| StyleName | | |
| Text | one two three | |
| 表示可能な最後の単語の | 後のテキストは切り取られま | す |
| RightToLeft | False | one two |
| StringTrimming | Word 💌 | |
| StyleName | | |
| Text | one two three | |
| 表示可能な最後の文字の | 後のテキストは切り取られ、 | 省略記号が追加されます |
| RightToLeft | False | one tw |
| StringTrimming | EllipsisCharacter 🛛 💌 | |
| StyleName | | |
| Text | one two three | |
| 表示可能な最後の単語の |)後のテキストが切り取られ、 | 省略記号が追加されます |
| | | |
| RightToLeft | False | one |
| StringTrimming | EllipsisWord 💌 | |
| StyleName | | |
| Text | one two three | |
| 先頭と末尾のテキストが | 「表示され、その間は省略記号 | が追加されます |
| RightToLeft | False | onree |
| StringTrimming | EllipsisWord 🛛 🗠 | |
| StyleName | | |
| Text | one two three | |

ClipText プロパティは、TextBox オブジェクトの領域に入り切らないテキスト行の処理方法を定義します。

| フ | [•] ロパティ | | レポート |
|---|-------------------|--------------------------------|------|
| | Border | Border | |
| | ClipText | False 💌 | |
| | Fill | [None] | |
| Đ | 3 Font | Calibri; 39,75pt; Bold=Off; It | |
| | Border | Border | ΤΡΥΤ |
| | ClipText | True 💌 | |
| | Fill | [None] | |
| Đ | 3 Font | Calibri; 39,75pt; Bold=Off; It | |

テキストオブジェクトのサイズ操作

<u>Size プロパティ</u>は、オブジェクトのサイズを定義します。生成時にオブジェクトを適切なサイズに変更する機能があります。これは、テンプレートの作成時にオブジェクトのコンテンツが取得されない場合やレポート生成時にコンテンツが変わる場合に役立ちます。<u>CanShrink</u>や<u>CanGrow</u>プロパティは内容に応じてオブジェクトを大きくする(またはプロパティの値に応じて大きくさせないようにする)ことができます。 <u>GrowToBottom プロパティ</u>はオブジェクトのサイズをコンテナバンドの下枠まで大きくするかを定義します。

テキストスタイル

レポートを作成するための機能が多数あります。<u>Fill プロパティ</u>は背景色を定義します。<u>Font プロパティ</u>はフ ォント型、テキストスタイル(標準、太字、斜体、下線、打ち消し線)などのテキストの見た目を設定します。 テキストボックスのテキストの揃え方や位置は <u>TextAlign プロパティ</u>で定義します。<u>TextFill プロパティ</u>を使 用してスタイルやテキストの背景色を設定できます。

また、複数のオブジェクトに 1 つのスタイルを適用させることができます。<u>スタイルシートエディタ</u>はスタイ ルエディタとして使用でき、<u>StyleName</u> プロパティはオブジェクトにスタイルを適用します。

テキスト形式

テキスト形式を指定して表示するには、<u>TextFormat プロパティ</u>を使用します。フォーマットエディタで複数 のテキスト形式(標準、数値、通貨、日付、時刻、パーセンテージ、ユーザー定義)を取得できます。

書式付きテキスト

AdvancedText コンポーネントは、データを書式付きテキストとして入力できます。段落、テキストスタイルの設定や記述したテキストにステートメントを正しく使うオプションがあります。書式付きテキストは、 HTML のようなマークアップ言語(Text プロパティ)や RTF 形式のサブセット(RTF プロパティ)から指定できます。

<u>書式付きテキストエディタ</u>(Text プロパティ)で HTML のようなタグを使ってテキストの書式設定が行えま す。



段落の書式設定

<P></P> タグは、選択したテキストを別の段落にします。

Align 属性は、段落の水平方向のテキストの位置合わせを指定します。使用可能な値は次の通りです。

align = "left" - 段落の左揃え

align = "right" - 段落の右揃え

align = "center" - 中央揃え

align = "justify" - 両端揃え

Align の規定値は 「left」 (左揃え)です。編集するテキストを選択し、ツールバーの「左揃え」、「中央揃 え」、「右揃え」、「両端揃え」ボタンを使用して揃え方を設定してください。

テキストの書式設定

 タグは、この後に設定されたテキストの出力スタイルを設定し、終了タグ はこの設定を解除します。 タグの囲い込みが可能です。テキストスタイルは次の属性を使って指定できます。

face - フォント名を設定します。

size - フォントサイズを設定します。

スタイルを瞬時に定義するには、「フォント」ボタンを押してスタイルエディタを開いてください。

color - フォントの色を設定します。

利用可能な値: 色名(例: color="red")、RGB の各カラーコンポーネントの 16 進形式(例: color="#FF0000")。色を瞬時に選択するには、「色」ボタンを押して ColorPicker を開いてください。

Tag - この後のテキストは太字になります。終了タグ はこの設定を解除します(「太字」ボタン)。

Tag <I> - この後のテキストは斜体になります。終了タグ **</I>** はこの設定を解除します(「斜体」ボタン)。

Tag <U> - この後のテキストには下線が付きます。終了タグ </U> はこの設定を解除します(「下線」ボタン)。

Tag
 - 段落内で行を折り返します(「改行を挿入する」ボタン)。

記号の追加

*** " –** スペース(「スペースを挿入する」ボタン)

"&" - 「&」記号

"<" - 「<」記号

"&#ddd;" - ddd コード付きの記号

注意:テキストが段落として書かれていない場合、TextAlign プロパティの位置合わせが適用されます。明白 なフォントが設定されていない場合、Font プロパティの設定が適用されます。テキストの色が指定されていな い場合、TextFill プロパティの設定が適用されます。テキスト操作時の改行、複数のスペース、連続/不明なタ グや属性は無視されます。タグ名の大文字/小文字の区別はありません。

式を使用する

書式付きテキストに命令文を直接使用でき、その結果はテキストに追加されます。式は {=<Statement>} のように指定します({=<Statement>} - 設定したスクリプト言語の式)。利用可能な型やオブジェクトを すべて式に使用できます。テキストを挿入する前に、Format プロパティで指定したマスクの書式が式の結果 に適用されます。エラーが発生した場合、エラーメッセージが式の結果としてテキストに挿入されます。

DataSources セクションは、ドキュメントやデータソースフィールドに特別なプロパティを追加します。

RTF プロパティの使用

RTF 形式のサブセットがテキストの書式に使用されます。RTF 形式の次の構造が使用されます:フォントテー ブル、色テーブル、コメント、段落書式の演算子("\par"、"\pard"、"\ql"、"\qr"、"\qc"、 "\qj"、"\line")、テキスト書式の演算子("\fxx"、"\fsxx"、"\cfxx"、"\b"、"\l"、"\u")。 残りのすべての構造や演算子は無視されます。Rtf プロパティは、書き込み専用にデザインされています。Rtf プロパティは、Text プロパティに接続されます。Rtf プロパティが指定されると、Text プロパティの値が自 動的に指定されます。

RTF ファイルからテキストを読み込むには、「RTF ドキュメントを開く」ボタンを押してください。

テキストのページ分割

AdvancedText オブジェクトは、1 つのオブジェクトのテキストを1ページまたは複数ページに出力します。 それには <u>CanBreak プロパティ</u>を使用してください。

RTF 形式のテキスト

RichText オブジェクトは、**RTF** 形式のテキストを出力するために使用します。<u>RichText エディタ</u>を使って、 ファイルからテキストを読み込みます。

リスト

シンプルリスト

DataBand を使用してリストを作成します。DataBand はその中に格納されたオブジェクトを繰り返し出力し ます。ビジュアルオブジェクトをリストとして表示するには、DataBand 内の Detail に格納しなければなり ません。Detail は行の高さを設定します。InstanceCount プロパティは何回表示するかを設定します。

| Ξ | Data | |
|---|------------------|--------------|
| | DataSource | |
| | FilterExpression | |
| | InstanceCount | 5 |
| | Sort | (Collection) |
| | Tag | |
| | Totals | (Collection) |

命令文: < DataBand name>.LineNumber() は、行番号を取得するために使用します。

行番号を出力するリスト例:

dataBand1.InstanceCount = 5;

textBox.Value = "line number = " + dataBand1.LineNumber().ToString() + " of " + dataBand1.InstanceCount.ToString();



データソースのリスト

DataBand はソースのデータに基づいてリストを作成します。データソースは、**DataSource** プロパティで設 定されます。

注意:出力される行数はデータソースの行数によるので、InstanceCount プロパティは無視されます。

🗆 Data

| | DataSource | Employees 💌 |
|--|------------------|--------------|
| | FilterExpression | |
| | InstanceCount | 0 |
| | Sort | (Collection) |
| | Tag | |
| | Totals | (Collection) |

現在の(出力しなければならない)フィールドにアクセスするには、GetData("<Data source name>.<Field name>") または <DataBand name>["<Field name>"] のどちらかのスクリプトを使用 します。テキスト情報は、データソースタブのドキュメントツリーから対象のフィールドを(DataBand 内の) Detail にドラッグすることで出力できます。

担当者名を出力するリスト例:

dataBand.DataSource = Employees;

textBox.Value = dataBand["EmployeeName"];



段組みのリスト

レポートの領域を減らしてレポートをより視覚的にするには、リストを段組で出力する方法があります。 DataBand の ColumnsCount プロパティに列数を設定します。また、リストの列間隔も ColumnsGap プロ パティで設定できます。

社員のリスト例:

dataBand.DataSource = Employees;

textBox.Value = dataBand["EmployeeName"];

| レホ | ポートテンプレート : |
|------|--------------------------------|
| data | Band:DataBand_DataSource = Emp |
| deta | il:Detail |
| | ≺dataBand[" |
| end | of dataBand |
| | |
| | |

| プロパティ | | レポート |
|---|-----------------------------------|---|
| □ Layout 0 ColumnsCount 0 0 ⊡ Location 0; 0 cm ⊡ Size 5; 2 cm | | Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth Steven Buchana Laura Callahan Anne Yorke |
| □ Layout ColumnsCount ColumnsGap ① Location ① Size | 2 0 cm 0; 0 cm 6; 1.6 cm | Nancy Steven Davolio Buchana Andrew Laura Fuller Callahan Anne Anne Yorke Dodsworth |

| 🗆 Layout | | Nancy | Steven |
|--------------|-----------|----------|------------|
| ColumnsCount | 2 | Davolio | Buchana |
| ColumnsGap | 0,25 cm | Andrew | Laura |
| | 0; 0 cm | Fuller | Callahan |
| 🕀 Size | 5; 1,5 cm | Anne | Anne Yorke |
| | | Doaswonn | |

リストのヘッダー

Header はリスト、ページ、または列の先頭にデータを一回出力するために使用します。ヘッダーはそのため に使用され、DataBand 内に貼り付けなければなりません。RepeatEveryColumn や RepeatEveryPage プ ロパティはヘッダーの反復モードに役立ちます。

リストのヘッダーの使用例:

dataBand3.DataSource = Employees; textBox1.Text = "Name"; textBox2.Value = dataBand3("EmployeeName");

レポートテンプレート:

| dataBand:DataBand | Dat | aSo | ourc | :e = | = E | r1ıF |
|---|-----|-----|------|------|-----|------|
| header5:Header | | | | | | |
| Name | | | | | | |
| detail:Detail | | | | | | - |
| <databand["e< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></databand["e<> | | | | | | |
| end of dataBand | | | | | | - |

| プ | ロパティ | | | レポート | |
|---|-------------------|---------|---|-----------------------|-------------------|
| | NewColumnBefore | False | | blama | Steven |
| | NewPageAfter | False | | Name | Buchana |
| | NewPageBefore | False | | Nancy Davolio | Laura Callahan |
| | RepeatEveryColumn | False 💌 | | Andrew Fuller Anne | Anne Yorke |
| | RepeatEveryPage | False | | Dodsworth | |
| | Visible | True | | | |
| | NewColumnBefore | False | | Nome | Nama |
| | NewPageAfter | False | | Name Name | Rame |
| | NewPageBefore | False | | Nancy Davolio | Steven Buchana |
| | RepeatEveryColumn | True 💌 | | Anne | Laura Callahan |
| | RepeatEveryPage | False | | Dodsworth | Anne Yorke |
| | Visible | True | Ľ | | 7 |
| | | | | Nome | |
| | NewPageAfter | False | | Name | |
| | NewPageBefore | False | | Nancy Davolio | |
| | RepeatEveryColumn | False | | Anne Dodsworth | |
| | RepeatEveryPage | False 💌 | | | |
| | Visible | True | | Steven Buchana | |
| | | | | Laura Callahan | |
| | | | | Anne Yorke | |
| | | | | | |
| | | | | | |



| NewPageAfter NewPageBefore RepeatEveryColumn RepeatEveryPage Visible | False False False True True | (| * | Name Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth |
|--|---|---|---|--|
| | | | | Name Steven Buchana Laura Callahan Anne Yorke |

リストの並べ替え

DataBand はデータソースに保存されている項目順で出力します。DataBand の Sort プロパティは特別な出 力順を設定します。Sort プロパティは<u>コレクションエディタ</u>を使用して定義します。Expression プロパティ は並べ替えの式を設定するために使用します(スクリプトを式として使用しなければなりません)。Order プ ロパティは並べ替えの順番(昇順または降順)を定義します。

| 🤣 Collection Editor | |
|---|--|
| Members | Properties |
| dataBand1["BithDate"] ↓ ↓ | ▲ Misc Expression dataBand1["Birth Order Order Ascending |
| | Expression Defines an object by which the sorting is performed |

並べ替え条件に応じて社員の名前と誕生日を表示するリスト例:

レポートテンプレート:

| dataB | land:E |)ataBar | nd Da | ataSo | urce | = Emp |
|--|--------|---------|-------|-------|------|-------|
| detail: | Detai | | | | | |
| <q< td=""><td>ataB</td><td>and("E</td><td>m -</td><td>data</td><td>Ban</td><td>d["</td></q<> | ataB | and("E | m - | data | Ban | d[" |
| end o | f data | Band | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

dataBand.DataSource = Employees;

textBoxName.Value = dataBand["EmployeeName"];

textBoxDate.Value = dataBand["BirthDate"];

| 並べ替え条件 | | レポート | |
|----------------|----------------------------|----------------|------------|
| なし | | Nancy Davolio | 11.11.1976 |
| | | Andrew Fuller | 25.02.1969 |
| | | Anne Dodswort | 30.06.1981 |
| | | Steven Buchan | 15.12.1984 |
| | | Laura Callahan | 28.09.1987 |
| | | | |
| 🗆 Misc | | Andrew Fuller | 25.02.1969 |
| Expression | dataBand["EmployeeName"] 🛄 | Anne Dodswort | 30.06.1981 |
| Urder | Ascending | Anne Yorke | 03.05.1969 |
| | | Laura Callahan | 28.09.1987 |
| | | Nancy Davolio | 11.11.1976 |
| | | | |
| Misc | | Laura Callahan | 28.09.1987 |
| Expression dat | aBand["BirthDate"] 🛄 | Steven Buchan | 15.12.1984 |
| Urder De: | scending | Anne Dodswort | 30.06.1981 |
| | | Nancy Davolio | 11.11.1976 |
| | | Anne Yorke | 03.05.1969 |
| | | | |

リストのフィルタ処理

ある条件を満たしているデータを表示する場合には、DataBand の FilterExpression プロパティを使用できます。

性別によって社員の名前を表示するリスト例:

レポートテンプレート:

| dataBand:DataBand_DataSource = Emp | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|
| detail:Detail | | | | | | |
| <databand["employeena< td=""></databand["employeena<> | | | | | | |
| end of dataBand | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

dataBand.DataSource = Employees;

textBoxName.Value = dataBand["EmployeeName"];

| プロパティ | レポート |
|---|---|
| <pre>dataBand.FilterExpression = dataBand1["Sex"].ToString() == "f"</pre> | Nancy Davolio Anne Dodsworth Laura Callahan Anne Yorke |
| <pre>dataBand.FilterExpression = dataBand1["Sex"].ToString() == "m"</pre> | Andrew Fuller Steven Buchana |

最終的なリストの値

リストの合計を計算する場合、集計リストを使用できます。DataBand にデータを出力するには、Totals プロパティの<u>コレクションエディタ</u>コレクションエディタでリストの集計関数を指定できます。

| 🥔 Collection Editor | |
|---------------------|------------------------------|
| Members | Properties |
| Sum 📑 | |
| | ⊿ Misc |
| | AggregateFunc Sum |
| + | Expression dataBand1.DataIte |
| | Name Sum |
| ↓ | |
| | |
| | |
| | Name |
| | Name is total |
| | |
| | OK Cancel |
| | |

AggregateFunction プロパティは集計関数を指定します。集計式は Expression プロパティで指定します。 関数名は Name プロパティに指定します。スクリプト:GetTotal("<aggregate name>") は、指定した関 数を呼び出してその合計を取得するために使用します。GetRunningTotal("<aggregate name>") は、現在 の累計を取得するために使用します。集計値を出力する前に集計したデータを取得することができます。 GetTotal の結果はこの関数を呼び出す要素の位置(前または後)には依存しません。Detail に GetRunningTotal の値を出力することをお勧めいたします。Header からの呼び出しは累計された値がない ので役に立ちません。Footer から呼び出した GetRunningTotal の値は GetTotal の値と一致します。

レポートジェネレータは、組み込まれている次の12の集計関数をサポートしています。

集計関数の使用例:

レポートテンプレート:

| da | dataBand:DataB | | | | | | |
|----------|-----------------|------|----|-----|------|--|---|
| de | eta | ail: | De | eta | ail | | |
| | ≺dataBa | | | | | | |
| fe | t | or | ۰F | A | vt e | | _ |
| 10 | TOOLET.FOOLET | | | | | | |
| ≺GetTota | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| er | end of dataBarr | | | | | | |

dataBand.DataSource = Numbers; textBox1.Value = dataBand["Value"]; textBox.Value =
GetTotal("Func");

| プロパティ | | レポート |
|--|---------------------------|----------|
| 合計: | | |
| 🗆 Misc | | 1 |
| AggregateFunction | Sum | 13 |
| Expression | dataBand["Value"] | 77 |
| Name | Func | |
| | | 91 |
| _ 平均 · | | |
| E Misc | | |
| | Áva 💌 | |
| Expression | dataBand["Value"] | 13 |
| Name | Func | |
| | | 30,33333 |
| | | |
| | | |
| | Min 💌 | |
| Expression | dataBand["Value"] | 13 |
| Name | Func | 77 |
| (Sano | | 1 |
| | | |
| 和八吧。 日 Misc | | |
| AggregateFunction | Max 💌 | |
| Expression | dataBand["Value"] | 13 |
| Name | Func | 77 |
| | | 77 |
| | | |
| | | |
| HISC | Court | 1 |
| AggregateFunction | Lount | 13 |
| Name | uatabanut value j Euro | 77 |
| Name | | 3 |
| | | |
| 標準偏差: | | |
| | Chandrad Davids | |
| AggregateFunction | Standard Deviatio M | 13 |
| Expression | Gataband["Yalue"] | 77 |
| Name | runc | 33,35998 |
| [1] The star sector is a sector of the secto | | |
| 推定標準偏差: | | |
| | | 1 |
| AggregateFunction | Estimate of Standa | 13 |
| Expression | dataBand["Yalue"] | 77 |
| Name | runc | 40,85747 |
| /\ #L | | |
| 分散: | | |
| | Mariana (m | |
| AggregateFunction | variance V | 13 |
| Expression Name | uataband["Yaiue"] | 77 |
| Name | r unc | 1112,888 |
| | | |
| 標本分散: | | |

| 🗆 Misc | | 1 |
|-------------------|----------------------|----------|
| AggregateFunction | Estimate of varian 💌 | 13 |
| Expression | dataBand["Value"] | 77 |
| Name | Func | |
| | | 1669,333 |
| | | |
| | | 1 |
| AggregateFunction | Median 💌 | 13 |
| Expression | dataBand["Value"] | 77 |
| Name | Func | |
| | 1 | 13 |
| 不止 | | |
| 金度: | | |
| 🗆 Misc | | 1 |
| AggregateFunction | Skewness 💉 | 13 |
| Expression | dataBand["Value"] | 77 |
| Name | Func | 0.00105 |
| | | 0,039100 |
| 尖度: | | |
| 🗆 Misc | | 1 |
| AggregateFunction | Kurtosis 🛛 💌 | 13 |
| Expression | dataBand["Value"] | 77 |
| Name | Func | |
| | | -1,5 |
| | | |

ページの項目数

DataBand の Total プロパティはそのページの項目数を数えるために使用します。次のように、<u>コレクション</u> <u>エディタ</u>で Count 関数を定義できます。

| 🤯 Collection Editor | |
|---------------------|--|
| Members | Properties |
| Count | <mark>₽</mark> |
| | ⊿ Misc |
| | AggregateFunc Sum |
| 1 | Expression 1 |
| | Name Count |
| • | |
| | AggregateFunction Determines the aggregate expression. |
| | OK Cancel |

PageFooter の Textbox オブジェクトは個数の出力に使用します。Text プロパティは PageFooter.GenerateScript で設定されます。

```
if (Engine.IsDoublePass)
{
    textBoxFooter.Text = dataBand5.GetPageTotal("Count") + " / " +
dataBand5.GetTotal("Count") + "レコード";
}
```



個数を計算するには、ドキュメントの DoublePass プロパティを True に設定してください。

| レポートテンプレート | レポート |
|--|--|
| dataBand5:DataBand DataSource = En detail6:Detail end of dataBand5 pageFooter1:PageFooter | Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth Steven Buchana Records 4 of 6 |
| | Laura Callahan Anne Yorke |

グループ化

条件を指定してデータをグループ化することで、データ行を論理的にグループ化し、情報をより良く表現する ことができます。GroupBand はそのために使用します。グループ化の基準は、GroupExpression プロパテ ィで設定します。このプロパティはスクリプトエディタで順番に設定されます。

グループヘッダー

グループヘッダーを表示するには、グループバンドにヘッダーを配置します。グループ値を表示するには、 GroupExpression プロパティを使用します。

名前の頭文字ごとに担当者の一覧をグループ化する例:

レポートテンプレート:

| dataBand:DataBand_DataSource = Emp |
|---|
| groupBand:GroupBand_Group = dataB |
| header:Header |
| <pre><group></group></pre> |
| detail7:Detail |
| <databand["employeena< td=""></databand["employeena<> |
| end of groupBand |
| end of dataBand |
| |
| |

dataBand.DataSource = Employees; groupBand1.GroupExpression = dataBand6["EmployeeName"].ToString().Substring(0,1); textBoxHeader.Value = Group; textBoxDetail.Value = dataBand["EmployeeName"]

レポート:



グループの並べ替え

GroupBand はレポートの項目をデータソースに保存されている順番で表示します。**GroupBand** の **Order** プロパティは出力順を設定します。このプロパティには次の3つの値:KeepOriginal(最初のまま)、 Ascending(昇順)、**Descending**(降順)があります。

| Ξ | Data | | | | | |
|---|-----------------|------------------------|---|--|--|--|
| | GroupExpression | dataBand["EmployeeName | e | | | |
| | Order | Ascending 🛛 💌 |] | | | |
| | SortExpression | | | | | |
| | Tag | | 1 | | | |

SortExpression プロパティは並べ替えの基準を設定します。

社員の名前の頭文字でグループ化し並べ替えをするリストの例:

dataBand.DataSource = Employees; groupBand.GroupExpression =
dataBand["EmployeeName"].ToString().Substring(0,1); groupBand.Order = Ascending;
textBoxHeader.Value = Group; textBoxDetail.Value = dataBand["EmployeeName"]



グループのカスケード表示

複雑なグループ構造のレポートを作成するためのオプションがあります。それには、複数の GroupBand を入 れ子にして使用します。

まず国名、次に都市名でグループ化された社員リストの例:

dataBand.DataSource = Employees; groupBandCounty.GroupExpression = dataBand["Country"]; groupBandCity.GroupExpression = dataBand["City"]; textBoxDetail.Value = dataBand["EmployeeName"].

| レポートテンプレート | レポート |
|--|---|
| dataBand:DataBand_DataSource = Employees groupBandCounty:GroupBand_Group = dataBand["Country"] header1:Header < groupBandCity:GroupBand_Group = dataBand["City"] header2:Header < detail8:Detail end of groupBandCity | I <u>taly</u> Rome Nancy Davolio <u>Milan</u> Anne Dodswort <u>France</u> <u>Paris</u> Andrew Fuller |
| end of groupBandCounty | <u>Enqland</u> <u>London</u> Steven Buchan <u>Liverpool</u> Laura Callahan Anne Yorke |

グループの合計

グループの合計値を取得するには、グループで GetTotal を呼び出します。グループで GetRunningTotal を 呼び出すと、グループの累計値を取得します。

グループ化された数値のリスト例:まず、各グループの合計が計算され、最後に全グループの合計が表示され ます。

dataBand1.DataSource = Numbers;

集計関数:AggregateFunction = Sum; Expression = dataBand1 ["Value"]; Name = SUM;

groupBand4.GroupExpression = dataBand1["Type"]; textBoxDetail.Value = dataBand1["Value"]; textBoxFooter.Value = GetTotal("SUM");

| レポートテンプレート | レポート |
|--|---|
| dataBand1:DataBand DataSour groupBand4:GroupBand Group detail9:Detail <data footer2:Footer group sum <get end of groupBand4 footer3:Footer total sum <get end of dataBand1</get </get </data | 1 13 12 group sum 26 -34 -56 108 group sum <u>18</u> total sum 44 |

水平方向のリストと表

水平方向のリスト

水平方向のリストを作成するには、CrossBand を使用します。CrossBand はこのバンド内のオブジェクトを 水平方向(左から右)に反復表示します。CrossBand は、レポート内の CrossBand の位置を定義する Detail、Header または Footer に入れなければなりません。反復回数は InstanceCount プロパティで定義 します。

| Ξ | Data | |
|---|---------------|---|
| | DataSource | |
| | InstanceCount | 5 |
| | Tag | |

命令文: <**CrossBand name>. LineNumber()**は、項目番号を取得するために使用します。**CrossBand** に出 力されるすべての項目が1行に収まり切らない場合は、次のページに表示されます。

項目番号を出力する水平方向のリストの例:

crossBand1.InstanceCount = 4; textBox.Value = crossBand1.LineNumber().ToString + " of " + crossBand1.InstanceCount().ToString;

| レポートテンプレート レポート | | | |
|---|-----------------------------|--|--|
| dete <mark>CrossBail</mark> d | 1 of 4 2 of 4 3 of 4 4 of 4 | | |
| de <mark>CrossBarita Sa</mark> <cros< th=""><th>1 of 4 2 of 4 3 of 4</th></cros<> | 1 of 4 2 of 4 3 of 4 | | |
| | 4 of 4 | | |

データソースのデータを使った水平方向のリスト

CrossBand はデータソースのデータに基づいて水平方向のリストを作成できます。データソースは DataSource プロパティに設定します。出力項目数はソースの項目数に依存するので、InstanceCount プロ パティは無視されます。

| Ξ | Data | | |
|---|---------------|-----------|---|
| | DataSource | Numbers 💌 |] |
| | InstanceCount | 0 | |
| | Tag | | |

(出力する) 現在のフィールドにアクセスするには、スクリプト: GetData("<Data source name>.<Field name>")を使用します。

1行の数値を出力する水平方向のリストの例:

crossBand1.DataSource = Numbers; textBox.Value = GetData("Numbers.Value")

| レポートテンプレート | レポート | | | |
|---|-----------------|--|--|--|
| d <mark>rCrossBanitt Setensistantister Setensist</mark> | 1 -34 13 12 -56 | | | |

表

DataBand に CrossBand を入れて使用することで、データを表として出力することができます。

カレンダーの出力例:

dataBand.InstanceCount = 5; crossBand. InstanceCount = 7; textBox.Value =
 (crossBand.LineNumber + ((dataBand.LineNumber - 1) * 7))>31?"":(crossBand.LineNumber +
 ((dataBand.LineNumber - 1) * 7)).ToString();

| レポートテンプレート | 1 | レポー | ・ト | | | | | |
|-----------------------------|---|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|
| dataBand:DataBand | | | | Ma | rch, 2(| 010 | | |
| header:Header | н | Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
| March, 2010 | Н | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat | Н | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| de <mark>Crose</mark> Bahd | Н | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| ରୁ <(cr | Н | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| end of dataBand | | 29 | 30 | 31 | | | | |
| | | | | | | | | |

SideBySide バンド

SideBySide はさまざまなバンドのオブジェクトを並列表示するために使用します。SideBySide 内のオブジェクトはすべてバンドの先頭から出力されます。BandContainer はその中に格納されている複数のセクションを(先頭からではなく)その隣りから並列表示するために使用します。

さまざまなバンドから並列表示する例:

dataBand1.InstanceCount = 5;

dataBand2.InstanceCount = 4;

dataBand3.InstanceCount = 2;



ピボットテーブル

ピボットテーブルは、データ出力を構築し、合計を計算するために使用されます。PivotTable はピボットテーブルの作成に使用します。DataSource プロパティは、ピボットテーブルのデータソースを設定します。

| Ξ | Data | |
|---|--------------|--------------|
| | DataSource | Sales 💌 |
| | Layout | |
| | NestedFields | (Collection) |
| | Tag | |

Layout プロパティは処理後のピボットテーブルの行や列の値を設定します。このプロパティは、<u>ソースフィ</u> <u>ールド</u>で変更できます。



データソースのフィールド一覧は、左側のソースフィールドに表示されます。データキューブ フィールドは、 ピボットテーブルのデータを割り当てます。ピボットテーブルの水平方向の見出しのフィールドは、X ディメ ンションフィールドに設定します。ピボットテーブルの垂直方向の見出しのフィールドは、Y ディメンション フィールドに設定します。ファクトフィールドには、データを持ったセルのフィールドが格納されます。プロ パティグリッドは右側に表示され、セルのプロパティを設定するために使用します。

| Ξ | Appearance | |
|---|-----------------|--------------------|
| | Caption | ProductName |
| | Format | |
| | ShowPercent | False |
| | SortOrder | Ascending |
| | TotalLabel | |
| | Width | 100 |
| Ξ | Data | |
| | Aggregate | Sum |
| | DisplayExpressi | |
| | Expression | GetData("Sales.Pro |

テーブルのタイトル

TableCaption プロパティはテーブルのタイトルを設定します。

| プ | ロパティ | | レポート | | | | |
|---|--------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-----------|---------|
| | StyleName | New Style | | | | | |
| ÷ | Styles | | | | Com | pany | |
| | TableCaption | | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total |
| | ToolTip | | | Chai | 452.63 | | 452.63 |
| | | | Bayaragas | lpoh Coffee | | 909.00 | 909.00 |
| | | | Develages | Stout | 420.00 | | 420.00 |
| | StyleName | New Style | | | | Sales | |
| Ŧ | Styles | | | | Compa | any | |
| | TableCaption | Sales | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total |
| | ToolTip | | | Chai | 452.625 | | 452.625 |
| | | | Beverages | lpoh Coffee | | 909 | 909 |
| | | | Develages | Stout | 420 | | 420 |

テーブルの行タイトルや列タイトルは、ピボットテーブルの Layout プロパティのエディタで設定できます。 Caption プロパティはそのために使用します。TotalLabel プロパティは合計値を持つ列や行のタイトルを設 定します。このプロパティが設定されていない場合、合計値は「合計」として識別されます。

| プ | ロパティ | | レポート | | | |
|---|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|---------|
| | Appearance | | | | | |
| | Caption | CompanyName | | Compan | yName | |
| | Format | | Product | Futterkiste | Karkki Ov | Total |
| | ShowPercent | False | 01 | 450.60 | | 450.60 |
| | SortOrder | Ascending | Chai | 452.63 | | 452.63 |
| | TotalLabel | | Ipoh Coffee | | 909.00 | 909.00 |
| | Width | 100 | Stout | 420.00 | | 420.00 |
| | | | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 |
| | Appearance | | | | | |
| | Caption | Company | | Comp | bany | |
| | Format | | Product | Futterkiste | Karkki Ov | Sum |
| | ShowPercent | False | Troduct | ratteriste | Karkki oʻy | Sam |
| | SortOrder | Ascending | Chai | 452.63 | | 452.63 |
| | TotalLabel | Sum | Ipoh Coffee | | 909.00 | 909.00 |
| | Width | 100 | Stout | 420.00 | | 420.00 |
| | | | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 |

ピボットテーブルの DimensionOnEveryPage プロパティは、ピボットテーブルのヘッダーを各ページに出 力するかを設定します。

| プロパティ | | レポート | | | | |
|----------------------|-------|----------------|-------------|-------------|-----------|---------|
| Appearance | | | | | Sales | |
| AutoColumnWidth | True | | | Comp | | |
| AutoRowHeight | None | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total |
| DimensionOnEveryPage | False | _ | Chai | 452.63 | | 452.63 |
| RowHeight | 70 | Beverages | Ipoh Coffee | | 909.00 | 909.00 |
| | | | 1 | | | |
| | | Reverages | Stout | 420.00 | | 420.00 |
| | | Develages | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 |
| | | Daine Braducto | Courdavault | 890.63 | | 890.63 |
| | | Daily Products | Total | 890.63 | | 890.63 |
| | | Tota | al | 1763.25 | 909.00 | 2672.25 |
| Appearance | | | | | Sales | |
| AutoColumnWidth | True | | | Comp | bany | |
| AutoRowHeight | None | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total |
| DimensionOnEveryPage | True | | Chai | 452.63 | | 452.63 |
| RowHeight | 70 | Beverages | Ipoh Coffee | | 909.00 | 909.00 |
| | | | 1 | I | | |
| | | | | | Sales | |
| | | | | Comp | bany | |
| | | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total |
| | | Powerages | Stout | 420.00 | | 420.00 |
| | | Deverages | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 |

ShowSingleFact プロパティを使用して、ファクト列のタイトルを表示するかを設定できます。

| プ | ロパティ | | | レポート | | | |
|---|------------------|---------|---|-----------|---------|-------------|--------|
| | Shift | 0 cm | | | | Sales | |
| | ShowRepeatText | True | | | | Company | |
| | ShowSingleFact | False 💌 | ~ | 0.0 | Dendand | Eutropic to | Tetel |
| | ShowTableCaption | True | | Category | Product | Futterkiste | lotal |
| | | | | | Chai | 452.63 | 452.63 |
| | | | | Beverages | Stout | 420.00 | 420.00 |
| | Shift | 0 cm | | | | Sales | |
| | ShowRepeatText | True | | | | Company | |
| | ShowSingleFact | True 💌 | | | | Euttorkisto | Total |
| | ShowTableCaption | True | | | | TULLETKISLE | Total |
| | | 1 | | Category | Product | Price | Price |
| | | | | | Chai | 452.63 | 452.63 |
| | | | | Beverages | Stout | 420.00 | 420.00 |

現在のページに文字列が収まり切らない場合は、次のページにテキストを反復させることができます。それには、ShowRepeatText プロパティを使用してください。

| フ | ゜ ロパティ | | \mathcal{V} | パート | | | |
|---|----------------|---------|----------------|----------------|-------------|---------|-----------|
| | RowHeight | 30 | | | Courdavault | 890.63 | |
| | Shift | 0 cm | Dairy Products | Flotemysost | 2256.00 | F | |
| | ShowRepeatText | True 💌 | L | | Geitost | 154.84 | + |
| | ShowSingleFact | False | L | | Gentost | 101.01 | L |
| | | | Þ | | | | |
| | | | | Dairy Products | Total | 3301.47 | Γ |
| | RowHeight | 30 | l | | Courdavault | 890.63 | \square |
| | Shift | 0 cm | L | Dairy Products | Flotemysost | 2256.00 | \vdash |
| | ShowRepeatText | False 💌 | L | - | Gaitost | 154 84 | \vdash |
| | ShowSingleFact | False | L | | Gentost | 157.07 | |
| | | | Þ | | | | _ |
| | | | | | Total | 3301.47 | |

データ形式

「ソースフィールド」エディタの Format プロパティを使用して、出力データの形式を定義できます。

| プロパティ | | レポート | | | |
|------------------------|--------------------|---------|--------|----------|---|
| ⊟ Appearance | | 452.625 | | 452.625 | 1 |
| Caption | Price | | 909 | 909 | 1 |
| Format | F alsa | 420 | | 420 | 1 |
| SortOrder | Faise Ascending | 872.625 | 909 | 1781.625 | |
| Solicidei | Asconding | 890.625 | | 890.625 | 1 |
| | | 890.625 | | 890.625 | 1 |
| | | 1763.25 | 909 | 2672.25 | |
| Appearance | | 452.63 | | 452.63 | |
| Caption | Price | | 909.00 | 909.00 | |
| Format Chan Descent | 0.00 | 420.00 | | 420.00 | |
| SortOrder | Faise Ascending | 872.63 | 909.00 | 1781.63 | |
| Solicidei | Asconding | 890.63 | | 890.63 | |
| | | 890.63 | | 890.63 | |
| | | 1763.25 | 909.00 | 2672.25 | |
| Appearance | | 16.94% | | 16.94% | 1 |
| Caption | Price | | 34.02% | 34.02% | 1 |
| Format | 0.00 | 15.72% | | 15.72% | 1 |
| SortOrder | Ascending | 32.66% | 34.02% | 66.67% | 1 |
| Jonordan | Asconding | 33.33% | | 33.33% | 1 |
| | | 33.33% | | 33.33% | 1 |
| | | 65.98% | 34.02% | 100.00% | |

ShowZeroValues プロパティはレポートに NULL 値を表示します。

| プロパティ | | | l | ノポート | | |
|------------------|----------|---|---|--------|--------|--------|
| ShowSingleFact | False | | | 452.63 | | 452.63 |
| ShowTableCaption | True | | | | 909.00 | 909.00 |
| ShowZeroValues | False | ~ | | 420.00 | | 420.00 |
| StyleName | Main | | L | 420.00 | | 420.00 |
| ShowSingleFact | False | | | 452.63 | 0 | 452.63 |
| ShowTableCaption | True | | | 0 | 909.00 | 909.00 |
| ShowZeroValues | True | × | | 420.00 | 0 | 420.00 |
| StyleName | ame Main | | | 420.00 | U | 420.00 |

合計の表示/非表示

フィールドの ShowTotal プロパティを使用して、ピボットテーブルの「合計」列または行を非表示にすることができます。「ソースフィールド」エディタでこのプロパティを設定できます。

| プロ | コパティ | | レポート | | |
|----|-------------|-----------|-------------|----------------|---------------------|
| 4 | Appearance | | Category | Product | Alfreds Futterkiste |
| | Caption | Category | | Chai | 505,88 |
| | Format | | D | Ipoh Coffee | |
| | ShowPercent | False | beverages | Steeleye Stout | 525,00 |
| | ShowTotal | True 💌 | | Total | 1030,88 |
| | SortOrder | Ascending | Confections | Maxilaku | 130,00 |
| | | | Confections | Total | 130,00 |
| | | | Total | | 4509,22 |
| 4 | Appearance | | Category | Product | Alfreds Futterkiste |
| | Caption | Category | | Chai | 505,88 |
| | Format | | Beverages | Ipoh Coffee | |
| | ShowPercent | False | | Steeleye Stout | 525,00 |
| | ShowTotal | False 💌 | Confections | Maxilaku | 130,00 |
| | SortOrder | Ascending | Total | | 4509,22 |

データの並べ替え

並べ替え順は SortOrder プロパティで設定します。このプロパティの値には Ascending (昇順) と Descending (降順) があります。

データのフィルタ処理

フィルタ処理は、ある特定条件を指定してデータを出力しなければならない場合に使用します。 FilterExpression プロパティは、その条件を設定するために使用します。式はスクリプトで設定します。この 式の計算結果がピボットテーブルのデータを決めます。

| プロパティ | レポート | | | | | |
|--|-----------------------|---|--|------------------------------|---|----------|
| 設定なし | | | Futterkiste | Karkki Oy | Shopy | Total |
| | Category | Product | Discount | Discount | Discount | Discount |
| | | Chai | 0.15 | 0.04 | | 0.19 |
| | Boyoragos | lpoh Coffee | | 0.1 | | 0.1 |
| | beverages Stout | | 0.2 | | | 0.2 |
| | | Total | 0.35 | 0.14 | | 0.49 |
| | | | | | | |
| FilterExpression="(double)G | | | Futterkiste | Karkki Oy | 7 Total | I |
| FilterExpression="(double)G etData("Sales.Discount") >= | Category | Product | Futterkiste Discount | Karkki Oy Discount | Total Discou | nt |
| FilterExpression="(double)G etData("Sales.Discount") >= 0.1" | Category | Product Chai | Futterkiste Discount 0.15 | Karkki Oy Discount | Total Discou | nt |
| FilterExpression="(double)G etData("Sales.Discount") >= 0.1" | Category | Product Chai Ipoh Coffee | Futterkiste Discount 0.15 | Karkki Oy Discount 0.1 | Total Discou 0.15 0.1 | nt |
| FilterExpression="(double)G etData("Sales.Discount") >= 0.1" | Category Beverages | Product Chai Ipoh Coffee Stout | Futterkiste Discount 0.15 0.2 | Karkki Oy Discoum 0.1 | Total Discou 0.15 0.1 0.2 | nt |

テーブルのサイズ

ピボットテーブルのセルサイズは、規定ではピボットテーブルのデータの大きさに応じて自動的に決まります。 このために、AutoColumnWidth (列の幅を設定します)と AutoRowHeight (行の高さを設定します)プ ロパティを使用します。行の高さを任意に設定するには、AutoRowHeight プロパティの値を「None」 に選 択し、RowHeight プロパティにピクセル単位で行の高さを設定してください。

| Ξ | Appearance | |
|---|----------------------|-------|
| | AutoColumnWidth | True |
| | AutoRowHeight | None |
| | DimensionOnEveryPage | False |
| | RowHeight | 100 |

左側の余白は Shift プロパティで設定します。

テーブルのスタイル

StyleName プロパティは、テーブルのスタイルを設定します。スタイルを作成するには、<u>スタイルシートエ</u> <u>ディタ</u>を使用します。

Styles のプロパティ群を使用して、各セル型に個別のスタイルを設定できます。

| プ | ロパティ | レポート | レポート | | | | | | |
|---|------------------------------------|--------------|------|-----------------------------|---------------------|-------------|-----------|------------------|--|
| | StyleName | | ~ | | | | Sales | | |
| Ξ | Styles | | | | | Company | | | |
| | EvenRowFactStyle | | | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total | |
| | FieldCaptionStyle | | | | Unai Ipob Coffoo | 452.63 | 000.00 | 452.63 | |
| | GroupTotalStyle | | | Beverages | Stout | 420.00 | 909.00 | 209.00 220.00 | |
| | MainTotalStyle | | | | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 | |
| | OddBowFactStyle | | | Deire Draduate | Courdavault | 890.63 | | 890.63 | |
| | TableCantionStyle | | | Dairy Products | Total | 890.63 | | 890.63 | |
| | TotalStyle | | | Total | | 1763.25 | 909.00 | 2672.25 | |
| | XDimensionStyle | | | | | | | | |
| | YDimensionStyle | | | | | | | | |
| | StuleName | Main | ~ | | | | Sales | | |
| E | Stules | | | | | Company | | | |
| | EvenBowEactStule | | | Category | Product | Futterkiste | Karkki Oy | Total | |
| | FieldCaptionStyle | | | Beverages Dairy Products | Chai | 452.63 | | 452.63 | |
| | GroupTotalStule | | | | Ipoh Coffee | 100.00 | 909.00 | 909.00 | |
| | MainTotalStule | | | | Stout | 420.00 | 000.00 | 420.00 | |
| | 0ddBowEactStule | | | | Courdavault | 872.05 | 909.00 | 890.63 | |
| | TableCaptionStyle | | | | Total | 890.63 | | 890.63 | |
| | TotalStule | | | Total | | 1763.25 | 909.00 | 2672.25 | |
| | Y DimensionStyle | | | | | | | | |
| | ADimensionStyle MDimensionStyle | | | | | | | | |
| | T Dimensions tyle | | | | | | 6-l | | |
| | StyleName Main | | | Company | | | | | |
| | Styles | D | | Category | Product | Futterkiste | Karkki Ov | Total | |
| | EvenHowFactStyle | DataStyle | × | | Chai | 452.63 | | 452.63 | |
| | FieldCaptionStyle | CaptionStyle | | Beverages | Ipoh Coffee | | 909.00 | 909.00 | |
| | GroupTotalStyle | | | | Stout | 420.00 | | 420.00 | |
| | MainTotalStyle | Total Style | | | Total | 872.63 | 909.00 | 1781.63 | |
| | OddRowFactStyle | DataStyle | | | Courdavault | 890.63 | | 890.63 | |
| | TableCaptionStyle | CaptionStyle | | | Total | 890.63 | | 890.63 | |
| | TotalStyle | Total Style | | Total | | 1763.25 | 909.00 | 2672.25 | |
| | XDimensionStyle | | | | | | | | |
| | YDimensionStyle | | | | | | | | |

ピボットテーブルの保存

Layout プロパティはピボットテーブルのフィールドの式や位置を設定します。後で使用するためにレイアウトをファイルに保存して、最初のピボットテーブルのフォームに瞬時に戻ることができます。Layout プロパティのエディタの[保存]/[開く]ボタンを使用して、ピボットテーブルのパラメータの保存/読込ができます。ファイルは XML 形式で、拡張子は.dcl です。

イメージ

Picture オブジェクトは、イメージを表示するために使用します。

Image プロパティはイメージを設定します。ファイルを選択するには、**Image** プロパティのボタンを押すか、 **Picture** オブジェクトを左マウスボタンでダブルクリックしてください。

アップロード可能なイメージ形式:*.bmp、*.gif、*.jpg、*.jpeg、*.png、*.ico、*.emf、*.wmf

イメージのサイズとスケーリング

Size プロパティは Picture オブジェクトのサイズを設定します。出力時にイメージのサイズが Picture オブ ジェクトのサイズに収まりきらない場合、SizeMode プロパティを使用してサイズを変更できます。

イメージの引き伸ばし-オブジェクトのサイズに応じてイメージの比率を変更します。

| プロパティ | | レポート | | | | |
|---|---------------------------|----------|--|--|--|--|
| | 0; 0; 0; 0 cm Stretch | REPORT A | | | | |
| イメージの切り取り - イメージは実サイズのままで、オブジェクトのサイズに応じて切り取ら れます。 | | | | | | |
| | 0; 0; 0; 0 cm Normal | REPORT | | | | |
| 自動サイズ - オブジェクトのサイズはイメージサイズに応じて変更され、編集はされません。 | | | | | | |
| Margins SizeMode StyleName ToolTip | 0; 0; 0; 0 cm AutoSize | REPORT | | | | |
| 均一 - イメージはオブジェクトの領域内の最大サイズにリサイズされ、イメージのアスペクト 比は維持されます。 | | | | | | |
| | 0; 0; 0; 0 cm Uniform | REPORT | | | | |

イメージの位置合わせ

SizeMode プロパティを Normal か Uniform に設定した場合、ImageAlign プロパティは Picture オブジェ クトの領域内のイメージの位置を定義します。

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|------------|-------------------------|------|
| | Fill | [None] | |
| Ŧ | Image | 🗺 System.Drawing.Bitmap | |
| | ImageAlign | TopLeft 💌 | |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | SizeMode | Normal | |
| Ŧ | Image | 🐼 System.Drawing.Bitmap | |
| | ImageAlign | MiddleCenter 🛛 💌 | |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | SizeMode | Normal | |
| | StyleName | | |
| Ŧ | Image | ன System.Drawing.Bitmap | |
| | ImageAlign | BottomRight 🛛 💌 | |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | SizeMode | Normal | |
| | StyleName | | |

イメージの動的な読込

レポートの生成中にイメージを読み込まなければならない場合、バインドのプロパティを開いて Image プロ パティを使用できます。ファイルからイメージを読み込む場合、次のスクリプトを使用します。

System.Drawing.Image.FromFile("<path to the file>")



データソースのイメージ

データソースからイメージを出力するには、データソースが設定されている DataBand 内の Detail に Picture オブジェクトを配置し、「バインド」タブで Image プロパティを設定します。この場合、イメージ はデータソースにバイト型で格納されます。


シェープの使用

Shape コンポーネントを使用して、様々なグラフィカルな図形を出力できます。

シェープの種類

ShapeStyle プロパティは図形の種類を定義します。次の種類を使用できます。

| シェープのスタイル | | レポート |
|---------------------|---|----------------|
| RectangleShape – 四 | 角形を描画します | |
| | | 77777777 |
| ⊞ Fill | HatchFill | |
| ⊞ Line | 2 Solid DodgerBlue | |
| E Shadow | Shadow | |
| ShapeStyle | RectangleShape 🗸 | |
| TriangleShape - 二等 | 辺三角形を描画します。Direction プロパティが | 三角形の向きを設定し |
| ます。 | | |
| | | Down |
| | HatebFill | |
| E Line | 2 Solid DeepPink | |
| E Shadow | Shadow | |
| | TriangleShape | |
| Direction | Bight V | |
| StuleName | - ingit | |
| CrossShane – 十字を打 | 山田山 (本) (19977) (19977) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997 | |
| | | 00000000 |
| | H stab Fill | |
| | 2 Solid Dark Turquoise | |
| | | |
| ShapoStula | | |
| | | |
| | ルアを抽画します | - |
| Appearance | | |
| | | |
| | 2 Solid DarkViolet | Ť |
| E Shadow | Shadow | |
| | | |
| StarSnape – 星型を描 | 画します。InternalRadius フロハテイは内接円(| の半径を設定します。 |
| KeepRoundForm 7 P | バアイは星の形(楕円または円)を定義します。 | Points フロバテイは放 |
| 射線の数を定義します。 | StartAngle プロパティは星の回転角度を設定し | ます。 |
| Appearance | | A |
| Fill | HatchFill | |
| ⊡ Line | 2 Solid Salmon | |
| Shadow | Shadow | |
| □ ShapeStyle | StarShape 💌 | |
| InternalRadius | 0,37999999523162842 | |
| KeepRoundForm | False | |
| Points | 5 | |
| | | |
| ArrowSnape - 矢印を | 曲画しよす。DIFECTION フロハアイが矢印の同き | と設正します。 |
| Appearance | | |
| | HatchFill | |
| ⊞ Line | 2 Solid SpringGreen | N |
| | Shadow | |
| ⊟ ShapeStyle | ArrowShape | |
| Direction | Left V | |
| RectTriangleShape – | 5角形を描画します。Direction プロパティが図 | 形の向きを設定しま |
| す。 | | |

| Appearance | | | ¢ |
|--------------------|------------------------|----------------|-----------|
| ⊡ Fill | HatchFill | | |
| ⊞ Line | 😑 2 Solid DarkOrange | | |
| | Shadow | | |
| ShapeStyle | RectTriangleShape 🛛 💌 | | |
| Direction | Up | | |
| EllipseShape - 楕円を | 描画します。 | | |
| Appearance | | | |
| | HatchFill | | |
| ⊞ Line | 🚍 2 Solid DarkCyan | | |
| | Shadow | | |
| ShapeStyle | EllipseShape 💌 | | |
| RoundRectangleShap | e – 角丸四角形を描画します | -。Round プロパティは | 角丸の半径を設定し |
| ます。 | | | |
| Appearance | | | |
| ⊞ Fill | HatchFill | | |
| 🕀 Line | 2 Solid DarkSlateBlue | | |
| | Shadow | | |
| ShapeStyle | RoundRectangleShape 💌 | | |
| Round | 0,4 | | |
| ParallelogramShape | - 平行四辺形を描画します。 | Angle プロパティは平行 | 辺形の回転角度 |
| を設定します。 | | 5 | |
| Appearance | | | |
| ⊞ Fill | HatchFill | | |
| 🕀 Line | 2 Solid DarkMagenta | | |
| E Shadow | Shadow | | |
| ShapeStyle | ParallelogramShape 🛛 🔽 | | |
| Angle | 45 | | |
| LineShape – 線を描画 | します。LineKind プロパテ | ィは線の回転角度を設定 | します。 |
| Appearance | | | < |
| Fill | [None] | | |
| 🗄 Line | 📃 2 Solid Red | | |
| | Shadow | | |
| ShapeStyle | LineShape 🛛 🗸 | | |
| LineKind | BackSlash | | |

シェープの影

シェープの影は Shadow プロパティで設定します。DX 値と DY 値は影のオフセットを設定します。Fill プロ パティは塗りつぶしを設定します。影を追加するとオブジェクトの大きさは同じですが、シェープの大きさは 小さくなります。

シェープの影の使用例:



シェープの枠

シェープの枠は、Line プロパティで定義します。Color プロパティは線の色を設定します。Style プロパティ は線のスタイルを設定します。Width プロパティは線の幅を設定します。



枠線の例:



バーコード

BarCode コンポーネントはバーコードを作成するために使用します。バーコードのコードは Code プロパティに設定します。大半のバーコードに数字を使用できます。一部の高度なバーコードにラテン記号を使用できます。

| プ | ゚ロパティ | | | レポート |
|---|---------------------|----------------|--|-------------|
| | CalcCheckSumm False | | | |
| | Code | 123456 | | 123456 |
| | CodeType | Code39 | | 120400 |
| | CalcCheckSumm | False | | |
| | Code | Code 123456 | | Code 123456 |
| | CodeType | Code39Extended | | 0000120400 |

バーコードの比率は BarRatio プロパティに設定します。

バーコードの種類

バーコードの種類は CodeType プロパティに設定します。利用可能なバーコード型は次の通りです。

Code_2_5_interleaved、Code_2_5_industrial、Code_2_5_matrix、Code39 (default value)、 Code39Extended、Code128A、Code128B、Code128C、Code93、Code93Extended、CodeMSI、 CodePostNet、CodeCodabar、CodeEAN8、CodeJAN8、CodeEAN13、CodeJAN13、CodeUPC_A、 CodeUPC_E0、CodeUPC_E1、CodeUPC_Supp2、CodeUPC_Supp5、CodeEAN128A、CodeEAN128B、 CodeEAN128C

2次元バーコードを使用するには次のような付加的な設定が必要です。

PDF417、PDF417Compact の場合: Pdf417Settings のプロパティ群の設定

| | CodeType | PDF417 |
|---|---------------------|--------------------------------|
| | Fill | [None] |
| Ð | Font | Arial; 12pt |
| | LabelPosition | BottomCenter |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm |
| ŧ | MicroQRCodeSettings | PerpetuumSoft.Framework.Drawir |
| ⊡ | Pdf417Settings | 3; 0; 5; TextMode |
| | ColumnsCount | 3 |
| | ErrorLevel | 0 |
| | RowsCount | 5 |
| | Туре | TextMode |

QRCodeの場合:**QRCodeSettings**のプロパティ群の設定

| | CodeType | QRCode |
|---|----------------------|--------------------------------|
| | Fill | [None] |
| ŧ | Font | Arial; 12pt |
| | LabelPosition | BottomCenter |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm |
| Ŧ | MicroQRCodeSettings | PerpetuumSoft.Framework.Drawir |
| Ŧ | Pdf417Settings | 3; 0; 5; TextMode |
| | QRCodeSettings | PerpetuumSoft.Framework.Drawi |
| | ErrorCorrectionLevel | L |
| | Mask | Mask000 |
| | MirrorImaging | False |
| | ReflectanceReversal | False |
| | Version | 4 |

MicroQRCode の場合: MicroQRCodeSettings のプロパティ群の設定

| | CodeType | MicroQRCode |
|---|----------------------|-------------------------------|
| | Fill | [None] |
| Ŧ | Font | Arial; 12pt |
| | LabelPosition | BottomCenter |
| Ŧ | Margins | 0; 0; 0; 0 cm |
| | MicroQRCodeSettings | PerpetuumSoft.Framework.Drawi |
| | ErrorCorrectionLevel | L |
| | Mask | Mask00 |
| | MirrorImaging | False |
| | ReflectanceReversal | False |
| | Version | 4 |

郵便カスタマー バーコードを利用するには、BarCode オブジェクトの CodeType プロパティを

「Japan_Postal」に設定します。このバーコードでは、BarPoint プロパティにバーコードのポイント数(日本郵便では8ポイントから11.5ポイントを推奨、デフォルト10ポイント)を指定することでデザイン時および実行時に自動的に BarCode オブジェクトの大きさが決まるようになっています。なお、BarPoint プロパティは CodeType プロパティが Japan_Postal の場合のみ有効なプロパティです。

| フ | ゜ロパティ | | レポート |
|---|---------------|--------------|---|
| | BarPoint | 10 | ի իների անդերին ներեր հեղեն երերինին իներին է հեղեն է |
| | BarRatio | 2 | |
| | Border | | |
| | CalcCheckSumm | False | |
| | Code | 123456 | |
| | CodeType | Japan_Postal | |

バーコードのスタイル

バーコードの背景色を作成するには、BackColor プロパティを使用します。バーコード自体の色は BarColor プロパティで設定できます。

| プロパティ | | | レポート |
|-----------|-------------|---|---------|
| BackColor | Transparent | ~ | |
| BarColor | Black | | 123456 |
| | | | 120400 |
| BackColor | DodgerBlue | ~ | |
| BarColor | DeepPink | | 123/156 |
| | | | 120400 |

ShowLabel プロパティはバーコードのラベル表示を定義します。ラベルのフォント(Font プロパティ)、色 (TextColor プロパティ)、位置(LabelPosition プロパティ)を設定できます。

| プ | ロパティ | | レポート |
|---|----------------|---------------------------------------|--------|
| + | Font | Calibri; 9pt; Bold=Off; Italic=Off; U | 123456 |
| | LabelPosition | TopLeft 💌 | |
| + | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | ShowCheckDigit | False | |
| | ShowLabel | False 💌 | |
| | StyleName | | |

CalcCheckSumm と **ShowCheckDigit** プロパティ 未定

Parameters

Parameters プロパティは、レポートパラメータの設定に使用します。<u>コレクションエディタ</u>は、このプロパ ティのエディタです。

| 🧀 Collection Editor | | |
|---------------------|-------------|--|
| Members | | Properties |
| Parameter | + × 1 | Alisc DefaultValu Name Parameter ParameterT: System.String |
| | | Default Value Determines the parameter default value. Used when parameter val OK Cancel |

DefaultValue プロパティはパラメータ値を設定します。Name プロパティはサブレポートのパラメータ値を 表す名前を設定します。ParameterType プロパティはパラメータ型を設定します(規定ではすべてのパラメ ータに string 型が使用されます)。

サブレポートのパラメータ値を取得する式:

GetParameter("<ParameterName>")

未使用

ハイパーリンクとレポートのナビゲーション

ハイパーリンクを設定するには、オブジェクトの Hyperlink プロパティを使用します。

外部アプリケーションの呼び出し

Hyperlink プロパティを使用して、外部のアプリケーションを呼び出すことができます。

TextBox オブジェクトの Hyperlink プロパティを使用してアプリケーションを呼び出す例:

textBox.Hyperlink プロパティ: C:\Program Files\Perpetuum Software\SharpShooter Reports\Bin\SharpShooterReportsSamplesCenter.exe

| Ξ | Navigation | |
|---|------------|---------------------------|
| | Bookmark | |
| | Hyperlink | C:\Program Files\Perpetuu |

レポート:

| Report Sharp-Shooter Samples Center | |
|-------------------------------------|--|
| | |
| | |

TextBox をクリックすると SharpShooter Reports Samples Center が起動します。

ファイルを開く

Hyperlink プロパティに設定されたファイルパスは、ファイルの種類に合ったプログラムを使用して開かれます。

ファイルパスの設定例:

Hyperlink プロパティはスクリプトで設定され、レポートの生成中にファイルアドレスに関連付けられます。

レポートテンプレート:

| dataBand:DataBand_DataSource = En | ployees | | | |
|--|---------|--|--|--|
| detail:Detail | | | | |
| <pre><databand["employeename"]></databand["employeename"]></pre> | | | | |
| end of dataBand | | | | |
| | | | | |

dataBand.DataSource = Employees;

textBox.Value = dataBand["EmployeeName"]; textBox.Hyperlink =
"C:\\Data\\Pictures\\"+dataBand["EmployeeName"].ToString()+".png"

レポート:

<u>Nancy Davolio</u> <u>Andrew Fuller</u> Steven Buchana

TextBox オブジェクトの領域をクリックすると、イメージのビューアを使って対象のイメージが表示されます。



インターネットリソースや Email のハイパーリンク

Hyperlink プロパティにインターネットリソースのハイパーリンクを取得するには、URL を設定する必要があります。

例:textBox.Hyperlink = "http://www.perpetuumsoft.com/"

| Ξ | Navigation | |
|---|------------|-------------------------------|
| | Bookmark | |
| | Hyperlink | http://www.perpetuumsoft.com/ |

最終ドキュメントの TextBox オブジェクトをクリックすると、ブラウザにハイパーリンクが表示されます。

リンクをクリックすると電子メールクライアントが開くようにするには、Hyperlink プロパティに mailto ハ イパーリンク(例:textBox.Hyperlink = "mailto:sales@perpetuumsoft.com")を設定します。そして そのハイパーリンクをクリックすると、電子メールクライアントが開いて、設定されたアドレスにメッセージ を送ることができます。件名、本文、Cc、Bcc などのパラメータも同じです。件名、本文、Cc/Bcc を送信す るための Email の設定が可能です。例えば、ハイパーリンク:

<u>mailto:sales@perpetuumsoft.com?subject=Suggestion&Body=Hello!%0DI%20have%20some%20</u> <u>ideas%20for%20you.&bcc=support@perpetuumsoft.com</u> トを開きます。

| 🛄 То | sales@perpetuumsoft.com | |
|-----------|---------------------------|--|
| 🛄 Cc | | |
| 🛄 Bcc | support@perpetuumsoft.com | |
| Subject: | Suggestion | |
| i 🛃 🎒 i 🐰 | 🐚 👔 🛛 Times New Roman | |

Hello!

I have some ideas for you.

ブックマーク

レポートを簡単に移動するには、Bookmark プロパティを使用できます。このプロパティは、レポートビュー アのコンテンツツリーを使ってレポートの別の場所から対象のオブジェクトに移動できるブックマークを作成 します。ブックマーク名は、# 記号で始めなければなりません。そうしないと Bookmark プロパティの値は 無視されます。

レポートテンプレート:

| dataBand1:DataBand_DataSource = En |
|------------------------------------|
| header1:Header |
| Employee Name |
| detail1:Detail |
| -uatabanut |
| ["EmployeeName"]> |
| end of dataBand1 |
| |
| detail4:Detail |
| |
| |

textBoxHeader.Bookmark = #Begin;

picture.Bookmark = #logo;

| Ξ | Navigation | |
|---|------------|-------|
| | Bookmark | #logo |
| | Hyperlink | |

レポートビューアのレポート:



ブックマークは左側にツリー表示されます。「コンテンツ表示」ボタンはこのツリーを表示/非表示にするため に使用します。コンテンツからブックマークが設定されている項目を選択すると、ブックマークの設定先のレ ポート領域が表示されます。

ハイパーリンクとブックマークを使ったレポートの移動

ハイパーリンクを使ってブックマークに移動するには、Bookmark プロパティを使用できます。それには、 Hyperlink プロパティにブックマークの名前を設定する必要があります。

レポートテンプレート:

| detail5:Detail |
|------------------------------------|
| Tologo |
| dataBand1:DataBand_DataSource = En |
| header1:Header |
| Employee Name |
| detail1:Detail |
| f"EmployeeName"> |
| end of dataBand1 detail4:Detail |
| S |

picture.Bookmark = #logo;

textBoxToLogo.Hyperlink = #logo

| Ξ | Navigation | |
|---|------------|-------|
| | Bookmark | |
| | Hyperlink | #logo |

レポートビューアのレポート:



「To logo」というテキストが設定された TextBox をクリックすると、ロゴの入ったレポート部分が開きます。 前のレポート領域に戻るには、「Back」というハイパーリンクを設定して戻ることができます。

サブレポートの使用

複数のレポートをひとつにまとめなければならない場合にサブレポートの使用メカニズムが使われます。サブレポートはそのために使用され、テンプレートに入れるサブレポートとその位置を定義します。サブレポートのテンプレートは、現在のテンプレートが含まれている ReportManager に入れてください。

サブレポートのテンプレートを設定するには、サブレポートの TemplateName プロパティを使用します。こ のプロパティのコンボボックスには、現在の ReportManager に含まれているレポート名が表示されます

(ReportManager に ReportSlot の ReportName プロパティが 設定されていない場合、テンプレート名は リストには表示されません)。

| Ξ | Misc | |
|---|----------------|--------------|
| | Parameters | (Collection) |
| | Shift | 0 cm |
| | TemplateName | × |
| Ξ | Navigation | List |
| | Bookmark | Properties |
| | Hyperlink | Report1 |
| Ξ | Render | heport2 |
| | CanGrow | |
| | CanShrink | |
| | NewColumnAfter | False |

| Template of master report | Subreport template | Report |
|-------------------------------------|---------------------------|-------------|
| detail:Detail Main Report | Report 1 | Main Report |
| subReport1:SubReport | | Report 1 |
| Report1 | detail:Detail Report 1 | |
| プロパティ: | | |
| subReport.TemplateName = Report1 | | |

(DataBand、Detail などの)バンドに格納されたオブジェクトだけが最終レポートに含まれます。サブレポ ートのオブジェクトにスタイルが設定されていない場合、マスターテンプレートまたはサブレポートコントロ ールのスタイルが適用されます。

Report1 の左側の余白を移動させるには、サブレポートの Shift プロパティを使用します。

レポートテンプレート:

| detail:Detail | - |
|----------------------|----------|
| Main Report | |
| | |
| subReport1:SubReport | |
| | Π |
| Report | - |
| | |
| subReport2:SubReport | |
| Doporto | |
| Reportz | |
| | \vdash |
| | |
| | |

| プロパティ | | レポート | |
|--|---------------------------------|-------------|----------|
| 🗆 Misc | | Maia | |
| Parameters | (Collection) | Main Report | |
| Shift | 0 cm | Report 1 | |
| TemplateName | Report1 | Report | |
| | | | |
| | | | |
| 🗆 Misc | | | |
| Misc Parameters | (Collection) | Main Report | |
| Misc Parameters Shift | (Collection) 2 cm | Main Report | |
| Misc Parameters Shift TemplateName | (Collection) 2 cm Report1 | Main Report | Report 1 |

複雑なレポート

1つのレポートにサブレポートを好きなだけ追加できます。



入れ子のレポートを使用できます。



サブレポートにパラメータを渡す

サブレポートの Parameters プロパティを使用してマスターレポートからサブレポートにパラメータを渡すこ とができます。<u>コレクションエディタ</u>はこのプロパティのエディタです。

| 🔡 Collection editor | | _ 🗆 🔀 |
|------------------------|------------------|---------------------------------------|
| Members | Properties | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| Number EmployeeName | ₽ ₽ ₽ ₽ | |
| | 🗆 Misc | |
| | Expression | dataBand1.Li |
| 1 | Name | Number |
| | | |
| | ОК | Cancel |

Expression プロパティには、計算結果をパラメータとして渡す式を設定します。Name プロパティはサブレポートのパラメータ値を表す名前を設定します。

サブレポートのパラメータ値を取得するには、式: GetParameter("<ParameterName>")を使用します。

下図は社員一覧を表示するテンプレートの例です。名前と番号(連番)がサブレポートに表示されます。

マスターレポートテンプレート:

| detail:Detail - |
|------------------------------------|
| Employees list |
| |
| dataBand1:DataBand_DataSource = En |
| subReport1:SubReport |
| Depart1 |
| Report |
| |
| end of dataBand1 |
| |
| |
| |
| |

プロパティ: subReport1.TemplateName = Report1

subReport1.Parameters プロパティのコレクションにパラメータが2つ追加されています。

1 つ目のパラメータ: Expression = dataBand1.LineNumber, Name = Number

2 つ目のパラメータ : Expression = dataBand1["EmployeeName"], Name = Name



ΟK

Cancel

サブレポートテンプレート:

| detail:Detail |
|------------------------------------|
| <g <getparameter("n<="" th=""></g> |
| |

textBox1.Value = GetParameter("Number");

textBox2.Value = GetParameter("Name")

レポート:

| Emplo | oyees list |
|-------|----------------|
| 1 | Nancy Davolio |
| 2 | Andrew Fuller |
| 3 | Anne Dodsworth |
| 4 | Steven Buchana |
| 5 | Laura Callahan |
| 6 | Anne Yorke |
| | |
| | |
| | |

Zip コード

Zip コードを表示するには、ZipCode コンポーネントを使用します。コードは Code プロパティに設定します。

| Ξ | Appearance | |
|---|------------|-------|
| | Angle | 0 |
| | Border | |
| | Code | 22550 |
| | Color | Black |

コードの色は Color プロパティに設定します。

| Ξ | Appearance | |
|---|------------|------------------|
| | Angle | 0 |
| | Border | |
| | Code | 22550 |
| | Color | 📃 DodgerBlue 🛛 💌 |
| | Fill | [None] |

テンプレートの Zip コード:



ZipCode コンポーネントのサイズは Size プロパティで設定します。Zip コードの割合が一定であることを考慮する必要があります。Zip コードのラベルの高さは ZipCode コンポーネントの高さに依存します。ラベル が ZipCode コンポーネントの幅に収まらない場合、Zip コードは途中で切れてしまいます。



マスターレポート

マスターレポートを使用できます。マスターレポートを使用してドキュメントを生成する場合、最終 ドキュメントにはマスターテンプレートとドキュメントテンプレートの生成結果が含まれます。これ により、均一のレポートを作成できます。

マスターレポートを設定するには、Document.MasterReport プロパティにマスターレポート名を設定する必要があります。

| Ξ | Appearance | |
|---|------------------|----------------------------|
| Ŧ | GraphicsSettings | PerpetuumSoft.Reporting.D(|
| | MasterReport | Master 💌 |
| | ShowObjectBounds | True |

指名されたテンプレートは生成時に IResolveSubReport インターフェイスを介して取得されます。例えば、 指名されたマスターテンプレートを、最初のテンプレートが追加されているのと同じ ReportManager に追加 できます。

マスターとして使用するテンプレートを作成する場合、そのテンプレートに Content オブジェクトを追加す る必要があります。

マスターレポートテンプレート:

| deta | detail1:Detail | | | | | | | |
|------|----------------|------|-------|-----|----|----|----|--|
| | | М | as | ter | Re | рс | rt | |
| | | | | | | | | |
| con | tent | 1:Co | ontei | nt | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| L | | | | | | | | |

マスターテンプレートを使用したドキュメントの生成は次のように行われます。生成されたレポートにマスタ ーテンプレートの生成結果が入れられ、Content オブジェクトは最初のレポート結果に置き換えられます。



ウィザードを使ったレポートの作成

シンプルなレポートテンプレートを作成する簡単な方法は、「ウィザード」を使うことです。見た目やデータ ソースなどのレポートパラメータをウィザードで設定できます。そして、自動的にパラメータを設定してレポ ートテンプレートを作成できます。

ウィザードの設定はすべて xml 形式で.rsw ファイルに保存できます。

シンプルレポートの作成(スタンダードウィザード)

スタンダードウィザードを使用してレポートテンプレートを作成できます。スタンダードウィザードでデータ ソースのデータをリストまたはカードとして出力するかを定義します。

<u>ウィザードギャラリ</u>ダイアログから<u>スタンダードウィザード</u>を開くことができます。

| Wizards | gallery | | | | | × |
|---------|-------------|--|----------------|---|-------|--------|
| New | Saved | | | | | |
| Blank | Report | | | | | |
| Standa | ard Report | | | | | |
| Pivot t | able Report | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | Load from file |) | K 🗌 🗌 | Cancel |

| 🛷 Standard Wizard | | $\mathbf{\overline{\times}}$ |
|-------------------|--|------------------------------|
| | Common Report template properties | |
| Employees | Measure unit Centimeter Style sheet None | ~ |
| | Script language VisualBasicNET Page properties Orientation Page numbers Size Orientation Page numbers Paper kind Custom Orientation Page numbers Page size 7; 7 Orientation Page numbers Output Orientation Page numbers Position None Align Right Right Right Right | × × |
| | Columns layout Columns count 1 🐑 Columns gap 0,000 🐑 | |
| | Save Preview template Preview document OK | Cancel |

スタンダードウィザードのレポートのプロパティ

スタンダードウィザードの「共通」セクションを使って、レポートの見た目を定義するテンプレートに共通す るプロパティを設定できます。

(Document.Title プロパティを使用して「タイトル」フィールドに設定した) レポート名はレポートヘッダ ーに表示されます。

| タイトル | レポートテンプレート | レポート |
|----------------------------|---|------------------------------|
| Report template properties | reportTitle:Detail | |
| Show title Employees | o <document.title> o</document.title> | Employees |
| Measure unit Centimeter | dataBand1:DataBand DataSource = Employees | Name Phone Nancy (206)555 |

レポートの計測単位は、「計測単位」フィールド(Document.MetricUnit プロパティ)で設定します。

レポートのスタイルは、「スタイルシート」フィールド(Document.StyleSheet プロパティ)で設定できます。

| スタイルシート | プロパティ | レポート |
|--------------------------------|---|---|
| Style sheet Modern1 | ☐ Render StyleSheet Modern1 ☐ Script | Employees Name Phone Nancy Davolio (206)555-9857 Andrew Fuller (206) 555-9482 Anne Dodsworth (71) 555-4444 Steven Buchana (71) 555-4444 |
| Measure unit Lentimeter | Render | Anne Yorke (71) 555-4444 |
| Style sheet Modern | StyleSheet Modern | Employees |
| Scrint language VisualBasicNET | ⊡ Script | Name Phone Nancy Davolio (206)555-9857 Andrew Fuller (206) 555-9482 Anne Dodsworth (71) 555-4444 Steven Buchana (71) 555-4444 Laura Callahan (71) 555-4444 Anne Yorke (71) 555-4444 |

「スクリプト言語」フィールドでスクリプト言語を選択できます。スクリプト言語は Document.ScriptLanguage プロパティを使用して設定されます。

スタンダードウィザードのページのプロパティ

スタンダードウィザードのページのプロパティはページのプロパティを設定できます。「用紙サイズ」のリストから用紙サイズが選択され、Page.PaperKind プロパティで設定されます。カスタムな用紙サイズを設定するには、「用紙サイズ」コンボボックスから「ユーザー定義用紙」を選択し、「ページサイズ」フィールドに値を設定してください。

| Size | | |
|------------|----------|--|
| Paper kind | Custom 🗸 | |
| Page size | 7;7 | |

用紙の向き(縦または横)は「向き」のセクションで設定できます。





ページ番号を出力するには見出しを使用します。「ページ番号」セクションで見出しの表示モードやテキスト の位置合わせを設定できます。

| -Page num | nbers | |
|-----------|-------|---|
| Position | Both | ~ |
| Align | Right | ~ |

レポート:

| Empl | oyees |
|--|--|
| Name | Phone |
| Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth Steven Buchana Laura Callahan | (206)555-9857 (206) 555-9482 (71) 555-4444 (71) 555-4444 (71) 555-4444 |
| | 7 |

スタンダードウィザードを使用して段組レポートを作成できます。それには、「列のレイアウト」を設定しま す。「列数」は列の数(DataBand.ColumnsCount プロパティ)を定義し、「列の間隔」は列の間隔 (DataBand.ColumnsGap プロパティ)を定義します。

| - Columns layout | | |
|------------------|-----|---|
| Columns count | 2 | - |
| Columns gap | 0,5 | - |

レポート:

| Emplo | oyees |
|--|------------------------------|
| Nancy Davolio Andrew Fuller Anne Dodsworth Steven Buchana | Laura Callahan Anne Yorke |

シンプルリストのレポートデータ

レポートを作成するためのデータは、レポートデザイナを呼び出すアプリケーションで用意してください。デ ータを追加するには、「データの追加」ボタンを押してください。この後、テンプレートのツリー構造に新し いレコードが表示され、データソースを設定したりデータを表示するためのセクションが開きます。

| 🛷 Standard wizard | N 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
|-------------------|--|
| Pages | Customers Data source Customers Field layout List Visible fields Groups Field name Caption Width Aggregate Customers Customers CustomersCompanyName Customer |
| | Caption CompanyName Width 100 Aggregate None |
| [] | Save Preview template Preview document OK Cancel |

「データソース」フィールドでデータソースを設定します。

| (DataSection) | | | | | |
|---------------|-------------|---|----------------|--------|--|
| Data source | | | | | |
| Field layout | Card | | | | |
| All fields | | ⇒ | Visible fields | Groups | |
| | ···· (none) | | - | | |

「全フィールド」の一覧に、「データソース」フィールドで選択したデータソースフィールドが表示されます。 コントロールボタンを使用して「全フィールド」から「表示フィールド」にフィールドを追加できます。各フ ィールドにタイトルや幅の編集、集計関数の設定が行えます。

| Sales | | | | | | |
|---|--|---------------------------|-------------------|-----|------------|-------------|
| Data source Sales | | | | | | |
| Field layout List | | | | | | ~ |
| All fields | 🔒 🚺 Vis | sible fields Groups | | | | |
| Gales | (| Field name | Caption | | Width | Aggregate |
| CompanyName Discount ProductName Quantity UnitPrice | € 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | ProductName JnitPrice | Product Price | | 100 100 | None Sum |
| | C. | aption Price Width 100 | IIII Aggregate | Sum | | > |

| レポートテンプレー | · ト | レポー | - F | |
|---------------------------------|--|---------------------------------|--|--|
| dataBand1:DataBand D | ataSource = Sales | Produc | ict Price | |
| header1:Header | | Chai | 35,5 | |
| Product | Price | Stout Maxilak | ku 2,6 | |
| detail1:Detail | | Geitost | t 15,8 | |
| KGetData LE'Sales ProductNam | e'')>(£'Sales UnitPri | Flotemy Courda | ysost 240 avault 62,5 | |
| footer1:Footer | | Chai | 35,5 | |
| end of dataBand1 | <gret lotal<br="">("Sales UnitP</gret> | Ipoh Co Filo Mix Filo Mix | offee 50,5 x 14 x 14 575,4 | |

「フィールドのレイアウト」でレポートのデータ表示(リストまたはカード)を選択できます。

| フィールドのレイアウト | レポートテンプレート | レポート |
|-------------------|--|--|
| リスト: | dataBand1:DataBand_DataSource = Employees | Employee Phone |
| | header1:Header | Nancy Davolio (206)555-9857 Androw Euller (206) 555-9492 |
| Field layout List | Employee Phone | Anne Dodsworth (71) 555-4444 |
| | detail1:Detail KuetData ICFmolovees Employe ICFmolovees HomePh I end of dataBand1 | Steven Buchana (71) 555-4444 Laura Callahan (71) 555-4444 Anne Yorke (71) 555-4444 |
| カード: | dataBand1:DataBand_DataSource = Employees | Employee Nancy Davolio |
| Field layout Card | detail1_Employees_EmployeeName:Detail EmployeeCtretData LTFmployeeCFmployees_Employe | Phone (206)555-9857 Employee Andrew Fuller Phone (206) 555-9482 |
| | detail1_Employees_HomePhone:Detail | Employee Anne Dodsworth Phone (71) 555 4444 |
| | Phone Lift Fmployees HomePh_ end of dataBand1 | Employee Steven Buchana Phone (71) 555-4444 Employee Laura Callahan |

データのグループ化

レポートをグループ化して作成するには、グループ化するフィールドを「全フィールド」のツリーから「グル ープ」タブのテーブルに移動します。



| レポートテンプレート | レポート | |
|---|----------------|-------|
| dataBand1:DataBand DataSource = Sales | Product | Price |
| header1:Header | Beverages | |
| Product Price | Chai | 35,5 |
| | Stout | 105 |
| groupBand1:GroupBand_Group = GetData("Sales.CategoryName") | Chai | 35,5 |
| | Ipoh Coffee | 50,5 |
| neader11.meader | | 226,5 |
| <getdata("sales.categoryname")></getdata("sales.categoryname")> | Confections | |
| deteil1:Deteil | Maxilaku | 2,6 |
| | | 2,6 |
| ("Sales ProductName")> ("Sales UnitPri | Dairy Products | |
| footer1:Footer | Geitost | 15,8 |
| Kbet na | Flotemysost | 240 |
| (f"Sales UniP | Courdavault | 62,5 |
| end of groupBand1 | | 318,3 |
| footer11: Footer | Grains/Cereals | |
| | Filo Mix | 14 |
| ("Sales UnitP | Filo Mix | 14 |
| end of dataBand1 | | 28 |
| | | 575,4 |

複数のデータソース

複数のデータソースのデータをレポートに続けて出力できます。これを行うには、テンプレートのツリー構造 にデータソースを追加し、必要なフィールドを「表示フィールド」に移動してください。



| レポートテンプレート | レポート | |
|--|--|--|
| dataBand1:DataBand DataSource = Employees | Employee | Phone |
| header1:Header | Nancy Davolio | (206)555-9857 |
| Employee Phone | Anne Dodsworth | (206) 555-3462 (71) 555-4444 (21) 555-4444 |
| detail1:Detail KuetData L'Employees.Employe LL'Employees.HomePh_ | Steven Buchana Laura Callahan Anne Yorke | (71) 555-4444 (71) 555-4444 (71) 555-4444 |
| end of dataBand1 dataBand2:DataBand_DataSource = Sales | Futterkiste | Chai Stout |
| header2:Header | Futterkiste | Maxilaku Geiteet |
| Company Product | T UILETNISIE | Genosi |
| detail2:Detail | | |

マスター詳細レポート

マスター詳細レポートを作成するには、テンプレートのツリー構造にあるデータソースにもう1つデータソー スと詳細を追加します。

| Pages | | |
|-------|--------|------------------------------|
| ÷ | Н | <u>a</u> |
| с Соп | imon | |
| 🖃 Cus | tomer | s.Customers |
| (| Custor | ners.Customers.CustomersOrde |
| _ | | |

| レポートテンプレート | レポート | | |
|---|----------|-------------------|--|
| dataBand1:DataBand DataSource = Customers.Customers | Company | Bon App' | |
| detail1 Customers Customers CompanyName:Detail | Date | Sum | |
| KuetData | 21.03.10 | 50.00 | |
| Lompany _1("Customers.Custome _ | 15.02.10 | 14.50 | |
| dataBand1_1:DataBand_DataSource = Customers.Customers.Customer | | 64,5 | |
| | Company | Chop-suey Chinese | |
| header1_1:Header | Date | Sum | |
| Date Sum | 03.04.10 | 134.00 | |
| detail1 1:Detail | 15.01.10 | 45.45 | |
| KuetData KuetData | 01.02.10 | 500.00 | |
| E'Customers C_E'Customers Custome _ | 30.12.09 | 6.03 | |
| footer1 1:Footer | | 685,48 | |
| <get i="" otal<="" th=""><th>Company</th><th>Maison Dewey</th><th></th></get> | Company | Maison Dewey | |
| L'Custamers Custam _ | Date | Sum | |
| | 06.06.10 | 66.66 | |
| end of dataBand1_1 | | 66,66 | |
| end of dataBand1 | | | |

ピボットテーブル (ピボットテーブルウィザード)を使ったレポートの作成

ピボットテーブルウィザードは、データソースのデータをピボットテーブルに出力するレポートテンプレート を作成できます。

<u>ウィザードギャラリ</u>ダイアログから<u>ピボットテーブルウィザード</u>を開くことができます。

| Wizards | gallery | | |
|-----------------|----------------------|--------------|-----------|
| New | Saved | | |
| Blank Standa | Report ard Report | | |
| Pivot t | able Report | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | La | ad from file |)K Cancel |

| DEDDETUUM | | |
|-------------------|-----------------------|---|
| software | www.perpetuumsoft.com | |
| | | |
| 🛷 Pivot table wiz | zard | E |
| 💾 🗟 🕰 | | |
| Common settings | Pivot table settings | |
| Report template | properties | |
| Show title | Report title | |
| Measure unit | Centimeter | ~ |
| Style sheet | None | ~ |
| Script language | VisualBasicNET | ~ |
| Page properties | | |

~

ΟK Cancel Save Preview template Preview document

Orientation

Ortrait

Landscape

Page numbers-

Position Header

Align Right

ピボットテーブルウィザードのレポートのプロパティ

Size

Standard A4

Custom 0; 0

ピボットテーブルウィザードの「共通」タブで、レポートの見た目を定義するテンプレートに共通するプロパ ティを設定できます。

X

* ~

Document.Title プロパティを使って「タイトル」フィールドに設定したレポート名が、レポートヘッダーに 表示されます。

| タイトル | | レポートテンプレート | レポート |
|-----------------|--------------|-----------------------------------|-------|
| Report template | properties — | reportTitle:Detail | |
| 🗹 Show title | Sales | <document.title></document.title> | Sales |
| Measure unit | Centimeter | | |

レポートの計測単位は、「計測単位」フィールド(Document.MetricUnit プロパティ)で設定します。

レポートのスタイルは、「スタイル」フィールドで設定できます。

| スタイルシート | レポートテン | プレート | | | レポート | | | | |
|---------------------|------------------------|-------------------|------------|-------|----------------|-------------|-------------|----------|-------|
| | reportTitle:Detail | | | | | <u> </u> | Sales | | |
| Style sheet Modern1 | | - Degument Titles | | | | Com | pany | | |
| | | < Ducun | ient. miez | | | | Futterkiste | Karkki O | Shopy |
| | | | | | Category | Product | Unit | Unit | Unit |
| | | | | | | Chai | 35.5 | 35.5 | |
| | pivotTable1:PivotTable | e | | | Pararaga | lpoh Coffee | | 50.5 | |
| | | | Com | pany | Develages | Stout | 105 | | |
| | | | 11 | Trad | | Total | 140.5 | 86 | |
| | | | nem | 10181 | Contactione | Maxilaku | 2.6 | | |
| | Category | Product | Unit | Unit | Comecations | Total | 2.6 | | |
| | | 24 | | 0.0 | | Courdavault | 62.5 | | |
| | | Item I | 0.0 | 0.0 | aincProducts | Flotemysost | 240 | | |
| | Group | Item 2 | 0.0 | 0.0 | iony i rooodaa | Geitost | 15.8 | | |
| | | T | | | | Total | 318.3 | | |
| | | Total | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| | Toi | tal | 0.0 | 0.0 | | | | | |

「スクリプト言語」フィールドは、Document.ScriptLanguage プロパティを使用してスクリプト言語を選 択できます。

ピボットテーブルウィザードのページのプロパティ

ピボットテーブルウィザードのページのプロパティで、ページのプロパティを設定できます。「用紙サイズ」の一覧から用紙サイズが選択され、Page.PaperKind プロパティで設定されます。カスタムサイズを設定するには、「用紙サイズ」コンボボックスから「ユーザー定義用紙」を選択し、「ページサイズ」フィールドに値を設定してください。

| Size | | |
|------------|------|---|
| Paper kind | A4 | ¥ |
| Page size | 0; 0 | |

ページの向きは「向き」セクションで縦または横に設定できます。

| Orientation | | | | |
|-------------|-----------|--|--|--|
| ۲ | Portrait | | | |
| 0 | Landscape | | | |

ページ番号を出力するには見出しを使用します。「ページ番号」セクションで見出しの表示モードやテキストの位置合わせを設定できます。

| Page num | ibers | |
|----------|--------|----------|
| Position | Header | v |
| Align | Right | ~ |

ピボットテーブルのデータ

ピボットテーブルのデータや表の見た目は、「ピボットテーブル設定」タブの設定で定義されます。

| 🛷 Pivot table wizard 🔀 |
|--|
| |
| Common settings Pivot table settings |
| Layout |
| Data source Sales |
| Nested fields |
| Add |
| Bemoye |
| |
| Configure layout |
| Display |
| Table caption Pivot table |
| |
| Save table wizard 🕑 Show repeat text |
| Show single fact Dimension on every page |
| Formatting |
| 🗹 Auto column width 🛛 Row height 🔞 🚔 |
| Auto row height mode Dissimilar |
| |
| OK Cancel Save Preview template Preview document |

「データソース」フィールドでデータソースを設定します。ピボットテーブルのセルを調節するには、「レイ アウトの構成」ボタンで<u>ソースフィールド</u>エディタを開いてください(参照:<u>ピボットテーブルのデータ</u>)。

「テーブルのタイトル」フィールドでピボットテーブルのタイトルを設定できます。

Display Table caption Company Sales

| | | Company Sales | | | | |
|----------------|-------------|---------------|-----------|-------|-------|--|
| | | Com | pany | | | |
| | | Futterkiste | Karkki Oy | Shopy | Total | |
| Category | Product | Price | Price | Price | Price | |
| | Chai | 35.5 | 35.5 | | 71 | |
| 0 | lpoh Coffee | | 50.5 | | 50.5 | |
| Beverages | Stout | 105 | | | 105 | |
| | Total | 140.5 | 86 | | 226.5 | |
| Cantadiana | Maxilaku | 2.6 | | | 2.6 | |
| Comecuons | Total | 2.6 | | | 2.6 | |
| Dairy Products | Courdavault | 62.5 | | | 62.5 | |
| | Flotemysost | 240 | | | 240 | |
| | Geitost | 15.8 | | | 15.8 | |
| | Total | 318.3 | | | 318.3 | |

「生成」のプロパティ群で、ピボットテーブルのプロパティ(ShowRepeatText、ShowSingleFact、 DementionOnEveryPage プロパティ)を設定できます。

| Rendering | |
|---------------------|-------------------------|
| 🔽 Save table wizard | Show repeat text |
| 🗹 Show single fact | Dimension on every page |

ピボットテーブルのセルサイズは、「形式」セクションで PivotTable.AutoColumnWidth、 PivotTable.RowHeight、PivotTable.AutoRowHeight プロパティを設定できます。

| Formatting | | | |
|----------------------|------------|----|---|
| Auto column width | Row height | 60 | × |
| Auto row height mode | Dissimilar | | • |

(参照:<u>ピボットテーブル</u>)

テーブルウィザードを使ったレポートの作成

テーブルウィザードで何度かクリックするだけで色々な表を作成できます。

レポートテンプレートを開いて、[挿入]タブの [Tables Container] にある「Table」ボタンを押します。

| File Hon | ne Insert | Layout View | | | | | | |
|-------------|-----------|--------------|--------------------|-----------------|---------------------------|-------------|----------|-------------|
| Page | Header | T TextBox | 📷 🔽 Shape | ChartControl | { <mark>≡</mark> DataBand | SideBySide | Header | E SubReport |
| New Page | Overlay | AdvancedText | Picture 12 ZipCode | 🐼 Widget | E GroupBand | 🖶 CrossBand | 💳 Detail | 🗲 Content |
| Page 📄 Page | Footer | RTF RichText | BarCode | WinFormsControl | { BandContainer | | Footer | PivotTable |
| Page | Table | s Text | Illus | tration | | Containe | er | |

テーブルウィザードでフィールドを選択

| Table Wizard | 23 |
|--------------------|--|
| Data source 🚺 | |
| Employee 👻 | |
| Available fields 2 | Selected fields 3 |
| Title | FirstName |
| BirthDate | LastName |
| Address | >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> |
| | 8 Next > 9 Cancel |

- **1 Data source**:ドキュメントで利用可能なデータソース一覧を含んでいます。
- 2 Available fields: 選択したデータソースのフィールド一覧を含んでいます。
- 3 Selected fields: 選択したデータソースから選択したデータソースの一覧を含んでいます。
- 4 ">": 選択したフィールドを「Selected fields」一覧に追加します。
- **5 ">>"**: すべての「Available fields」を「Selected fields」一覧に追加します。
- 6 "<": 選択したフィールドを「Selected fields」から削除します。
- 7- "<<":「Selected fields」から利用可能なすべてのフィールドを削除します。
- 8 "Next >": テーブルウィザードの次のウィンドウを開きます。
- 9 "Cancel": テーブルウィザードを閉じて、新しい表の追加をキャンセルします。

| テーブルウィザー | ドで選択したフィー | ールドのプロパティ |
|----------|-----------|-----------|
|----------|-----------|-----------|

| 📴 Table Wizard | | | | 23 |
|-----------------------|--------------------|----------------|----------------------|-------|
| Data source: Employee | 1 | | | |
| Field name | Field title 3 | Width (cm) 🛛 🧧 | Aggregate function 5 | |
| FirstName | First Name | 4.00 | | |
| LastName | Last Name | 4.00 | | |
| Phone | Phone | 6.17 | | 6 |
| | | 13 | | ₽ |
| Column count 1 | 8 Layout type List | • 9 | | |
| | | < Back 10 | Next > Canc | el 12 |

- **1 Data Source**:前のテーブルウィザードで選択したすべてのフィールドを表示するグリッド。
- 2 Field name データソースのフィールド名
- 3 Field title レポートに表示されるフィールドのタイトル
- **4 Width -** ドキュメントで使われている計測単位でのフィールドの幅
- 5 Aggregate function レポートジェネレータは内蔵された 12の<u>集計関数</u>をサポートしています。
- **6 Move row up -** 選択した行を表示されているフィールド順で上に移動します。
- 7 Move row down 選択した行を表示されているフィールド順で下に移動します。
- 8 Column count 新しい表の列数を設定します。

9 - Layout type - レポートのデータ表示(リストまたはカード)を設定します。(参照:<u>スタンダードウ</u> <u>ィザードのページのプロパティ</u>)

- 10 "< Back": 現在のウィンドウでの変更はそのままで、前のウィンドウに戻ります。
- **11 "Next >"**: テーブルウィザードの次のウィンドウを開きます。
- **12 "Cancel"**: テーブルウィザードを閉じて、新しい表の追加をキャンセルします。

13 - Editable area - このセル領域をダブルクリックするか、セルの内容をシングルクリックして、フィールドのプロパティを変更できます。

テーブルウィザードでの並べ替え

| 🕎 Table Wizard | | | | 23 |
|---|----------------|----------|---------------|--|
| Data source: Employee Available fields | Sort by fields | 2 | | |
| Title | Field name | 3 Sort (| direction 🛛 🕢 | |
| Phone | FirstName | Asce | nding | |
| BirthDate | LastName | Asce | nding | |
| Address | >>> | | | ○ ○ ○ ○ |
| | | < Back 1 | inish 👥 Cano | el 🚺 |

- 1 Available fields: 選択したデータソースのフィールド一覧を含んでいます。
- **2 Sort by fields**: このフィールド一覧で表を並べ替えます。
- 3 Field name データソースから選択したフィールドの名前
- 4 Sort direction ソート順(昇順または降順)を定義します。
- 5-">": 選択したフィールドをソート一覧に追加します。
- 6-">>":利用可能なすべてのフィールドをソート一覧に追加します。
- 7- "<": 選択したフィールドをソート一覧から削除します。
- 8-"<<":利用可能なすべてのフィールドをソート一覧から削除します。
- 9 Move row up 選択した行をそのソート順で上に移動します。
- **10 Move row down –** 選択した行をそのソート順で下に移動します。

11 - ``< Back":現在のウィンドウでの変更はそのままで、テーブルウィザードの前のウィンドウに戻ります。

- **12 "Finish"**: テーブルウィザードを閉じて、生成された表をレポートに追加します。
- 13 "Cancel": テーブルウィザードを閉じて、新しい表の追加をキャンセルします。

インターフェイス

この章では、リボン レポートデザイナ インターフェイスについて説明します。

タブ

ホームタブ

このタブには、一番よく使われるコマンドが含まれています。



クリップボード

クリップボードで使われるボタンが含まれています。



[オブジェクトの貼り付け] ボタン: クリップボードの内容を選択領域に貼り付けます。

[オブジェクトの切り取り]ボタン:選択したオブジェクトを切り取って、クリップボードに貼り付けます。

[オブジェクトのコピー] ボタン: 選択したオブジェクトをコピーし、クリップボードに貼り付けます。

[オブジェクトの削除]ボタン:選択したオブジェクトを削除します。

フォント

Font プロパティで使われる制御が含まれています。



[フォント名] 一覧:利用可能なスタイルが格納されています(Font.FamilyName プロパティを設定します)。

[フォントサイズ] 一覧:フォントサイズを格納し、任意のサイズを設定できます(Font.Size プロパティを設定します)。

[太字] ボタン: テキストに太字を設定します(Font.Bold プロパティを設定します)。

[斜体] ボタン:テキストに斜体を設定します(Font.Italic プロパティを設定します)。

[下線] ボタン:テキストに下線を設定します(Font.Underline プロパティを設定します)。

[フォントを大きくする] ボタン:フォントサイズを大きくします(Font.Size プロパティを設定します)。

[フォントを小さくする] ボタン:フォントサイズを小さくします(Font.Size プロパティを設定します)。

[塗りつぶし] ボタン: テキストの色と塗りつぶしを設定します(選択したオブジェクトの TextFill プロパティ を設定します)。



[主な塗りつぶし] と [標準の塗りつぶし]: カラーパレットが格納されています。

[最近使った塗りつぶし]:最近使った塗りつぶしが格納されます。

[塗りつぶしなし]: すべての塗りつぶし設定をキャンセルし、TextFill プロパ

[その他の塗りつぶし...]:カスタムな塗りつぶしを作成するために、「塗りつ

[スタイルのみ使用]ボタン:スタイル設定を行います。これらの設定は選択したスタイルと一致し、変更をす べて削除します。

位置合わせ

≪位置合わせ≫にある表を使って、<u>TextAlign</u> プロパティや <u>ImageAlign</u> プロパティを設定できます。



[角度] ボタン: プロパティの値リストを開いて Angle プロパティを設定します。





枠と塗りつぶし



[塗りつぶし] ボタン:背景の色と塗りつぶしを設定します(Fill プロパティを設定します)。



[主な塗りつぶし] と [標準のぬりつぶし]: カラーパレットを格納しています。

[最近使った塗りつぶし]:最近使った塗りつぶしが格納されます。

[塗りつぶしなし]: すべての塗りつぶし設定をキャンセルし、Fill プロパティを [None] に設定します。

[その他の塗りつぶし…]:カスタムな塗りつぶしを作成するために、「塗りつ ぶしエディタ」を開きます。

[枠] ボタン: 枠を設定します(Border プロパティを設定します)。

| Bord | er |
|------|-------------------------|
| | B <u>o</u> ttom Border |
| | To <u>p</u> Border |
| | <u>L</u> eft Border |
| | <u>R</u> ight Border 1 |
| | <u>N</u> o Border |
| | All Borders |
| | L <u>i</u> ne Color 🔹 🕨 |
| - | Line St <u>y</u> le 🛛 🕘 |
| D | More Borders 3 |

1-枠線の位置を設定します。

2 - 枠線のスタイルや色を設定します。[線の色] のサブメニューにはカラーパレットが格納されています。[線スタイル] のサブメニューには、線の種類が格納されています。

3-[その他の枠...]:「枠エディタ」を開きます。

[余白] ボタン: Margins プロパティを設定する「余白エディタ」を開きます。



「スタイルギャラリ」に、テンプレートのスタイルがプレビューされます。スタイルのプレビューをクリック すると、選択したオブジェクトにそのスタイルを適用します(<u>StyleName プロパティ</u>を設定します)。



[選択したスタイルを新規スタイルとして保存]:新しいスタ イル名を設定するために「書式から新しいスタイルを作成」 ダイアログを開き、選択したオブジェクトのスタイルを保存 します。

[スタイルの編集] ボタン:「スタイルシートエディタ」を 開きます。

選択

[選択] ボタン:選択モードを切り替えます。


挿入タブ

このタブを使って、テンプレートにオブジェクトを追加できます。ボタンはグループごとに分けられています。

| File | Home | Insert | Layout | Vie | w | | | | | | | |
|------|-----------|--------|-----------|-----|---------|---------------|--------------|-----------------|------------|----------|-------------|-------------|
| | PageHead | er T |] TextBox | | * | <u> Shape</u> | ChartControl | 🔚 DataBand | SideBySide | Header | E SubReport | GroupHeader |
| New | RageOverl | ay T | AdvancedT | ext | Picture | ZipCode | 🏽 Widget | GroupBand | CrossBand | 💼 Detail | 💽 Content | GroupFooter |
| Page | PageFoot | TA BI | RichText | 0 | rictore | BarCode | WinFormsCont | (BandContainer | | 📙 Footer | PivotT | 6 |
| | Page | • | Text | 9 | | Illust | tration 🤍 | | Containe | er | | Obsolete |

1 - ≪ページ≫には、新規ページ、PageHeader、Page Overlay、PageFooter バンドを追加するボタンが 格納されています。

2 - 《テキスト》には、テキスト出力オブジェクト:**TextBox、AdvancedText、RichText**の追加ボタンが 格納されています。

3 - ≪図表≫には、さまざまなビジュアルオブジェクト: Picture、Shape、ZipCode、BarCode、ChartControl、Widget、WinFormsControl を追加するボタンが格納されています。

4 – ≪コンテナ≫には、さまざまなバンド: DataBand、GroupBand、BandContainer、SideBySide、 CrossBand、Header、Detail、Footer、SubReport、Content、PivotTable を追加するボタンが格納され ています。

5 - ≪旧式≫には、旧式で旧バージョンとの互換性に必要なバンド: GroupHeader、GroupFooter を追加す るボタンが格納されています。これらのコンポーネントを使用して新規レポートを作成することはお勧めして おりません。GroupBand に Header や Footers を使用してください。

(参照:テンプレートのオブジェクト)

レイアウトタブ

このタブには、ページレイアウト、オブジェクトの間隔や位置に作用する制御が含まれています。



1-《ページレイアウト》には、ページのプロパティを設定するボタンが格納されています。

[向き] ボタン: Page.Orientation プロパティの値を設定するために値リストを開きます。



[サイズ] ボタン: Page.PaperKind プロパティの値を設定するために値リストを開きます。[ユーザー定義] はユーザー定義の用紙サイズを設定するための「用紙サイズエディタ」を開きます。



2-≪順序≫を使用して、オブジェクトのサイズや位置を操作できます。

[グリッドのサイズに合わせる] ボタン:選択したオブジェクトのサイズをグリッドに合わせます。 [整列] ボタン:オブジェクトの整列を設定するための「整列」エディタを開きます。





[前面に移動]:現在のコンテナの他のオブジェクトの背面に隠れているオブジェクトを前面に移動します。

[先頭に移動]:現在のコンテナの他のオブジェクトの背面に隠れているオブジェクトを先頭に移動します。

[背面に移動]:現在のコンテナで選択したオブジェクトを他のオブジェクトの背面 に移動します。

[末尾に移動]:現在のコンテナで選択したオブジェクトを末尾に移動します。

[サイズ]ボタン:選択したオブジェクトのサイズを変更します。選択した主要オブジェクトのようにパラメータを設定します。

| Size | | | | | | | | | |
|----------|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | Same Width as advancedText2 | | | | | | | | |
| ŧI | Same Height as advancedText2 | | | | | | | | |
| E | Same Size as advancedText2 | | | | | | | | |

表示タブ

このタブには、テンプレートの表示(表示モード、表示/非表示オプション、ズーム、ウィンドウ操作)に作用 する制御が含まれています。

| File Home Insert Layout | View | | | |
|-------------------------------|------------------|--------------------------|--|--|
| Show Grid Show Object Bounds | 🔍 🔍 📑 Page Width | Properties 🛛 🗟 ErrorList | | |
| 🕼 Snap to Grid 🕼 Layout Bands | | DocumentTree | | |
| Show Rulers | Whole Page | DataSources | | |
| Show/Hide | Zoom & Pan 🥣 | Windows 🥑 | | |

1-《表示/非表示》では、デザイナの表示を設定できます。

[グリッドを表示]: グリッドの表示/非表示を定義します(Document.ShowGrid プロパティを設定します)。

[グリッドに合わせる]: グリッドに合わせるか定義します(<u>Document.SnapToGrid プロパティ</u>を設定しま す)。

[ルーラの表示]:ルーラの表示/非表示を定義します。

[オブジェクトの境界を表示]:オブジェクトの境界を表示/非表示にします(<u>Document.ShowObjectBounds</u> <u>プロパティ</u>を設定します)。

[バンドのレイアウト]:バンドの自動レイアウトオプションを切り替えます。

2-《ズーム&パン》では、ズームやパンモードを設定できます。

3 - ≪ウィンドウ≫には、「プロパティ」ウィンドウ、「ドキュメントツリー」ウィンドウ、「データソー ス」ウィンドウ、「エラー一覧」ウィンドウを開くボタンが格納されています。

コンテキストタブ

コンテキストタブは、特定のオブジェクトを選択した時にだけ関係のあるコマンドのコレクションを表示する ために使用します。

TextBox タブセット

<u>TextBox</u> タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 500 | l 🕞 🐑 | | | | Untilie | a 1 | Report Shar | >-Shooter D | Design | ier | | | | | | | | | |
|-------------|-------------------|---------|---------|--------|---------|-------|-------------|--------------|--------|--------|-----|----------|-----------|---------|-------------|-------------|----------|---------|------------------|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | | | | | | |
| CanG | row | Visible | General | | • | Arial | | - 🖪 | • | | 2 | | 8 | ĪT | Δ2 | AaBbC | AaBbCo | AaBbCcE | AaBbC |
| CanSi CanSi | hrink ToSottom | | % 🚬 | 12 | | P 1 | u ∧ . | • <u>A</u> • | Ąc | | Ang | e Border | Fill • | Margins | SeportTitle | HeaderTitle | PageHead | PageNum | PageFoote + Edit |
| | Render | | Cet | Format | - 6 | 3 | Font | | -6 | Anment | 9 | Арре | arance | | • | | Styles | | 5 |

TextBox の「形式」タブには次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、GrowToBottom、Visible を設定す るためのチェックボックスが格納されています。

2 – ≪テキスト形式≫は TextFormat プロパティを設定します。このリストには、TextFormat プロパティの利用可能な値が格納されています。ボタンで瞬時に「通貨」、「パーセント」、「数値」を設定できます。

3 - ≪フォント≫では、Font プロパティを設定できます。

4 - ≪位置合わせ≫では、TextAlign プロパティを設定できます。

5 – 《外観》には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins の設定ボタンが含まれています。

6 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

AdvancedText タブセット

<u>AdvancedText</u> タブセットに「形式」タブが含まれています。

| M Ci Q B ≤ | Minne | Report Sharp-Shooter Designer | | |
|-------------------------------|--------|-------------------------------|---------------------------|---|
| Re Home Insert Layout View | Format | | | 0 |
| CanBreak GrowToBottom General | • | Arial • 9.75 • 🗮 | 🗏 📿 🛄 🖄 🔟 🗛 🗛 | CD AsEbCcD AsEbCct AsEbCct AsEbCct |
| anShrink X 12 | 2 | 📕 🛛 🗛 👗 🗛 👗 | Angle Border Fill Margins | Hightight HeaderFo HeaderFo HeaderFo = Edit Styles |
| Render Sext Form | at G | Pont G | ent 🕑 Appearance 🛛 🔍 | Styles 15 |

AdvancedText の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanBreak、CanGrow、CanShrink、GrowToBottom、 Visible を設定するためのチェックボックスが格納されています。

2 – ≪テキスト形式≫は TextFormat プロパティを設定します。このリストには、TextFormat プロパティの利用可能な値が格納されています。ボタンで瞬時に「通貨」、「パーセント」、「数値」を設定できます。

3 - ≪フォント≫では、Font プロパティを設定できます。

4 - ≪位置合わせ≫では、TextAlign プロパティを設定できます。

5 - ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するためのボタンが 含まれています。

6 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

RichText タブセット

RichText タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖬 🖓 🕞 🖉 📼 | | | | Ridillan | - Report Sharp-Shooter Designer |
|----------------------------|---------|--------|--------|------------|---|
| File Home | Insert | Layout | View | Format | |
| CanGrow CanShrink | Visible | Angle | Border | Fill Margi | AaBbCcD AaBbCcD AaBbCcC AaBbCcC AaBbCcC AaBbCcC Feder |
| Render | | 2 | Appear | rance | 3 Styles |

RichText の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、GrowToBottom、Visible を設定す るためのチェックボックスが格納されています。

2 - ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するためのボタンが 含まれています。

3 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

Picture タブセット

Picture タブセットには「形式」タブが含まれています。



Picture の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2 - ≪位置合わせ≫では、ImageAlign プロパティを設定できます。

3 - ≪設定≫には、SizeMode プロパティの値リストを開いて設定するための [サイズモード] ボタンが格納 されています。



4 – ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するボタンが含まれています。

5 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

Shape タブセット

Shape タブセットには「形式」タブが含まれています。



Shape の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2- ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Fill、Line、Shadow を設定するボタンが含まれています。

[線] ボタン: Shape の線(線の色、線幅、線スタイル)を設定できます。

| Line | | Shadow | Aa |
|------|---|--------------------|----|
| - | | * | |
| | L | <u>i</u> ne Color | • |
| | L | ► | |
| — | L | ine St <u>v</u> le | • |

メニューには線の種類が格納されています。

[線の色] のサブメニューにはカラーパレットが格納されています。[線スタイル] のサブ

[影] ボタン: Shape の影を設定します。



2.3 - [カスタムな影]:影のプロパティを設定する「影エディタ」を開きます。

| Shad | ow Editor | | - 0 X | : |
|------|---------------|---|--------|---|
| DX | 0.423 | - | cm | |
| DY | 0.423 | + | cm | |
| | Shadow Fill 💌 | | | |
| | ОК | | Cancel | |

3 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

ZipCode タブセット

ZipCode タブセットには「形式」タブが含まれています。



ZipCode の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2 – 《外観》には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins と Color (ZipCode.Color プロパティを設定します)を設定するボタンが含まれています。

3 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

BarCode タブセット

BarCode タブセットには「形式」タブが含まれています。



BarCode の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2- 《フォント》では、Font のプロパティを設定できます。

3-《バーコード設定》は、バーコード特有のプロパティを設定します。

[ラベルの位置]: リストには LabelPosition プロパティの値が格納されています。[なし] を選択すると ShowLabel プロパティが False に設定されます。

| Label | |
|--------------|--|
| | |
| None | |
| BottomLeft | |
| BottomCenter | |
| BottomRight | |
| TopLeft | |
| TopCenter | |
| TopRight | |

[背景色]、[Bar 色]、[テキストの色] ボタンは、それぞれ BackColor、BarColor、TextColor プロパティを 設定します。



4 – ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するボタンが含まれています。

5 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

ChartControl タブセット

ChartControl タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖬 🖓 🖉 🔊 🖬 | | ChartCo | document1 - Rep | document1 - Report Sharp-Shooter Designer | | | | | | | |
|--------------|--------------------|--------------|-----------------|---|------------|----------|----------|-------------------|--|--|--|
| File Home | Insert Layout View | Format | | | | | | | | | |
| GrowToBottom | Data Source | ^ m | 🖄 T | | | | | | | | |
| Visible | Customers 🔹 | ~ | | AaBbCcD | AaBbucu | AaBbCcL | AaBbCcL | AaBDCCL | | | |
| - | | Angle Border | Fill Margins | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo = Styles | | | |
| 1 Render | 2 Data Settings | 3 Appe | arance | 4 | | Styles | | 54,45 | | | |

ChartControl の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2 - 《データ設定》には、DataSource プロパティを設定するための制御が含まれています。

3 - ≪外観≫のグループには、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するボタンが含まれています。

5 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

Widget タブセット

Widget タブセットには「形式」タブが含まれています。

| N (21 📑 |) 🗟 🔻 | | | | Wiiiget | - Rep | port Sharp-Sh | ooter Design | er | | |
|----------------|----------|--------|-------------|---------|---------|-------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | |
| Grow Grow | foBottom | Angle | Border Fill | Margins | AaBl | bCcD mal | AaBbCcD Hightlight | AaBbCcD HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | ▲ Edit Styles |
| 🙂 Ren | der | 2 | Appearance | 2 | • | | | Styles | | | 5 |

Widget の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。 2 - ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するボタンが含まれています。

3 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

WinFormsControl タブセット

<u>WinFormsControl</u>タブセットには「形式」タブが含まれています。

| N (SH 🗄 | + 🛴 🗟 | | | | WinFor | VinReir - Report Sharp-Shooter Designer | | | | | | |
|--------------------|---------------|--------|-------------|---------|-------------|---|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--|--|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | | |
| ☐ Grow ☑ Visibl | ToBottom e | Angle | Border Fill | Margins | AaBI Nor | bCcD mal | AaBbCcD Hightlight | AaBbCcD HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | ▲ ▲ Edit Styles | |
| 🕛 Rei | nder | 2 | Appearanc | e | 3 | | | Styles | | | Es. | |

WinFormsControl の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: GrowToBottom、Visible を設定するためのチェックボックス が格納されています。

2 - ≪外観≫には、見た目に関するプロパティ: Angle、Border、Fill、Margins を設定するボタンが含まれ ています。

3 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

DataBand タブセット

DataBand タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🛤 🖓 🖓 😨 🔹 | document1 | Report Sharp-Shooter Designer | | 0 8 |
|---|-------------------|-------------------------------|----------------------|--|
| File Home Insert Layout View | Format | | | 🔞 About |
| CanGrow NewColumnBefore Vi CanShrink NewPageAfter | sible Data Source | Customers • | Columns Count 0 🛟 | Aa8bCcD Aa8bCcD Aa8bCcc Aa8bCcc Aa8bCcc |
| ColumnAfter 🗌 NewPageBefore | Count | • • • • • | Compose Gap 0.000 \$ | Alormal Hightlight Headerfo Headerfo Headerfo V Edit |
| Render | • | Data Settings | Columns | Styles 5 |

DataBand の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格 納されています。

2 – ≪データ設定≫には、DataSource、InstanceCount、Sort、Totals、FilterExpression プロパティを設 定するための制御が含まれています。

3 - 《列》には、ColumnsCount と ColumnsGap プロパティを設定するための制御が含まれています。

4 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

GroupBand タブセット <u>GroupBand</u> タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 5 (2) (2) | l 😼 🔹 | | | | للربيدية | documen | nt1 - Report SP | harp-Shooter Desi | gner | | | | | | | |
|-----------|-------------|--------|-------------|--------|----------|---------|-----------------|-------------------|---------|---|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | 1 | | | | | | | | | | |
| CanG | row | 🔲 Nev | vColumnBef | fore 🔽 | Visible | | | Columns Count | 0 | • | | | 1.0.0.0 | | | A |
| CanSl | hrink | 🔲 Nev | vPageAfter | | | Group | AL | | - | | AaBbCco | ASBBUCD | AaBbUcL | AaBBCCL | AabbGcL | · |
| C CON | ColumnAfter | 🖂 Nev | vPageBefore | e | | Sision | 21 🛃 XI | Comms Gap | 0.000 | • | Normal | Highlight | HeaderFo | HeaderTo | HeaderFo | ▼ Styles |
| | | Rend | er | | | Data S | ettings | U | Columns | | | | Styles | | | 6 |

GroupBand の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

 ▲生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格 納されています。

2 - ≪データ設定≫には、GroupExpression、SortExpression、Order プロパティを設定するための制御が 含まれています。

3 - 《列》には、ColumnsCount と ColumnsGap プロパティを設定するための制御が含まれています。

4 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

BandContainer タブセット

BandContainer タブセットには「形式」タブが含まれています。



BandContainer の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格 納されています。

2 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

SideBySide タブセット

SideBySide タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖬 🖓 😰 🔊 🖓 | | SideByS | - Report Sh | arp-Shooter | Designer | | | |
|----------------|--------------------|---------|-------------|-------------|----------|----------|----------|-----|
| File Home | Insert Layout View | Format | | | | | | |
| CanGrow | NewColumnBefore | Visible | 4-8-0-D | A-DLO-D | A-DLC-D | A-DLC-F | 4-040-5 | - A |
| CanShrink | NewPageAfter | | Aabbucu | Aabbucu | Aabbeel | Aabbucu | Aabbuct | Y A |
| NewColumnAfter | NewPageBefore | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | |
| | Render | | 2 | | Styles | | | Fai |

SideBySide の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格 納されています。

2 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

CrossBand タブセット

CrossBand タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🔊 🏱 🖸 😼 | Ŧ | | | CreadB | a docume | nt1 - Report | Sharp-Shoote | r Designer | | |
|----------|----------------|------------|------|--------|----------|--------------|--------------|------------|----------|------------------|
| File Hor | ne Insert I | Layout | View | Forma | t | | | | | |
| CanGrow | Data Source | Customers | ; | • | AaBbCcD | AaBbCcD | AaBbCcD | AaBbCcE | AaBbCcE | • A |
| Visible | Instance Count | 0 | | • | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | ✓ Edit Styles |
| Render | Dat | a Settings | | | 3 | | Styles | | | Gr |

CrossBand の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 – 《生成》には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、Visible を設定するためのチェックボックスが格納されています。

2 - ≪データ設定≫には、DataSource と InstanceCount プロパティを設定するための制御が含まれています。

3 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

Header タブセット

<u>Header</u> タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🗳 🖓 🖓 | 1 - | | | Header | - Report Sharp | Shooter Designer | r | | | | | | | |
|-----------|----------------|--------|-----------|------------|----------------|------------------|-------|---|---------|------------|----------|----------|----------|----------|
| File H | fome Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | | |
| CanBreak | NewColum | After | NewPag | geBefore | Visible | MinSpaceAfter | 0.000 | : | | 4.0L0.0 | A | A | 1.010.0 | · A |
| CanGrow | NewColumn | Before | 🔲 Repeatê | EveryColum | n | | | | Aabbucu | AaBbucu | Aabbucu | Aabbucu | ABBBCCL | · Fdit |
| CanShrink | k 🔲 NewPageAf | ter | Repeate | EveryPage | | | | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | ▼ Styles |
| • | | | Re | ender | | | | | • | | Styles | | | 6 |

Header の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanBreak、CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、RepeatEveryColumn、RepeatEveryPage、 Visible を設定するためのチェックボックスと、MinSpaceAfter プロパティを設定するためのカウンタ: MinSpaceAfter が格納されています。

2 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

Footer タブセット

Footer タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖌 너 🖗 🛛 | ₫. = | | | | Footer | - Report Sharp- | Shooter | Desi | gner | | | | | |
|----------|--------|-----------|---------|---------|----------|-----------------|---------|------|---------|------------|----------|----------|------------|------------|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | |
| CanBrea | k 🔲 N | ewColum | nAfter | 🔲 NewPa | geBefore | MinSpaceAfter | 0.000 | \$ | 4.010.0 | 4.0% O.D | A-DLC-D | A-DLC-F | 4-040-0 | • A |
| CanGrov | N 🗌 N | lewColum | nBefore | PlaceIn | Bottom | | | | AaBbCcD | AaBbucu | AaBbCcL | AaBbCcL | Aabbucct | - A |
| CanShrin | nk 🔲 N | lewPageAf | fter | Visible | | | | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo 7 | |
| • | | | | Render | | | | | • | | Styles | | | 5 |

Footer の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanBreak、CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、PlaceInBottom、Visible を設定するためのチェ ックボックスと、MinSpaceAfter プロパティを設定するためのカウンタ: MinSpaceAfter が格納されていま す。

2 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

Detail タブセット

<u>Detail</u> タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🛏 🕞 🖸 | Ŧ | | | Detail | - Report Sharp- | Shooter | Desig | iner | | | | | |
|-----------|------------|----------|---------|----------|-----------------|---------|-------|---------|------------|----------|----------|------------|--------|
| File He | ome Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | |
| CanBreak | NewColu | mnAfter | 🔲 NewPa | geBefore | MinSpaceAfter | 0.000 | \$ | | | | | | A |
| CanGrow | NewColu | mnBefore | Visible | | | | | AaBbCcD | AaBbCcD | AaBbCcl | AaBbCcL | AaBbCct | Edit |
| CanShrink | 🔲 NewPag | eAfter | | | | | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo 🖵 | Styles |
| • | | | Render | | | | | • | | Styles | | | - G |

Detail の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanBreak、CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスと、 MinSpaceAfter プロパティを設定するためのカウンタ: MinSpaceAfter が格納されています。

2 – ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

SubReport タブセット

SubReport タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 500 | l 😼 = | | | | SubRep | documen | t1 - Report Sharp-S | Shooter Designe | a. | | | | | | |
|---------|------------|--------|------------|-------|---------|------------|---------------------|-----------------|----|---------|-----------|----------|----------|----------|-----|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | | |
| CanG | row | 🔲 Nev | /ColumnBef | ore 🔽 | Visible | | Template Name | | | | | | | | A |
| CanSi | hrink | Nev | /PageAfter | | | Darameterr | | | | AaBBCcD | AaBBCcD | AaBbCcL | AaBbCct | ABBBBCCE | • A |
| - New C | olumnAfter | 🗌 Nev | PageBefore | e | | | Shift | 0.000 | • | Normal | Highlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | |
| • | | Rend | er | | | • | SubReport Set | ttings | | • | | Styles | | | 6 |

SubReport の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格 納されています。

2 - ≪サブレポート設定≫には、Parameters、TemplateName、Shift プロパティを設定するための制御が 含まれています。

3 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

Content タブセット

Content タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 500 | à 🗟 = | | | | | Content | document1 - Rep | port S | iharp-Shooter (| Designer | | | | | |
|---------|---------|----------|-------|-----------|--------|-----------|------------------|--------|-----------------|------------|----------|----------|-----------|--|--|
| File | Home | e Insert | | Layout | View | Format | | | | | | | | | |
| Can Can | Brow | 🔲 N | lewC | olumnBef | iore 🔽 |] Visible | Shift | | | | 4-01-0-0 | | • March A | | |
| 🔲 CanS | ihrink | 🔲 N | lewPa | ageAfter | | | 0.000 | \$ | AaBbUcD | AaBbUcD | AaBbCcL | AaBbCcL | Aabbuck | | |
| New | ColumnA | fter 🔲 N | lewPa | ageBefore | 2 | | 0 | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | | |
| | | Re | nder | | | | Content Settings | | • | | Styles | | G. | | |

Content の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

 ▲生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格納されています。

2 - ≪コンテンツ設定≫には Shift プロパティの制御が含まれています。

3 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

PivotTable タブセット

PivotTable タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 5 (2) [2] | l 😼 🔻 | | | | Hisselfa | do | cument1 - Repo | ort Sha | arp-9 | Shooter Design | er | | | | |
|-----------|-------------|--------|------------|-------|----------|-------|----------------|---------|-------|----------------|------------|----------|----------|----------|-----|
| File | Home | Insert | Layout | View | Format | | | | | | | | | | |
| CanG | irow | 🗌 New | ColumnBef | ore 🗸 | Visible | Data | Source | | 7 | | | | | | A |
| CanS | hrink | 🔲 New | /PageAfter | | | Custo | omers . | • | | AaBbCcD | AaBbCcD | AaBbCcL | AaBbCcL | AaBbCcL | • 🗛 |
| New | ColumnAfter | 🗌 New | PageBefore | | | 0 | | | | Normal | Hightlight | HeaderFo | HeaderFo | HeaderFo | |
| | | Rende | er | | | 9 | Data Settings | | | • | | Styles | | | 6 |

PivotTable の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、NewColumnAfter、 NewColumnBefore、NewPageAfter、NewPageBefore、Visible を設定するためのチェックボックスが格納されています。

2 - ≪データ設定≫には、DataSource、FilterExpression、Layout プロパティを設定するための制御が含まれています。

3 - 《スタイルは》では、StyleName プロパティを設定できます。

PageHeader タブセット

PageHeader タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖍 🖓 🖗 | Ŧ | | فلتلفرونكا | - Repor | t Sharp-Shoo | ter Designer | | |
|----------------------|---------------|------------|------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--|
| File Hor | me Insert La | ayout View | Format | | | | | |
| CanGrow CanShrink | Mode AllPages | - Ai | aBbCcD Normal | AaBbCcD Hightlight | AaBbCcD HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | ▲ Edit Tyles |
| | Render | 2 | | | Styles | | | E <u>s</u> |

PageHeader の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、Visible を設定するためのチェックボ ックスと、Mode プロパティの値を含んでいる Mode 一覧が格納されています。

2 – 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

PageFooter タブセット

PageFooter タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖍 🍋 🕞 🖾 | Ŧ | | | | | فالعربيطا | ย | - Report | t Sharp-Shoo | ter Designer | | |
|----------------------|--------|--------|--------|----|-----------|----------------|----------|----------|---------------------|---------------------|---------------------|--|
| File Hor | ne In | sert | Layout | Vi | ew | Forma | at | | | | | |
| CanGrow CanShrink | Mode | AllPag | ges • | • | Aat No | BbCcD ormal | Aa Hi | BbCcD | AaBbCcD HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | ▲ ▲ Edit Styles |
| 1 | Render | r | | | 2 | | | | Styles | | | Es. |

PageFooter の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、Visible を設定するためのチェックボ ックスと、Mode プロパティの値を含んでいる Mode 一覧が格納されています。

2 - ≪スタイル≫では、StyleName プロパティを設定できます。

PageOverlay タブセット

PageOverlay タブセットには「形式」タブが含まれています。

| 🖍 (~ 🗟 🗟 = | | | | RageO | v | - Report | t Sharp-Shoo | ter Designer | | | | |
|--------------------------------------|--------|---------------|--------|-------|-----------|----------------|--------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---|
| File Ho | ome In | sert | Layout | Vi | iew | Forma | at | | | | | |
| CanGrow Mode CanShrink Visible | | lode AllPages | | | Aat No | BbCcD ormal | A H | aBbCcD lightlight | AaBbCcD HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | AaBbCcE HeaderFo | ▲ Edit Styles |
| 1 Render | | | | 2 | | | | Styles | | | G | |

PageOverlay の「形式」タブには、次のグループが含まれています。

1 - ≪生成≫には、生成に関するプロパティ: CanGrow、CanShrink、Visible を設定するためのチェックボ ックスと、Mode プロパティの値を含んでいる Mode 一覧が格納されています。

2 - 《スタイル》では、StyleName プロパティを設定できます。

アプリケーションメニュー



[新規]:新しいテンプレートを作成するウィザードギャラリを開きます。

[開く]: テンプレート/ドキュメントを開く「テンプレートを開く」ウィ ンドウを開きます。

[保存]:編集したテンプレート/ドキュメントの変更を保存します。テン プレート/ドキュメントが保存されない場合は、保存先のフォルダやファ イル名を選択する「テンプレートの保存」ウィンドウを開きます。

[名前を付けて保存...]:レポート/ドキュメントを保存するフォルダやフ ァイル名を選択する「テンプレートの保存」ウィンドウを開きます。

[言語設定]: ローカライゼーション言語を選択する「言語設定」ウィン ドウを開きます。

[設定] ボタン: デザイナのテーマや色スキーマを選択する「パレット設定」 ウィンドウを開きます。

[デザイナを閉じる] ボタン:レポートデザイナを閉じます。

バインドバー

バインドバーを使用すれば、瞬時にオブジェクトのプロパティをバインドできます。

| Name pager binding styleName 2 * 72 5 |
|---------------------------------------|
|---------------------------------------|

1-[名称]-選択したオブジェクトの名前を設定します。

2-[バインド]-選択したオブジェクトの動的なプロパティ一覧で、値を設定するプロパティを選択できます。

| Binding | StyleName 🔽 |
|---------|-------------|
| | Bookmark |
| | Hyperlink |
| | Location |
| | Size |
| I. I. | StyleName |
| 1 | Tag |
| | ToolTip |
| 2 | Visible |

3-[スクリプトエディタ]ボタン-選択したオブジェクトの式を設定する<u>スクリプトエディタ</u>を開きます。

4 - [F(x)] - 選択したオブジェクトに動的なプロパティを設定するための式を設定します。

クイックアクセスツールバー

クイック アクセス ツールバーは、よく使うコマンドにアクセスします。

| 🗄 🖌 🍋 | R 🔁 | A 🖪 👌 | 7 🔻 |
|-------|------|------------|--------|
| File | Home | Insert | Layout |
| | Cu | ut Objects | |

カスタマイズすることで、必要なコマンドを追加できます。

| Cu | ustomize Quick Access Toolbar | | | | |
|--------------|-------------------------------|--|--|--|--|
| | New | | | | |
| | Save | | | | |
| | Open | | | | |
| \checkmark | Undo | | | | |
| \checkmark | Redo | | | | |
| \checkmark | Preview Report | | | | |
| \checkmark | Check Script | | | | |
| | Select Language | | | | |
| | Chaw Draparties | | | | |
| | Show Properties | | | | |
| | Show Above the Ribbon | | | | |
| | Minimize the Ribbon | | | | |

クイック アクセス ツールバーに次のコマンドを追加できます。

| ボタン | 動作 |
|-------------|-------------------------------------|
| 新規ドキュメント | 新しいテンプレートを作成します |
| 保存 | テンプレートの変更を保存します |
| 開く | テンプレート/ドキュメントをファイルから読み込みます |
| 言語設定 | 「言語設定」ダイアログを開きます |
| Font | 「フォント」ダイアログを開きます |
| スタイルのみ使用 | スタイル設定を設定します |
| Fill | Fill プロパティを設定する「塗りつぶしエディタ」を開きます |
| Text Fill | TextFill プロパティを設定する「塗りつぶしエディタ」を開きます |
| Border | 「枠エディタ」を開きます |
| Margins | 「余白エディタ」を開きます |
| Text Format | 「フォーマットエディタ」を開きます |
| スタイルシートエディタ | 「スタイルシートエディタ」を開きます |
| 整列 | 「整列」ダイアログを開きます |
| 実サイズ | 100% ズームを設定します |
| ページの幅 | ページの幅に合わせます |
| ページ全体 | ページ全体に合わせます |
| プロパティ | 「プロパティ」ウィンドウを開きます |
| ドキュメントツリー | 「ドキュメントツリー」ウィンドウを開きます |
| データソース | 「データソース」ウィンドウを開きます |
| エラー一覧 | 「エラー一覧」ウィンドウを開きます |
| グリッドを表示 | グリッドを表示/非表示にします |



| グリッドに合わせる | 「グリッドに合わせる」オプションをオン/オフにします |
|--------------|------------------------------|
| ルーラの表示 | ルーラを表示/非表示にします |
| オブジェクトの境界を表示 | オブジェクトの境界を表示/非表示にします |
| バンドのレイアウト | 「バンドの自動レイアウト」オプションをオン/オフにします |
| テンプレートのプロパティ | テンプレートのプロパティを開きます |

コンテキストメニュー

コンテキスト メニューには、一番よく使われるメニューが含まれています。メニュー一覧は、現在選択されて いるレポートオブジェクトによって決まります。

一般的な動作



1 [オブジェクトの切り取り] - 選択したオブジェクトを切り 取って、クリップボードに貼り付けます。

2 [オブジェクトのコピー] - 選択したオブジェクトをコピー して、クリップボードに貼り付けます。

3 [オブジェクトの貼り付け] - 選択した領域にクリップボードの内容を貼り付けます。

4 [オブジェクトの削除] - 選択したオブジェクトを削除しま

す。

| 加大へに行 | | | | | | |
|-------|-------------|--|--|--|--|--|
| | | | | | | |
| | Edit 1 | | | | | |
| 1 | Clean 2 | | | | | |
| | Arrange 3 🕨 | | | | | |
| | | | | | | |

1[編集] - このメニューはエディタを開きます。

- TextBox.Text プロパティを設定する、TextBox オブジェクトの「テキストエディタ」
- AdvancedText element to set AdvancedText.Text プロパティを設定する、AdvancedText オブ ジェクトの「書式付きテキストエディタ」
- RichText.RTFtext プロパティを設定する、RichText オブジェクトの「RichText エディタ」
- イメージを選択し、Picture.Image プロパティを設定する「ファイルを開く」ダイアログを開きます。
- BarCode.Code プロパティを設定する、BarCode オブジェクトの「テキストエディタ」
- ChartControl.Chart プロパティを設定する、ChartControl オブジェクトの SharpShooter Charts デザイナ
- Widget.Instrument プロパティを設定する、Widget オブジェクトの Instrument デザイナ
- PivotTable.Layout プロパティを設定する、PivotTable の「ソースフィールド」

2[クリーン] - このメニューは内容をきれいにします。

- TextBox オブジェクトの TextBox.Text プロパティ
- AdvancedText オブジェクトの AdvancedText.Text プロパティ
- RichText オブジェクトの RichText.RTFtext プロパティ
- Picture オブジェクトの Picture.Image プロパティ
- BarCode オブジェクトの BarCode.Code プロパティ
- ChartControl の ChartControl.Chart プロパティ



• Widget オブジェクトの Widget.Instrument プロパティ

3 [順序] - このサブメニューには、オブジェクトの順序、位置、サイズを操作するためのメニューが含まれて います。

| ۹. | Bring to Front | |
|--------------------|-------------------------|----|
| - | Move Forward | 2 |
| | Move Back | 3 |
| 暍 | Send to Back | 4 |
| ₽ | Align Left | 5 |
| 皋 | Align Center | 6 |
| - | Align Right | 0 |
| | Align Top | 8 |
| ₽ŀ | Align Middle | 9 |
| <u>004</u> | Align Bottom | 10 |
| 0 <mark>1</mark> 0 | Distribute Horizontally | 1 |
| 눔 | Distribute Vertically | 12 |
| ŧI | Same Height as textBox2 | 13 |
| _ | Same Width as textBox2 | 14 |
| P | Same Size as textBox2 | 15 |

3.1 [先頭に移動] - 現在のコンテナの他のオブジェクトで隠されないように、選択したオブジェクトを先頭に移動します。

3.2 [前面に移動] - 現在のコンテナの一部のオブジェクトで隠れるように、選択したオブジェクトを前面に移動します。

3.3 [背面に移動] - 現在のコンテナで他のいくつかのオブジェクトで隠れるように、選択したオブジェクトを背面に移動します。

3.4 [末尾に移動] - 選択したオブジェクトを現在のコンテナの オブジェクトの最後尾に移動します。

次のメニューは、複数のオブジェクトを選択した場合のみ利用 できます。

3.5 [左揃え] - 選択したオブジェクトの左側を最左端のオブジェクトの左枠に揃えます。

3.6 [中央揃え] - 選択したオブジェクトの中心を最左端と最右端のオブジェクトの中心に揃えます。

3.7 [右揃え] - 選択したオブジェクトの右側を最右端のオブジェクトの右枠に揃えます。

3.8 [上揃え] - 選択したオブジェクトの上部を最上部のオブジェクトの上枠に合わせます。

3.9 [中間揃え] - 選択したオブジェクトの中央を最上部と最下 部のオブジェクトの中間に揃えます。

3.10 [下揃え] - 選択したオブジェクトの下部を最下部のオブジェクトの下枠に揃えます。

3.11 [左右に整列] - 選択したオブジェクトを左右に等間隔で整列します。

3.12 [上下に整列] - 選択したオブジェクトを上下に等間隔で整列します。

3.13 [<選択したメインのオブジェクト*>と同じ高さ] - 選択したすべてのオブジェクトの高さを選択したメインのオブジェクトの高さと同じにします。

3.14 [<選択したメインのオブジェクト>と等幅] - 選択したすべてのオブジェクトの幅を選択したメインの オブジェクトと等幅にします。

3.15 [<選択したメインのオブジェクト>と同サイズ] - 選択したすべてのオブジェクトを選択したメインの オブジェクトと同サイズにします。

* 選択したメインのオブジェクト - 現在選択したオブジェクトで最後に選択されたオブジェクト。濃い青色で 示されます。

オブジェクトに依存するメニュー

オブジェクト固有のプロパティを設定するメニューは以下の通りです。

SizeMode – Picture.SizeMode プロパティを設定します。このサブメニューには、SizeMode プロパティの 値リストが表示されます。



ShapeStyle – Shape.ShapeStyle プロパティを設定します。このサブメニューには、ShapeStyle プロパティの値リストが表示されます。

| ShapeStyle | | [None] |
|------------|---|---------------------|
| | Image: A start of the start of | RectangleShape |
| | | LineShape |
| | | EllipseShape |
| | | RoundRectangleShape |
| | | TriangleShape |

CodeType – BarCode.CodeType プロパティを設定します。このサブメニューには、**CodeType** プロパティの値リストが表示されます。



DataSource – DataSource property of DataBand、PivotTable、CrossBandの DataSource プロパティ を設定します。このサブメニューには、テンプレートのデータソースの一覧が表示されます。



GroupExpression – GroupBand.GroupExpression プロパティを設定する「スクリプトエディタ」を開き ます。



SubReport - SubReport.TemplateName プロパティを設定します。このサブメニューには、現在のレポートマネージャのレポート名の一覧が表示されます。



1 [StyleName] - オブジェクトの StyleName プロパティを設定します。このサブメニューには、テンプレートで定義したスタイル一覧が表示されます。

2 [Style] - このサブメニューには、次のメニューが表示されます。



2.8 [Margins] - Margins プロパティを設定する「余白エディタ」を開きます。

2.9 [Angle] - Angle プロパティを設定します。Angle プロパティの値リストが表示されます。

生成のサブメニュー

このサブメニューは、オブジェクトの生成に関するプロパティを設定する機能を提供しています。

| | CanGrow | | 1 [CanGrow] - CanGrow プロパティを True / False に設定します。 |
|---|--------------|-----|--|
| | CanShrink | 2 | 2 [CanShrink] – CanShrink プロパティを True / False に設定します。 |
| Image: A start of the start of | CanBreak | 345 | 3 [CanBreak] - CanBreak プロパティを True / False に設定します。 |
| | GrowToBottom | | 4 [GrowToBottom] – GrowToBottom プロパティを True / False に設定します。 |
| | Visible | | 5 [Visible] - Visible プロパティを True / False に設定します。 |
| _ | Mode | • | 6 [Mode] - Mode プロパティを設定します。このサブメニューには、 |

Mode プロパティの値リストが表示されます。

その他のメニュー



[プロパティを表示] - プロパティグリッドに選択したオブジェクトのプロパティを表示します。

グループ選択

複数のオブジェクトを選択すると、コンテキストメニューには選択されたすべてのオブジェクトに共通するメ ニューが表示されます。コマンドは選択した各オブジェクトに適用されます。

下図では、選択されたメインオブジェクトは AdvancedText オブジェクトになっています。



ドッキング

リボンインターフェイスを持つ新しいレポートデザイナは、ウィンドウのドッキングをサポートしています。 プロパティ、データソース、ドキュメントツリー、エラー一覧のウィンドウをドッキングできます。つまり、 デザイナウィンドウの脇にウィンドウをドッキングさせるか、独自の小さなウィンドウにフローティングさせ ることができます。

プロパティグリッド

プロパティグリッドは、選択したオブジェクトのプロパティを表示/編集するためにあります。

| | | • ** | 1-[オブジェクト一覧] - テンプレートのすべての |
|----|---------------------------|---------------------------------------|--|
| Pr | operties | - × | オノシェクトを衣示する、デンノレートのオノシェク ト一覧です。プロパティグリッドは、「オブジェクト |
| te | xtBox1 TextBox | 1 - | 一覧]で選択したオブジェクトのプロパティを表示し |
| |] ≵↓ []] ₽ Ъ 🔤 | | ます。最初の単語はオブジェクト名で、二番目の単語 はオブジェクト型です。 |
| | | 0 | ▶ - 「頂日則」 - このボタンけプロパティを頂日則で |
| | Border | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 2 - [項目別] - このホックはノロハノイを項目別で 表示] ます |
| | ClipText | False | |
| | Fill | [None] | 3 - [アルファベット順] - このボタンはプロパティ |
| Đ | Font | Arial; 15pt | をアルファベット順で表示します。 |
| Ð | Margins | 0; 0; 0; 0 cm | |
| | RightToLeft | False | 4 - [プロパティ] - このボタンは静的なプロパティ |
| | StringTrimming | Character = | の表示に切り替えます。 |
| | StyleName | DemoApp (9) | |
| | Text | New designer demo applic | 5 - [バインド] - このボタンは動的なプロパティの |
| | TextAlign | MiddleCenter | 表示に切り替えます。 |
| Ð | TextFill | SolidFill | |
| | TextFormat | | 6 - [プロパティ ページ] - このボタンは使われてお |
| | ToolTip | | りません。 |
| | Data | 8 | |
| | Tag | | 7 - [プロパティ グリッド] - オブジェクトのプロパ |
| | Design | | ティ グリッド |
| | Name | textBox1 | |
| | Layout | 0.5.0 | 8-フロハディ群 |
| | Location | 2.5; 2 cm | |
| | Size | 11.5; 1 cm | |
| | Navidation | | 10 - 「説明] - 選択したプロパティの説明 |
| S | tyleName | 10 | |
| | etermines the name of the | e style applied to the control. | |
| | | | |
| | | | J |

プロパティの設定にさまざまな方法が使用されます。

| Ξ | 3 Design | | | 1 - テキストや数値を入力するフィールド | |
|---|------------------|----------------|-----|-----------------------------|--|
| | Name | dataBand1 | 1 | | |
| | ShowBottom | True | | 2 - このボタンは、プロパティのエディタを開きます。 | |
| | ShowCaption | True | | | |
| Ξ | Data | | | 3 - 値リスト | |
| | DataSource | | | | |
| | FilterExpression | | 2 | | |
| | InstanceCount | 0 | | | |
| Ξ | Data | | | | |
| | DataSource | UserDayaSource | 3 🖵 | | |
| | FilterExpression | | | | |
| | InstanceCount | 0 | | | |

データソース

| | | | | 23 |
|---------|--|-----|---|-----|
| DataSou | DataSources 🗾 👻 🗙 | | | |
| Bands | Data Sources | | 1 | |
| - data | Fax LineNumber Phone PostalCode Region aBand2 aBand3 DataItem Discount LineNumber OrderID ProductID Quantity UnitPrice ecial Fields Column Number Document Descrip Document Title Now Page Count Page Number | ion | 2 | A E |

1-「バンド」タブと「データソース」タブを切り替 えます。レポートバンドのデータや専用フィールドが 「バンド」タブに表示されます。レポートのデータソー スのデータが「データソース」タブに表示されます。

2 - データソースのフィールドツリーからフィールド をドラッグすることにより、**TextBox** オブジェクトを 作成してそこにデータソースのデータを出力できます。

ドキュメントツリー

ドキュメントツリーはレポート構造順に並べられたオブジェクトのセットです。オブジェクトを選択して、プロパティを編集したり、オブジェクトを削除したり、テンプレート構造を変更したりすることができます。



エラー一覧

スクリプトのエラー一覧には、エラーの発生したバンド名やエラー内容も表示されます。左マウスボタンでダブルクリックして<u>スクリプトエディタ</u>を開き、式/スクリプトの編集を行えます。

| | | 23 |
|---|---|----|
| ErrorList | • | × |
| Error List Error Warning | | |
| groupBand1.GroupExpression line: 1 column: 0 Expression expected. textBox8.DataBindings['Value'].Expression line: 1 column: 0 Expression expected. | | |

エディタ

テキストエディタ

このエディタはテキストの値を入力するためのもので、シンプルなテキストを入力できます。

このエディタは TextBox オブジェクトをダブルクリックするか、TextBox オブジェクトを選択した時にホットキー: Ctrl + Enter を入力するか、プロパティグリッドの TextBox プロパティのボタンで開きます。

| 🥪 Text Editor | — |
|---------------|---------------|
| Text Editor | * |
| | |
| | |
| | |
| | 0 - |
| • | - F |
| | OK 2 Cancel 3 |

1-テキストを入力する領域

2 - [OK] ボタン - 変更を適用し、エディタを閉じます。

3-[キャンセル]ボタン-変更をキャンセルし、エディタを閉じます。

スクリプトエディタ

このエディタはスクリプトや式を入力するためのものです。

このエディタは、プロパティグリッドのプロパティのボタンを押すか、バインドバーの「スクリプトエディタ」ボタンを押して開きます。



1-スクリプトを入力する領域

スクリプトエディタは、構文の強調表示、選択の変更、オートコンプリートコードを提供します。



2-フィールドツリーはデータソースのフィールド(「データソース」タブのデータソースのフィールド部分)、バンドのフィールド(「バンド」タブのバンドのフィールド部分)、特別なフィールド(バンドタブの部分)を表示します。式を素早く入力するには、フィールドツリーのフィールドをスクリプトの入力領域にドラッグするか、フィールドツリーのフィールドをダブルクリックすると行えます。

3-「バンド」タブと「データソース」タブを切り替えます。

4-[コードスニペット]ボタン-テンプレートで選択したオブジェクトに対してコードフラグメントを入力 するためのリストを開きます。

| Insert Snippet: <u>Math></u> |
|--|
| Calculate a Monthly Payment on a Loan Calculate the Cosine of a specified Angle Calculate the Sine of a specified Angle Calculate the Sum-of-Years Depreciation Calculate the Tangent of a specified Angle Get a Random Number using the Random class |
| |

5 - [OK] ボタン - 変更を適用し、エディタを閉じます。

6-[キャンセル]ボタン-変更をキャンセルし、エディタを閉じます。

スクリプトブラウザ

スクリプト ブラウザはスクリプトを簡単に操作できるようにレポートのすべてのスクリプトを表示します。 このブラウザは、リボンバーの「ホーム」タブの右側にあるボタンで開きます。



1 - ドキュメントツリー:ドキュメントのすべてのオブジェクト一覧が入っていて、その構造を示しています。 ドキュメントツリーのオブジェクトのコンテキストメニューで、新しいスクリプトの作成または既存のスクリ プトにナビゲートすることができます。



2-検索-「検索と置換」ウィンドウの「検索」タブをアクティブにして起動します。

3-置換-「検索と置換」ウィンドウの「置換」タブをアクティブにして起動します。

4 - スクリプトのチェック - ドキュメント全体のスクリプトをすべて確認します。

- 5 **すべて保存 -** スクリプトの変更をすべて保存します。
- **6 すべて取り消す -** スクリプトの変更をすべて取り消します。
- 7 元に戻す スクリプトを元に戻します。
- 8 やり直し 元に戻したものをやり直す、またはより最新状態に進めます。
- 9 すべて開く スクリプトの内容をすべて展開します。
- 10-すべて閉じる-スクリプトの内容をすべて閉じます。
- 11 (スクリプトを入力する) スクリプト領域
- 12 保存 選択したスクリプトの変更を保存します。
- 13 変更を取り消す 選択したスクリプトの変更を取り消します。
- 14 開く/閉じる 選択したスクリプトの内容を開く/閉じます。

15 - データソースのフィールドツリー - フィールドツリーはデータソース(「データソース」タブ)やバンドのフィールドを表示し、特別なフィールド(「バンド」の部分)や「パラメータ」を表示します。式はフィールドツリーからスクリプトの入力領域にドラッグするか、ツリーのフィールドをダブルクリックすることで素早く入力することができます。

16 - 検索と置換

「*検索」タブ*:「範囲」フィールドに指定した範囲で、「検索文字列」フィールドに指定した文字列が最初に 検出される位置を示すことができます。

| Find and Replace 🔹 🖣 🗙 | | | | | |
|------------------------|---------|--|---|---|--|
| Find | Replace | | | | |
| Find what: | | | | | |
| | | | - | > | |
| Look in: | | | | | |
| From Cursor 🔹 | | | | | |
| + Find options | | | | | |
| Find Next | | | | | |

「**置換」タブ**:「範囲:」フィールドに指定した範囲から検出された、「検索文字列:」フィールドに指定した文字列をすべて「新文字列:」フィールドの文字列に置換できます。

| Find and Replace | - ₽ × | |
|------------------|--------------|--|
| Find Replace | | |
| Find what: | | |
| Text1 | - > | |
| Replace with: | | |
| Text2 | - > | |
| Look in: | | |
| From Cursor | - | |
| + Find options | | |
| Find Next | Replace | |
| | Replace All | |

- 次を検索-検索を続行し、同じ条件と一致する次の文字列を見つけます。
- 置換-検出されたすべての文字列を別の文字列に置換します。
- すべて置換-指定した範囲から検出された文字列をすべて置換します。

検索オプション

- Find options
 Match case
 Match whole word
 - Search up
 - Search hidden text
 - Use regular expressions
 - Prompt on replace
 - 大文字/小文字を区別する チェックを付けると、大文字と小文字を区別してテキストを検索します。
 - 単語全体にマッチする チェックを付けると、単語全体がマッチしたものだけを返します。
 - 上方検索 検索方向を指定します。
 - 非表示テキストの検索 非表示テキストを検索します。
 - 正規表現を使用する チェックを付けると、Expression Builder ボタンが有効になります。

詳しくは、<u>Microsoft のライブラリページ</u>の Expression Builder の説明を参照してください。

- 入力支援 - チェックを付けると、文字列の置換を確認ウィンドウで確認します。

- >



17 - エラー一覧 - 「エラー一覧」ウィンドウを開きます。

| 🕎 Script Browser 📼 🖾 | | | | | |
|--|---|---------------------|--|--|--|
| DocumentTree 🝷 🎙 | i 🏦 🍇 🗟 🖻 🇐 💙 🕻 | | DataSources 🝷 🖡 | | |
| page1 □ □ □ pageHeader1 □ □ □ textBox6 □ □ □ textBox3 □ □ □ textBox7 ▼ | GenerateScript PerpetuumSoft.Frame // address if ((boolean)GetPar leftColumn.X += t | work.Drawing.Vector | Bands Data Para Customers Address City CompanyName ContactName | | |
| Error List | Error List 👻 🖛 | | | | |
| Errors Warnings | | | | | |
| .GenerateScript line: 4 column: 6 The type or namespace name 'boolean' could not be found (are you missing a using directive or an | | | | | |
| Error List | | | | | |

このデフォルトパレットの黄色は、現在のアクティブな要素を示します。

書式付きテキストエディタ

このエディタは HTML 形式の書式付きのテキスト、同様のマークアップ言語を入力したり RTF テキストを読み込んだりするためのエディタです。

このエディタは、AdvancedText オブジェクトをダブルクリックするか、AdvancedText オブジェクトを選 択した時にホットキー: Ctrl + Enter を入力するか、プロパティグリッドの AdvancedText オブジェクトの Text プロパティのボタンで開きます。

| ➢ Formatted text editor | — |
|-------------------------|---|
| 🎽 B I 🗓 F 🛃 토 풍 🗏 🗏 나 🕂 | |
| 45678900000000 | Data Sources Bands Data Sources |
| {=Document.Title} | Special Fields Column Number Document Description Document Title Now Page Count Page Number |
| | |
| | OK 15 Cancel 17 |

1-テキストを入力する領域

2-フィールドツリーはデータソース(「データソース」タブ)やバンドのフィールドを表示したり、特別なフィールド(「バンド」の部分)を表示したりします。式はフィールドツリーからスクリプトの入力領域にドラッグするか、ツリーのフィールドをダブルクリックすることで素早く入力することができます。

3-「バンド」タブと「データソース」タブを切り替えます。

- 4 [RTF ドキュメントを開く] ボタン RTF ファイルを選択するための「開く」ダイアログを表示します。
- 5 [太字] ボタン 選択したテキストを太字にするために タグを挿入します。

6 - [斜体] ボタン - 選択したテキストを斜体にするために <i></i> タグを挿入します。

7 - [下線] ボタン - 選択したテキストに下線を付けるために <u></u> タグを挿入します。

8 - [フォント] ボタン - 選択したテキストにスタイルやフォントを設定するために「フォントエディタ」を 開いて、テキストに <font=> タグを挿入します。

9 – [色] ボタン – 選択したテキストに色を設定するために「色の設定」エディタを開いて、テキストに タグを挿入します。

10 - [左揃え] ボタン - 選択したテキストを左揃えにするために、テキストに タグを挿入します。

11 - [中央揃え] ボタン - 選択したテキストを中央揃えにするために、テキストに タグを挿入します。

12 – [右揃え] ボタン – 選択したテキストを右揃えにするために、テキストに タ グを挿入します。

13 - [両端揃え] ボタン - 選択したテキストを両端揃えにするために、テキストに タグを挿入します。

14 - [スペースを挿入] ボタン - スペースを表示するために、テキストに & nbsp タグを挿入します。

15 - [改行を挿入] ボタン - 改行するために、テキストに

タグを挿入します。

16 - [OK] ボタン - 変更を適用し、エディタを閉じます。

17 - [キャンセル] ボタン - 変更をキャンセルし、エディタを閉じます。

RichText エディタ

このエディタで RTF テキストを読み込んだり編集したりします。

このエディタは RichText オブジェクトをダブルクリックするか、RichText オブジェクトをを選択した時に ホットキー: Ctrl + Enter を入力するか、プロパティグリッドの RichText オブジェクトの RTFText プロパ ティのボタンで開きます。

| 😺 RichText editor | |
|------------------------|---------------|
| 🛀 🗄 | |
| 23 | 0 |
| RichText Editor | |
| | |
| | |
| | |
| | OK 4 Cancel 5 |

1-テキストを入力する領域

2 - [ファイルを開く] ボタン - RTF ファイルを選択するために「開く」ダイアログを表示します。

3 - [ファイルに保存] ボタン - テキストを RTF ファイルに保存するために「名前を付けて保存」ダイアログ を表示します。

4 - [OK] ボタン - 変更を適用して、エディタを閉じます。

5-[キャンセル]ボタン-変更をキャンセルして、エディタを閉じます。
コレクション エディタ

コレクションエディタは、コレクションにメンバーを入力したりそのプロパティを設定したりします。このエ ディタはプロパティグリッドのプロパティの「(コレクション)」の隣にあるボタンで呼び出されます。

| 🥔 Collection Editor | | |
|---------------------|-------------------|--------------------|
| Members | Properties | |
| SUM 👩 🕂 | ₽ ↓ □ | 3 |
| | 🗆 Misc | |
| | AggregateFunction | Sum |
| | Expression | dataBand1["Price"] |
| | Name | SUM |
| 8 🕂 | | 2 |
| | Name | |
| | Name is total | |
| | | 4 |
| | | OK 9 Cancel |

- **1**-コレクションのメンバー一覧。Name プロパティがリストに表示されます。
- 2-プロパティグリッド-コレクションのメンバーのプロパティの表。プロパティの編集が行えます。
- 3-プロパティグリッドのプロパティの表示モードの切り替え
- 4-この領域は、選択したテキストの説明を表示します。
- 5-このボタンはコレクションに新しいメンバーを追加します。
- 6-このボタンは選択したメンバーをコレクションから削除します。
- 7-このボタンはリストのメンバーを上に移動します。
- 8-このボタンはリストのメンバーを下に移動します。
- 9 OK このボタンは変更を適用してエディタを閉じます。
- 10 キャンセル このボタンは変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

SQLテキストエディタ

SQL コマンドを入力するためのエディタ。この SQL テキストエディタはデータソースを設定するためのもの で、ドキュメントのデータソース エディタからボタンで開きます。このボタンは、プロパティグリッドの SelectQuery プロパティにあります。

| 😺 Sql text Editor 📃 💷 📧 |
|--|
| Sql text |
| Select value 1 from myTable where id = 001 |
| error |
| OK (2) Cance |

1 - SQL コマンドの出力領域。SQL スクリプト コマンド エディタは構文を強調表示したり選択を変更したり します。

2 - OK - 変更を適用してエディタを閉じます。

3-キャンセル - 変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

ソースフィールド

ピボットテーブルのデータエディタは、データ形式やレイアウトを設定できます。このエディタは PivotTable の Layout プロパティのボタンか、ピボットテーブルウィザードの「レイアウトの構成」ボタンで開きます。

| 1 Fields | | | | | | | E |
|---|--------|--|--------------------|--|--------------|--|--|
| Source Fields 8 LastName 9 CompanyName Address City Country OrderDate RequiredDate EmployeeID | 1 4 | DataCube fields Inactive fields 9 10 11 | ₽ 1 ↓ | X dimension fields 8 Country 9 City 9 Company Name 10 11 | 4 4 4 | Appearance Caption Format ShowPercent SortOrder TotalLabel Width | 0rderSum 02 False Ascending 100 |
| CustomerID OrderID ShippedDate ShipAddress ShipCay ShipPostalCode ShipPostalCode ShipPostalCode ShipCountry UntPrice Quantity Discount ProductName CategoryName UntsOnCoder | | 4 Y dimension fields Year Month 9 | ₽ 1 | Facts fields 8 OrderSum 9 10 13 | 4 1 4 | Data Aggregate DisplayExpression Expression | Sum Convert.ToDouble(G |
| | | 6 | | 0 | | Expression Determines the expres the given field. | usion for calculating data of |

1 – [開く] ボタン - データ設定を読み込むために、「開く」ダイアログウィンドウを開いて Data cube layout ファイル (.dcl) を選択できます。

- 2-[保存]ボタン データ設定を保存するために「名前を付けて保存」ダイアログウィンドウを開きます。
- 3-ソースフィールド-データソースのフィールド一覧
- 4 除外するフィールド 除外するフィールド一覧
- 5-X ディメンションフィールド ピボットテーブルの水平方向の見出しのフィールド一覧
- 6-Y ディメンションフィールド ピボットテーブルの垂直平方向の見出しのフィールド一覧
- 7-ファクトフィールド ピボットテーブルのデータのフィールド一覧
- 8- [新規フィールド] ボタン 一覧に新規フィールドを追加します。
- 9- [削除] ボタン 選択したフィールドを一覧から削除します。
- 10-[上] ボタン 一覧のフィールドを上に移動します。
- 11 [下] ボタン 一覧のフィールドを1つ下に移動します。
- 12 プロパティグリッド プロパティの編集が行えるプロパティグリッドのフィールド
- 13 プロパティグリッドのプロパティの表示モードを切り替えます。

14 - 説明 - 選択したプロパティの説明を表示する領域です。

15 - [OK] ボタン - 変更を適用してエディタを閉じます。

16 - [キャンセル] ボタン - 変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

スタイルシートエディタ

スタイルシートエディタはテンプレートのスタイルを作成したり編集したりすることができます。このエディ タは、「ホーム」リボンタブと(オブジェクトを選択すると表示される)「形式」リボンタブの [スタイルの 編集] ボタンで開きます。

| 🕎 Style Sheet Editor | | | 23 |
|---|-------------------------|--|---|
| Styles AaBbCcDdEe Caption AaBbCcDdEe GroupCaption | 4 ≓ 5 ÷ 6 ÷ 7 × 8 ↑ 9 ⊥ | Properties | 10 11 LinearGradient Fill Calibri; 14,25pt; Bol Caption MiddleLeft Solid Fill |
| Header 1 Title 2 Description 3 | | Border Determines the bor style. | der defined by the |

1-スタイル-スタイルの一覧

2-タイトル-設定したスタイル名

3 - 説明 - 設定したスタイルの説明を表示します。

4 – [開く] ボタン - スタイルを読み込むために、「スタイルシートの読込」ダイアログウィンドウを開いて StyleSheet ファイル (.rss) を選択できます。

5 - [保存] ボタン - 設定したスタイルを保存するために、「スタイルシートの保存」ダイアログウィンドウを 開きます。

6- [スタイルの追加] ボタン - 新しいスタイルを追加します。

- 7-[スタイルの削除]ボタン-選択したスタイルを削除します。
- 8-[スタイルを上に移動]ボタン 一覧で選択したスタイルを上に移動します。
- 9-[スタイルを下に移動]ボタン 一覧で選択したスタイルを下に移動します。

10 - プロパティグリッドのプロパティの表示モードを切り替えます。

11 - プロパティグリッド - スタイルのプロパティグリッドで、Border、Fill、Font、Name、TextAlign、 TextFill プロパティの編集が行えます。

12 - 説明 - 選択したプロパティの説明を表示します。

13 - [OK] ボタン - 変更を適用してエディタを閉じます。

14 - [キャンセル] ボタン - 変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

整列エディタ

このエディタはテンプレートのオブジェクトの位置を設定できます。このエディタは「レイアウト」リボンタ ブの [整列] ボタンで開きます。

| 📴 Align | X |
|----------------------|---------------------------------|
| Horizontal 1 None | Left 💿 Center 💿 Right 💿 Justify |
| Vertical — 2 | Within -3 |
| None | Page |
| 💿 Тор | Selection |
| Center | ◎ Band |
| Bottom | |
| Justify | |
| | OK 4 Cancel 5 |

1-水平-選択したオブジェクトの水平方向の位置やサイズを変更できます。

なし - 位置合わせなし

左 - 最左端のオブジェクトの左枠に揃えます(Location プロパティを設定します)。

中央 - オブジェクトを最右端と最左端の中央に揃えます(Location プロパティを設定します)。

右 - 最右端のオブジェクトの右枠に揃えます(Location プロパティを設定します)。

両端揃え - オブジェクトの幅を右側のオブジェクトから左側のオブジェクトまでの間隔で設定します(Size と Location プロパティを設定します)。

2-垂直-選択したオブジェクトの垂直方向の位置やサイズを変更できます。

なし - 位置合わせなし

上 - 最上端の上枠に揃えます(Location プロパティを設定します)。

中央 - オブジェクトを最上端と最下端の中央に揃えます(Location プロパティを設定します)。

下 - 最下端のオブジェクトの下枠に揃えます(Location プロパティを設定します)。

両端揃え - オブジェクトの高さを上端のオブジェクトから下端のオブジェクトまでの間隔で設定します(Size と Location プロパティを設定します)。

3 - 範囲 - 選択した要素の位置を中央に変更できます。

ページ - 選択したオブジェクトが貼り付けられているページの中央に揃えます(Location プロパティを設定 します)。

選択 - 選択したオブジェクトの領域を中央に揃えます(Location プロパティを設定します)。

バンド - 選択したオブジェクトが貼り付けられているバンドコンテナの中央に揃えます(Location プロパティを設定します)。

4 - [適用] ボタン - 変更を適用します。

5-[閉じる]ボタン-エディタを閉じます。

枠エディタ

オブジェクトの枠を設定するエディタです。このエディタはプロパティグリッドの Border プロパティのボタンか、「ホーム」タブや一部のコンテキストタブの「枠」ボタンで開きます。

| Bord | A Argin | aBbC Norma |
|------|------------------------|---------------|
| | B <u>o</u> ttom Border | |
| | To <u>p</u> Border | |
| | <u>L</u> eft Border | |
| | <u>R</u> ight Border | |
| | <u>N</u> o Border | |
| | <u>All Borders</u> | |
| | L <u>i</u> ne Color | Þ |
| - | Line St <u>y</u> le | • |
| D | More Borders | |

| 🤣 Border editor | — —— |
|-----------------|-------------|
| Line drawing 2 | Line type 1 |
| | None |
| 3 | |
| | Color 4 |
| | |

- 1 線の種類 線の種類の一覧で、枠線を選択できます。
- 2 描画する線- 枠線の位置を選択する領域
- 3-設定した枠を表示する領域
- 4-[色]ボタン-枠線の色を選択するために色エディタを開きます。
- 5-幅-このカウンタは枠線の幅を設定します。
- 6 [OK] ボタン 変更を適用してエディタを閉じます。
- 7-[キャンセル]ボタン-変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

ドキュメントのデータソース

データソースを組み込むためのコレクションエディタで、テンプレートにデータソース (Document.DataSources プロパティ)を設定できます。このエディタは、プロパティグリッドの Document オブジェクトの DataSource プロパティのボタンで開きます。

| 4 | Document Data Source Ed | ditor | | × |
|-----|---|--------------------|--|--|
| r l | Document Data Sources | | | |
| | OdbcDataSource | 8 | ₽ ↓ 🖻 | 6 |
| | Dala Source Maille - | | Data | 4 |
| | | | ConnectionStri | - |
| | | | Name | DataSource1 |
| | | | SelectQuery | |
| | | | | |
| | | 1 C In so | fornectionStri formation used t purce. | ng o connect to a data 6 |
| | Add (2) Delete | 1 C In so | formectionStri formation used t purce. | ng o connect to a data 6 |
| 4 | Add 2 Delete OdbcDataSource | 1 C In SC | ConnectionStri formation used t purce. | ng o connect to a data 6 |
| | Add 2 Delete OdbcDataSource SqlDataSource | 1) 3) | formation Used to burce. | ng o connect to a data 6 Cancel 8 |

1-ドキュメントのデータソース-ドキュメントのデータソースの一覧

2-[追加] ボタン-テンプレートに追加するデータソース型(SqlDataSource、OdbcDataSource、 XmlDataSource)の一覧を開きます。

3-[削除] ボタン- 選択したデータソースを削除します

4-プロパティグリッド-データソースのプロパティグリッド。プロパティを編集できます。

5-プロパティグリッドのプロパティの表示モードの切り替え

6-説明-この領域は選択したテキストの説明を表示します。

7-[OK] ボタン - 変更を適用してエディタを閉じます。

8-[キャンセル]ボタン-変更をキャンセルしてエディタを閉じます。

ウィザード

ウィザードは、シンプルレポートを素早く作成するために使用します。

ウィザードギャラリ

シンプルレポートの作成方法を選択できます。ウィザードギャラリは[ファイル/新規]メニューまたはキーの組 み合わせ(Ctrl + N)で呼び出されます。

| 🧳 Wizards | s Gallery | | | × |
|--|---------------------------------------|---------------|------|----------|
| New S | aved 🚺 | | | |
| Blank Rep | port | | | |
| Standard Pivot table | Report e Report | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 2 |
| | | | | |
| | | 3ad from file | 4 ок | 5Cancel |
| | | | | |
| (| | | | |
| 🥔 Wizards | s Gallery | | | × |
| Wizards | s Gallery aved 1 | | | X |
| Wizards New S Location | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |
| Wizards New S Location | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |
| Wizards New S Location Cards List Table | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |
| Wizards New S Location Cards List Table | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |
| Wizards New S Location Cards List Table | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |
| Wizards New S Location Cards List Table | s Gallery aved 1 C:\RSS\Wizards | | 0 | Brow 6 |

1-「新規」タブと「保存」タブを切り替えます。

2-新規レポートの作成方法のリスト:

- 白紙 新しい白紙のレポートを作成します。
- 標準のレポート スタンダードウィザードを呼び出します。
- ピボットテーブルレポート ピボットテーブルウィザードを呼び出します。

3-[ファイルから読込]ボタン-「ウィザードファイルを開く」ダイアログを開きます。

- 4 [OK] ボタン 新しい白紙のテンプレートを作成するか、選択したパラメータのウィザードを開きます。
- 5-[キャンセル]ボタン-ウィザードギャラリを閉じます。

6 - [参照] ボタン - 保存してあるウィザードファイルのフォルダを選択するために「フォルダの参照」ダイア ログを呼び出します。

7-位置-このフィールドは保存してあるウィザードファイルのフォルダのアドレスを表示/設定します。

8-「位置」フィールドに指定したフォルダにあるウィザードファイルの一覧

スタンダードウィザード

スタンダードウィザードは標準のレポート(リストやグループを含む)を作成できます。スタンダードウィザ ードは、<u>ウィザードギャラリ</u>ダイアログから呼び出されます。

| 23456 | | _ | _ | × |
|---|--|--|--------------------------|--------|
| Physes Common Employees (DataSection) (DataSection) | Common Report template properties Show title Measure unit Centimeter Style sheet None Continue Centimeter Style sheet None Centimeter Cent | | | |
| | Page properties Size Paper kind A4 (12 (2) (13) (13) | Orientation Page num Position Position Landscape Align | ibers Header Right | |
| | Columns layout Columns count 1 01 Columns gap 0.000 018 | | | |
| 0 | (19 Save Pre | 20 21 view template Preview do | cument OK | Cancel |





1 - このデータツリーはレポートの共通設定と追加したデータセクションを表示します。設定モードの切り替えが可能。

2-[データの追加]ボタン - データセクションを追加します。

3-[データの削除]ボタン-データセクションを削除します。

4, 19 - [ウィザードの保存] ボタン - ウィザードの設定を保存先フォルダやファイル名を選択するために、 「Save Wizard File」 ダイアログウィンドウを開きます。

5, 20 - [テンプレートのプレビュー] ボタン - 設定したパラメータでテンプレートを作成し、レポートデザイナに表示します。

6, 21 - [ドキュメントのプレビュー] ボタン - 設定したパラメータでレポートを生成し、レポートビューアに 最終ドキュメントを表示します。

7-タイトルを表示 - レポートにタイトルを表示するかを設定します。

8 - レポートのタイトル - このフィールドはレポート名を設定します(Document.Title プロパティを設定します)。

9 - 計測単位 - 計測単位のリストで、テンプレートの計測単位を選択できます(Document.MetricUnit を設定します)。

10 - スタイルシート - スタイルの一覧で、レポートのスタイルを選択できます(Document.StyleSheet プロパティを設定します)。

11 – スクリプト言語 - サポートされているプログラミング言語の一覧で、レポートに記述するスクリプト言語を選択できます(Document.ScriptLanguage プロパティを設定します)。

12 – 用紙サイズ - レポートの用紙サイズのリスト(Page.PaperKind プロパティを設定します)。

13 - ページサイズ - このフィールドはレポートの用紙サイズを設定します(Page.CustomSize プロパティを設定します)。

14 – 向き - このラジオボタンはレポートの用紙の向きを設定します(Page.Orientation プロパティを設定します)。

15 - 位置 - 見出しの位置を選択する値リスト。テンプレートにページ番号を表示するための見出しの位置 (なし、ヘッダー、フッター、両方)を選択できます。

16 - 整列 - 見出しに表示するページ番号(テキスト)の位置を選択するための値リスト(左、中央、右)。

17 – 列数 - レポートのリストの列数を設定するカウンタです(DataBand.ColumnsCount プロパティを設定します)。

18 – 列の間隔 - レポートのリストの列の間隔を設定するカウンタです(DataBand.ColumnsCount プロパ ティを設定します)。

22 - [OK] ボタン - ウィザードでの作業を終了し、選択したパラメータでテンプレートを作成し、レポート デザイナに表示します。

23 - [キャンセル] ボタン - ウィザードの設定をキャンセルします。

24 - [データソース] ボタン - データソースを選択するデータソースツリーを開きます。フィールドには選択したデータソースの名前が表示されます。

25 - フィールドのレイアウト - このリストはデータの表示方法を選択できます。

26 - 全フィールド - データソースフィールドのツリー

27 – [右に移動] ボタン - データソースツリーから選択したフィールドを「表示フィールド」または「グループ」の一覧に追加します。これにより、Caption、Width、Aggregate プロパティの値は規定値に設定されます。

28 - [左に移動] ボタン - 「表示フィールド」または「グループ」から選択したフィールドを削除します。

29 - [Add Blank] ボタン - 「表示フィールド」にプロパティが設定されていないフィールドを追加します。

30 - [上に移動] ボタン - 「表示フィールド」または「グループ」で選択したフィールドを上に移動します。

31 - [下に移動] ボタン - 「表示フィールド」または「グループ」で選択したフィールドを下に移動します。

32 - 「表示フィールド」と「グループ」を切り替えます

33 – 表示フィールド - これはレポートを作成するためのフィールドの表で、追加したフィールドとそのプロ パティを表示します。フィールドはデータソースから追加するか、新しいフィールドを追加できます。 FieldName プロパティはフィールド名を表示します。Caption プロパティは表示フィールドのタイトルを表示します。Width プロパティは列幅を設定します。Aggregates プロパティは集計関数を設定します。

34 - キャプション - このフィールドは「表示フィールド」のレコードの Caption プロパティを設定します。 レポートに出力するフィールドタイトルを設定するためにオブジェクトの Textbox.Text プロパティを設定し ます。

35 - 幅 - このフィールドは「表示フィールド」のレコードの Width プロパティを設定し、リストの列幅をパ ーセントで定義します。

36-集計 - これは集計関数のリストで、フィールドごとに集計値を計算するための関数を選択できます。値は リストの末尾に出力されます。

37 - グループ - リストをグループ化するためのデータソースのフィールド一覧です。

ピボットテーブル ウィザード

ピボットテーブルウィザードは、ピボットテーブルのレポートを作成できます。<u>ウィザードギャラリ</u>ダイアロ グから呼び出します。

| 1 2 3 Pivot table | wizard | X |
|----------------------|---|------------|
| | | |
| Common setting | Igs Prvot table settings | |
| Report temp | plate properties | |
| Show title | le 5 Report title | 6 |
| Measure (| unit Centimeter | 7~ |
| Style sh | heet None | 8~ |
| Script langua | Lage CSharp | <u>9</u> ~ |
| Page proper | aties | |
| Standard | A4 (1) Position Header | (1) ~ |
| Custom | 0; 0 (1) C Landscape Align Right | (1) ~ |
| 15 | 16 17 18 19 | |
| ОК | Cancel Save Preview template Preview document | |

| 🞻 Pivot table wizard |
|--|
| B <u>a a</u> |
| Common settings Pivot table settings -20 |
| Layout |
| Data source Sales 20 |
| Nested fields |
| CompanyName Add |
| UnitPrice Bemove |
| |
| Configure layout 25 |
| Display |
| Table caption Pivot table 26 |
| Rendering |
| 😰 🗹 Save table wizard 🗹 Show repeat text 😢 |
| 28 Show single fact Dimension on every page 30 |
| Formatting |
| 3 🗹 Auto column width Row height 60 32 🔿 |
| Auto row height mode Dissimilar 33 💌 |
| |
| OK Cancel Save Preview template Preview document |

1, **17** - [ウィザードの保存] ボタン - ウィザードの設定を保存先フォルダやファイル名を選択するために「名前を付けて保存」ダイアログウィンドウを呼び出します。

2,18-[テンプレートのプレビュー]ボタン-選択したパラメータでテンプレートを作成し、レポートデザイナに表示します。

3, 19 - [ドキュメントのプレビュー] ボタン - 選択したパラメータでレポートを生成し、それをレポートビュ ーアに表示します。

4-共通設定-レポートの共通設定タブ。

5-タイトルを表示 - レポートにタイトルを表示するかを設定します。

6 - レポートのタイトル - レポート名を設定します(Document.Title プロパティを設定します)。

7 - 計測単位 - テンプレートの計測単位を選択できる計測単位の一覧(Document.MetricUnit プロパティを 設定します)。

8 - スタイルシート - レポートのスタイルを選択できるスタイルの一覧(Document.StyleSheet プロパティを設定します)。

9 - スクリプト言語 - レポートに記述するスクリプト言語を設定できる、サポートされているプログラミング 言語の一覧(Document.ScriptLAnguage プロパティを設定します)。

10 – 標準 - レポートの用紙サイズを選択できる用紙サイズの一覧(Page.PaperKind プロパティを設定します)。

11 - カスタム - レポートのページサイズを設定します(Page.CustomSize プロパティを設定します)。

12 – 向き - レポートのページの向きを設定します(Page.Orientation プロパティを設定します)。

13 - 位置 - テンプレートの見出しの位置を選択する値リスト。テンプレートにページ番号を表示するための 見出しの位置(なし、ヘッダー、フッター、両方)を選択できます。

14 - 整列 - 見出しに表示するテキストの位置を選択できる一覧。

15 - [OK] ボタン - ウィザードでの作業を終了し、選択したパラメータでテンプレートを作成し、レポート デザイナに表示します。

16 - [キャンセル] ボタン - ウィザードの設定をキャンセルします。

20 - ピボットテーブル設定 - ピボットテーブル設定タブ。

21 - [データソース] ボタン - ピボットテーブルのデータソースを選択するツリーを開きます。このフィールドは選択したデータソースを表示します。

23 - [追加] ボタン - 入れ子のフィールド一覧に新規フィールドを追加します。

24 - [削除] ボタン - 選択したフィールドを入れ子のフィールドの一覧から削除します。

25 - [レイアウトの構成] ボタン - ピボットテーブルのデータを編集する<u>ソースフィールド</u>エディタを開きます。

26 - テーブルのタイトル - テーブルのタイトルを設定します(PivotTable.TableCaption プロパティを設定します)。

28 – 単一ファクトの表示 - ファクト列のタイトルの表示/非表示を設定します (PivotTable.ShowSingleFact プロパティを設定します)。

- **29** テキストの繰り返し表示 新しいページにテキストを繰り返し表示するかを設定します (PivotTable.ShowRepeatText プロパティを設定します)。
- **30** 各ページにディメンションを表示 各ページにディメンションを表示するかを設定します (PivotTable.DimensionOnEveryPage プロパティを設定します)。
- **31** 自動列幅 列の規定幅を設定します(PivotTable.AutoColumnWidth プロパティを設定します)。

32 – 行の高さ - 行の高さを設定するカウンタ(PivotTable.RowHeight プロパティを設定します)。

33 – 自動による行の高さモード - 行の自動高さモードを設定する一覧(PivotTable.AutoRowHeight プロパ ティを設定します)。



- 1-現在、カーソルの下にあるオブジェクトの名前。
- 2-計測単位を設定するためのコントロール。

| | Twip | |
|----------------------|------------|--|
| | Point | |
| | Pixel | |
| ✓ | Centimeter | |
| | Millimeter | |
| | Inch | |
| Units = Centimeter 👻 | | |

3-手動で倍率を入力するために「ズーム」ダイアログを開くボタン。

| Zoom 23 | |
|----------------|--|
| Zoom | |
| © 200% | |
| 100% | |
| ⊚ 75% | |
| 50% | |
| 25% | |
| 🔘 page width | |
| 🔘 whole page | |
| © custom 100 % | |
| OK Cancel | |

「ズーム」のスライダは倍率を設定します。

ホットキー

| ホットキー | 説明 | | | |
|--|---|--|--|--|
| デザイナ | | | | |
| F2 | 「選択」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F3 | 「パン」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F4 | 「ズームイン」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F5 | 「ズームアウト」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F6 | 「矩形に合わせてズーム」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F7 | 「ダイナミックズーム」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| F10 | 「メニュー」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| Space + マウスドラッグ | 「パン」モードをオン/オフに切り替えます | | | |
| Ctrl + マウスホイール | ズーム | | | |
| クリップボード | | | | |
| Ctrl + Insert | 躍れしたすのなっピーレークリップボードに肚り付けます | | | |
| Ctrl + C | 選択したものをユビーし、クリックホートに貼り付けます。 | | | |
| Shift + Insert | クリップボードの内容を吐り付けます | | | |
| Ctrl + V | クリックホートの内谷を貼り付けます。 | | | |
| Shift + Delete | 躍れしたすのな切り取り クリップボードに貼り付けます | | | |
| Ctrl + X | 選択したものを切り取り、クリックホートに貼り付けます。 | | | |
| Ctrl + マウスドラッグ | 選択したものをコピーします | | | |
| Ctrl + Alt + V | クリップボードの内容を新規ページに貼り付けます | | | |
| テンプレート | | | | |
| Ctrl + N | 新しいテンプレートを作成します | | | |
| Ctrl + O | ファイルからテンプレート/ドキュメントを読み込みます | | | |
| Ctrl + S | テンプレートの変更を保存します | | | |
| ページ | | | | |
| Ctrl + Page Up | 次のページを表示します | | | |
| Ctrl+ Page Down | 前のページを表示します | | | |
| 選択 | | | | |
| Ctrl + A | すべて選択 | | | |
| Ctrl + Shift + A | 現在のコンテナのすべての要素(および子要素)を選択します A を押す - 親コンテナを追加します A を押す - 親の兄弟要素(およびその子要素)をすべて追加します A を押す - 親の親を追加します | | | |
| Ctrl + Shift + マウス (ドラッグして移動) | (矩形選択によって少なくとも 50%選択された) すべての要素を選択します | | | |
| Shift + マウスクリック Ctrl + マウスクリック | 選択したものを追加/削除します | | | |
| オブジェクトの操作 | | | | |
| Ctrl + Enter | 選択されたオブジェクトのエディタを呼び出します(TextBox、 | | | |
| Enter | AdvancedText、RichText、Picture、Chart、Widget に適用可能) | | | |
| Ctrl + Enter | 変更を適用してエディタを閉じます | | | |
| 何度もクリック | 多数のオブジェクトが重なり合っている場合、その重なり合っている領域 | | | |

| | を何度もクリックすると、手前(zインデックスの小さい)オブジェクト |
|------------------|--|
| | が選択されます。(最後のオブジェクトが選択されると、また最前面のオ |
| | フジェクトが選択されます) |
| オブジェクトのプロパティ | |
| Ctrl + B | Font.Bold プロパティを設定します(TextBox、AdvancedText、 |
| | BarCode に適用可能) |
| Ctrl + I | Font.Italic プロパティを設定します(TextBox、AdvancedText、 BarCode に適用可能) |
| Ctrl + II | Font.Underline プロパティを設定します(TextBox、AdvancedText、 |
| Ctil + 0 | BarCode に適用可能) |
| Ctrl + Shift + > | フォントサイズを大きくします(TextBox、AdvancedText、BarCode に 適用可能) |
| Ctrl + Shift + < | フォントサイズを小さくします (TextBox、AdvancedText、BarCode に |
| | |
| Ctrl + 1 | あるボイントのフォントサイズを大きくします(TextBox、 |
| | Advanced lext、BarCode に適用可能) |
| Ctrl + [| あるボイントのフォントサイズを小さくします(TextBox、 |
| | Advanced lext、Barcode に適用可能) |
| Ctrl + L | アキストを左揃えにします(IextBox、AdvancedIext に適用可能) |
| Ctrl + R | テキストを右揃えにします(TextBox、AdvancedText に適用可能) |
| Ctrl + E | テキストを中央揃えにします(TextBox、AdvancedText に適用可能) |
| Ctrl + Shift + F | Font プロパティを設定する「フォント」ダイアログを呼び出します |
| | (TextBox、AdvancedText、BarCode に適用可能) |
| Ctrl + Shift + B | Border プロパティを設定する「枠」エディタを呼び出します(Border プ |
| | ロパティを持っているオブジェクトに適用可能) |
| Ctrl + Shift + M | Margins プロパティを設定する「余白」エディタを呼び出します |
| | (Margins プロパティを持っているオブジェクトに適応可能) |
| Ctrl + Shift + L | Fill プロパティを設定する「塗りつぶし」エディタを呼び出します(Fill プ |
| | ロバアイを持っているオフシェクトに適応可能) |
| Ctrl + Shift + T | Format フロバテイを設定する「フォーマット」エテイタを呼び出します (ToxtBox AdvancedToxt に適用可能) |
| | (Textbox、Auvaliceutextに適用可能) 時計回りた Anglo プロパティを設定します(Anglo プロパティを持ってい |
| Ctrl + Shift +] | るオブジェクトに適応可能) |
| Ctrl , Shift , [| 反時計回りに Angle プロパティを設定します(Angle プロパティを持って |
| | いるオブジェクトに適応可能) |
| Ctrl + Alt + F | 先頭に移動 |
| Ctrl + Alt + B | 末尾に移動 |